



# Sitecore OMS 1

# レポート デザイナー クックブック

Sitecore OMS レポート活用ガイド

## 目次

Chapter 1	イントロダクション .....	4
Chapter 2	レポート デザイン ツール .....	5
2.1	Stimulsoft Web レポート デザイナー .....	6
2.2	Stimulsoft Windows レポート デザイナー .....	7
Chapter 3	レポートの編集 .....	9
3.1	OMS レポート .....	10
3.1.1	Sitecore レポート定義アイテム .....	10
3.1.2	Stimulsoft .mrt ファイル .....	11
3.1.3	Web レポート デザイナーを使用してレポートを開く .....	11
3.1.4	Windows レポート デザイナーを使用してレポートを開く .....	12
3.2	テキストの書式設定 .....	15
3.2.1	リボンを使ったテキストの書式設定 .....	15
3.2.2	プロパティを使用したテキストの書式設定 .....	16
3.2.3	スタイル .....	17
3.2.4	スタイルの適用 .....	18
3.3	レポートにグラフを追加する .....	20
3.3.1	棒グラフの作成 .....	20
3.3.2	グラフの書式設定 .....	22
グラフのサイズ変更 .....	22	
グラフの色の変更 .....	23	
グラフにラベルを追加する .....	25	
3.3.3	円グラフの作成 .....	29
3.4	レポートに画像を追加する .....	35
3.4.1	メディア ライブラリの画像にリンクする .....	35
3.4.2	外部サーバー上の画像にリンクする .....	38
3.4.3	画像をアップロードする .....	39
3.5	レポートにリンクを追加する .....	41
3.5.1	Web サイトへのリンクの方法 .....	41
3.5.2	別のレポートへのリンクを作成する方法 .....	43
Chapter 4	アナリティクス データベース .....	46
4.1	アナリティクス データベースを理解する .....	47
4.1.1	主なテーブル グループ .....	47
4.1.2	Session テーブル .....	47
4.1.3	SQL クエリ言語 .....	48
4.2	有用なアナリティクス テーブル グループ .....	49
4.2.1	ビジター情報 .....	50
4.2.2	プロフィール情報 .....	51

4.2.3	多変量テスト.....	53
4.2.4	キャンペーン.....	54
4.2.5	ページ イベント.....	55
4.2.6	システム情報.....	56
Chapter 5	レポートの作成.....	57
5.1	レポートの作成と保存.....	58
5.2	アナリティクス データベースへの接続.....	63
5.3	データソースの作成.....	65
5.4	データソースの設定.....	67
5.4.1	SQL クエリの作成.....	69
5.4.2	レポートレイアウトの設計.....	70
	レポートの初期レイアウトを作成する.....	71
	列見出しの形式を設定する.....	73
	セッション レポートへのリンクを追加する.....	73
	組織と国をグループ化する.....	74
	セッションとビジターをグループ化する.....	75
	レポート ヘッダーを追加する.....	76
	レポートをプレビューする.....	80
Chapter 6	レポート フィルター の作成.....	81
6.1	前提条件と準備.....	82
6.1.1	前提条件.....	82
6.1.2	準備.....	82
	SQL クエリの変更.....	82
	レポートレイアウトの変更.....	84
6.2	フィルター定義アイテムを作成する.....	86
6.3	Visual Studio を使用してフィルタークラスを作成する.....	88
6.3.1	新しい C# クラス ファイルを作成する.....	88
6.3.2	コードの解説.....	89
6.4	SQL クエリにフィルター プレースホルダーを追加する.....	91
6.5	フィルター定義アイテムを構成する.....	93
6.6	フィルターをテストする.....	94
	トラブルシューティング.....	96
Chapter 7	付録.....	97
7.1	Stimulsoft レポート デザイナー クライアントの機能比較.....	98
7.2	Profile Key Report の SQL クエリの作成方法.....	101

# Chapter 1

## イントロダクション

このクックブックは OMS のレポートを取り扱う、マーケティングから .NET 開発者までの幅広いユーザーのために役立つ内容を手順を追って解説します。

このクックブックでは、Sitecore OMS と SQL Server データベース上で稼動する Nicam という Web サイトを例にとって説明します。Nicam サイトにはデモ用の大量のデータを備えており、各種のシナリオによるレポートのテストを容易に行うことができます。

注意: このガイドに含まれる SQL Server 構文に基づく SQL クエリの説明は、他のデータベース管理システム (たとえば Oracle など) とは互換性がない場合があります。

- **Chapter 1 — イントロダクション**  
この章ではこのクックブックの内容、目的、対象とする読者について説明します。
- **Chapter 2 — レポート デザイン ツール**  
この章ではレポートを作成し編集するために必要なツールの概要を説明します。
- **Chapter 3 — レポートの編集**  
この章ではフォント スタイルの変更や、レポートにグラフや画像を追加するなどの基本的な操作を説明します。
- **Chapter 4 — アナリティクス データベース**  
この章ではアナリティクス データベースの概要を説明します。レポートをデザインする際に使用するデータ グループの概要を説明します。
- **Chapter 5 — レポートの作成**  
この章では新しく最初からレポートを作成する方法について説明します。
- **Chapter 6 — レポート フィルター の作成**  
この章では新しく最初からレポート フィルターを作成し、それをレポートに追加する方法について説明します。
- **付録**  
このセクションではその他の役立つ情報を解説します。

## Chapter 2

# レポート デザイン ツール

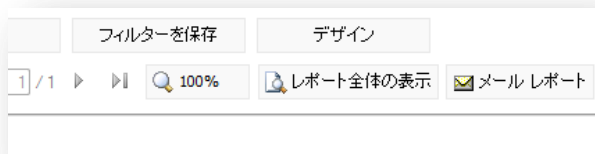
この章では Sitecore OMS でレポートを作成し編集するためにクライアントで使用可能な 2 つの方法についての概要を説明します。

- Web レポート デザイナー
- Windows レポート デザイナー

## 2.1 Stimulsoft Web レポート デザイナー

正式名称: *Stimulsoft Reports Designer. Web 2009.2*

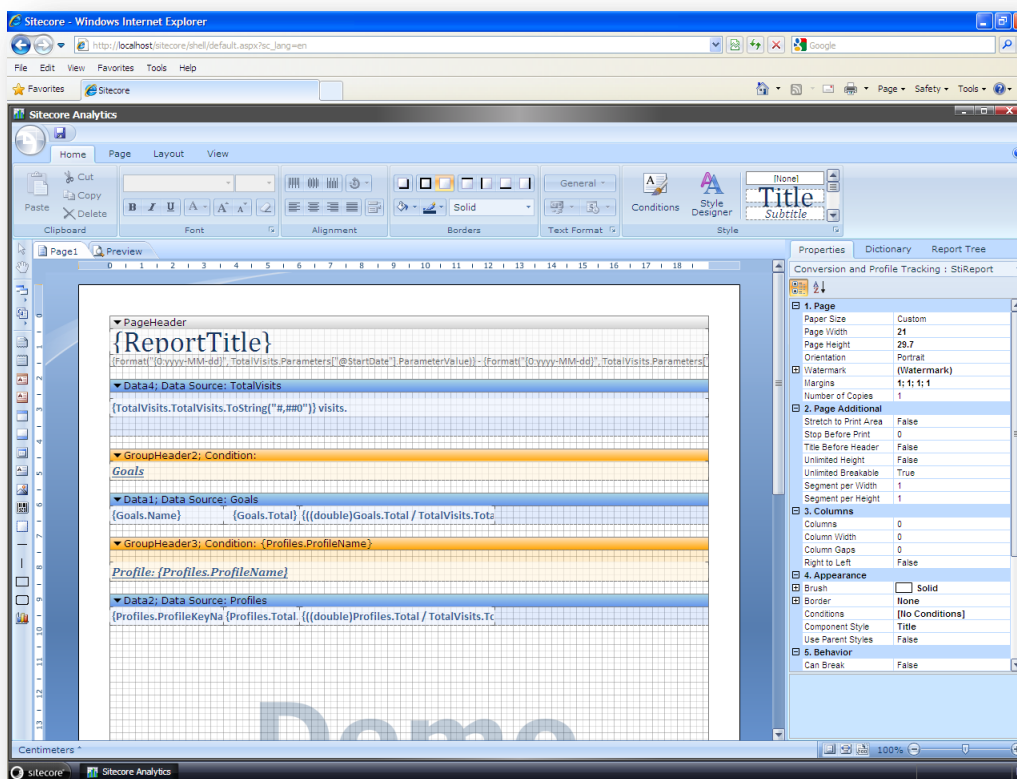
Web レポート デザイナーは Sitecore OMS で使用可能な標準のレポート設計ツールです。サイトコア アナリティクスでレポートの最上部の [デザイン] ボタンをクリックすると、このクライアントを利用することができます。



Web レポート デザイナーでは既存のレポートのフォーマットを編集したり、複製を作成して編集することで新しいレポートを作成することが可能です。さらに Web レポート デザイナーを使用して、レポートに画像やハイパーリンクやグラフを追加することも可能です。

Web レポート デザイナーにはいくつかの制約があります。たとえば、キーボード ショートカットを利用することはできません。このツールでは必ずしも容易に SQL クエリを作成することはできません。しかし、Windows レポート デザイナーを使用する場合と同様の成果物を作成することが可能です。

Web レポート デザイナーは下記のように Internet Explorer を使ってユーザー インターフェースを表示します。



## 2.2 Stimulsoft Windows レポート デザイナー

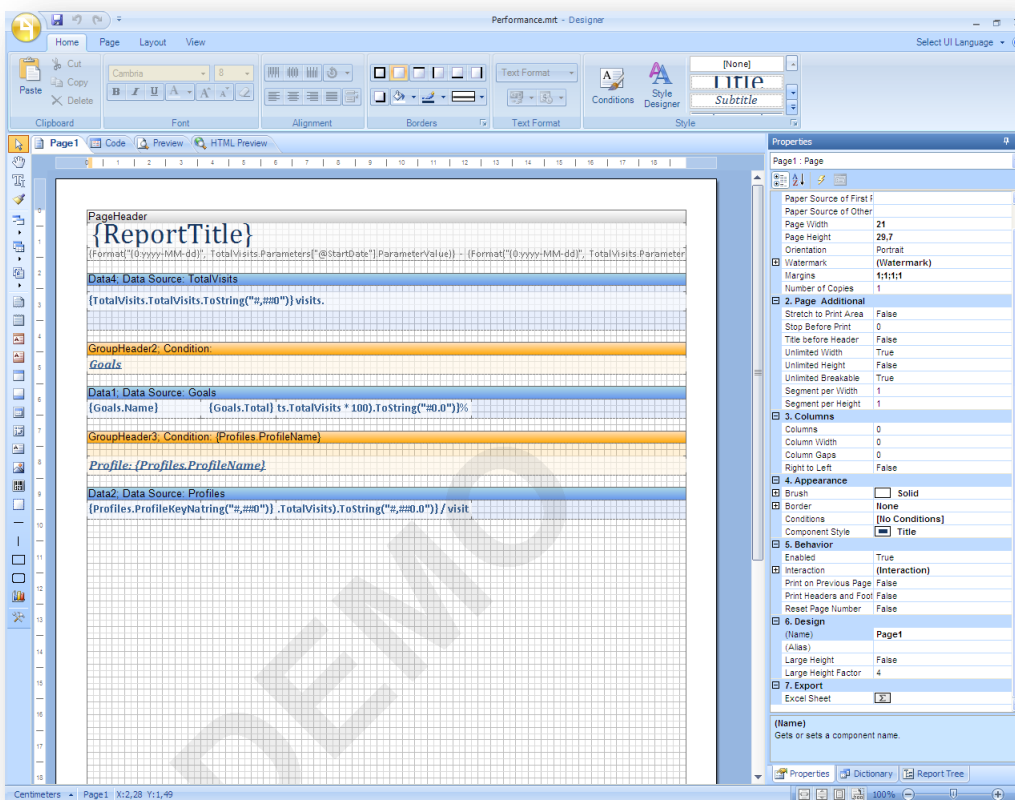
正式名称: *Stimulsoft Reports.Net 2009.2*

Stimulsoft Windows レポート デザイナーは Stimulsoft の Web サイトから無償で試用版をダウンロードすることができます。Windows レポート デザイナーは開発者やレポート アナリストのための、より高機能で強力なレポート設計ツールです。レポートの設計の過程でより詳細な設定を行うことが可能です。基本的には Web レポート デザイナーを利用しても同様の成果物を作成することは可能ですが、大量のレポートを開発する場合には Windows レポート デザイナーを購入することを推奨します。

### Windows レポート デザイナーを利用するメリット

- 新しく最初からレポートを作成する
- ウィザードを使用して簡単に新規レポートを作成する
- 素早いレポートの読み込み (クライアントはブラウザ ウィンドウでなく、ネイティブで実行されます)
- 多くのキーボード ショートカット (Ctrl Z を含む) を利用可能
- プレビュー機能
- クエリビルダーを使用して複雑な SQL クエリを作成する
- 書式設定フォーマット スタイルのインポートとエクスポート

Windows レポートデザイナーのクライアント ユーザー インターフェイスを下記に示します:





## Chapter 3

### レポートの編集

この章では基本的なレポート デザイナーの機能を説明します。テキストの編集や、既存のレポートへのグラフや画像の追加について説明します。

- OMS レポート
- テキストの書式設定
- レポートにグラフを追加する
- レポートに画像を追加する
- レポートにリンクを追加する

## 3.1 OMS レポート

Sitecore OMS ではレポートには次の 2 つのコンポーネントがあります:

- Sitecore レポート定義アイテム
- Stimulsoft .mrt レポート ファイル

### 3.1.1 Sitecore レポート定義アイテム

Sitecore レポート定義アイテムは他のコンテンツ アイテムと同様に Sitecore コンテンツ ツリーに保存されます。レポート定義アイテムにアクセスするためには、コンテンツ エディターを開いて次の場所に移動します:

/sitecore/システム/設定/アナリティクス/レポート/レポート

各レポート アイテムには次のフィールドがあります:

- ファイル名
- フィルター



#### ファイル名

このフィールドはレポートの .mrt ファイルへの Path を含みます。たとえば:

/sitecore/shell/Applications/Analytics/Reports/Performance.mrt

レポートを作成する際には Sitecore 定義アイテムと Stimulsoft mrt ファイルのリンクを作成する必要があります。このフィールドには .mrt ファイルへの Path を正しく入力します。

#### フィルター

レポートがフィルターを含む場合、[フィルター] フィールドはレポートのフィルターを実行する際に自動的に追加されるメタデータを表示します。

このフィールドは空白にしておくこともできます。

### 3.1.2 Stimulsoft .mrt ファイル

レポートを保存すると、レポートのすべての設定データは .mrt 拡張子をもつ XML ファイルに保存されます。このファイルのデータは下記を含みます:

- 接続文字列
- SQL クエリ
- レイアウトとプレゼンテーション
- 書式設定

レポートの .mrt ファイルは Stimulsoft ファイル タイプであり、Web サイトのファイル システムで次の場所に保存されません:

```
wwwroot\<<sitename>\WebSite\sitecore\shell\Applications\Analytics\Reports\
```

Web レポート デザイナーまたは Windows レポート デザイナーのどちらを使用してレポートを編集した場合でも、行った変更は .mrt ファイルに直接保存されます。レポートが複数のフィルターを含む場合、複数のレポートが同じ .mrt ファイルをもとにしている場合があるため、既存のレポートを上書きしてしまう場合があります。

#### メモ

新規に複数のレポートを作成する場合、それらのレポート用のフォルダーを作成して、Sitecore の標準レポートと区別するようにします。

### 3.1.3 Web レポート デザイナーを使用してレポートを開く

Web レポート デザイナーに標準装備されているレポート ビューワーを使用して、レポートを開いて編集することができます。既存のレポートに変更を行う前には必ず、まず Sitecore レポート定義アイテムとレポートの .mrt ファイルを複製します。このためには Sitecore コンテンツ ツリーとファイル システムへの適切なアクセス権が必要です。

#### 重要

Latest Sessions.mrt などのレポート ファイルは複数のレポートから使用されるため、1 つのレポート ファイルの変更が複数のレポートに影響します。レポートを複製して別の名前でも保存することにより、この問題を避けることが可能です。

レポートを複製する手順の詳細は、Chapter 5「レポートの作成」を参照してください。

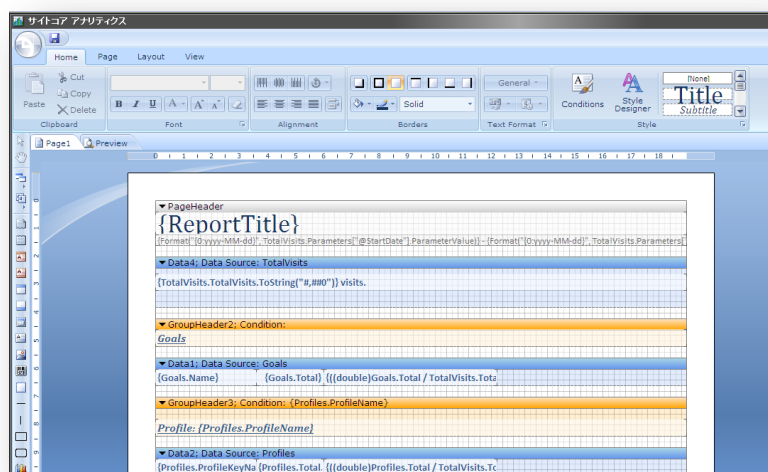
Stimulsoft Web レポート デザイナー クライアントを使用してレポートを開く手順:

1. サイトコア アナリティクスのコンテンツ ツリーで、編集するレポートをクリックします。

2. レポートの最上部の [デザイン] をクリックします。



下記は「コンバージョンとプロフィールの追跡」レポートを Stimulsoft Web レポート デザイナーから開いたものです。



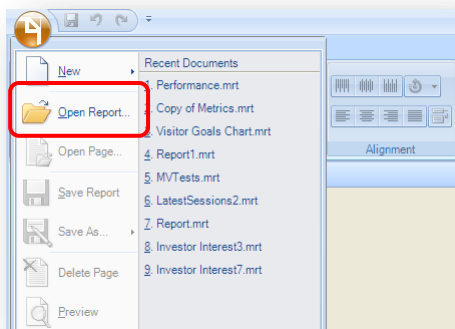
### 3.1.4 Windows レポート デザイナーを使用してレポートを開く

Windows レポート デザイナーを使用すると .mrt レポート ファイルを直接開いて編集することが可能です。またレポートを新しく最初から作成することも可能です。

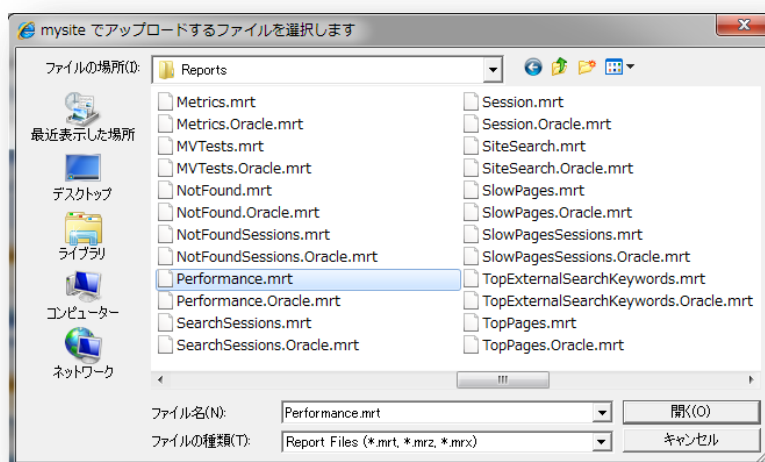
Windows レポート デザイナー クライアントを使用してレポートを開く手順:

1. コンピューターのスタート メニューをクリックして [すべてのプログラム] の [Stimulsoft] グループから [Windows Reports Designer] を開きます。

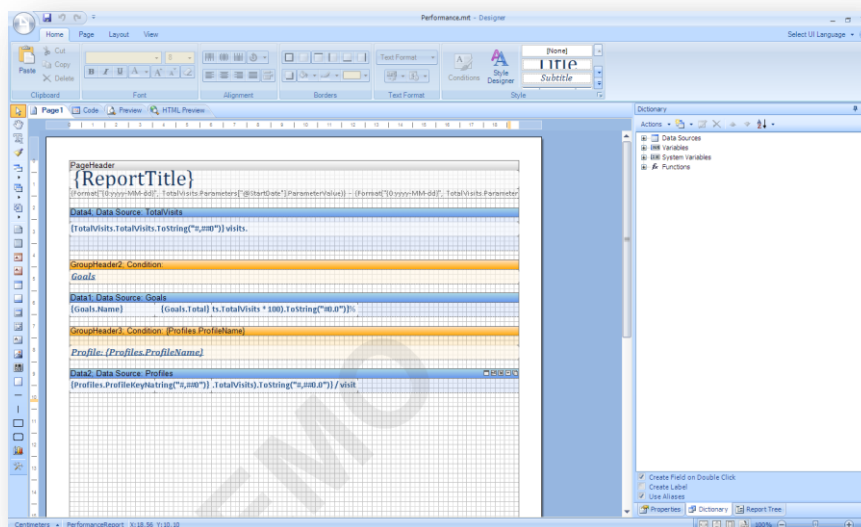
2. Stimulsoft メニューをクリックし [Open Report] をクリックして、編集する .mrt ファイルの場所に移動します。



3. Performance.mrt を開いて [コンバージョンとプロフィールの追跡] レポートを編集します。



下記は Performance.mrt を Windows レポート デザイナーで開いたものです。



すべてのレポートの .mrt ファイルは次の場所に保存されます:

```
C:\Inetpub\wwwroot\name>\WebSite\sitecore\shell\Applications\Analytics\Reports
```

## 3.2 テキストの書式設定

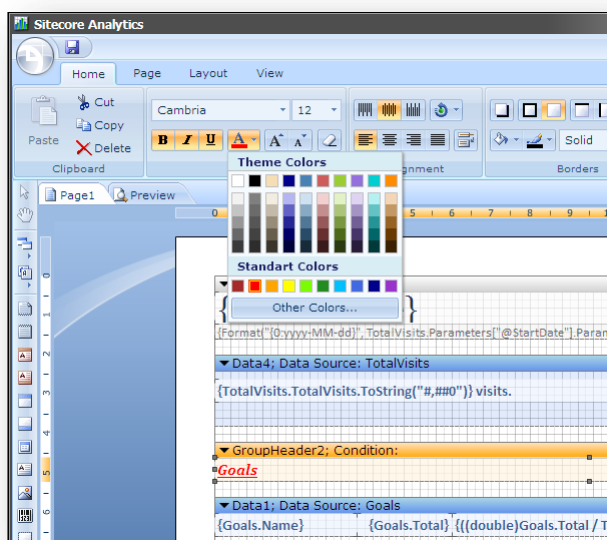
このセクションでは既存の Sitecore OMS レポートのテキストの書式設定を行う方法を説明します。Web レポート デザイナーを使用して、容易に下記を変更することが可能です:

- テキストの色
- フォント スタイル
- フォント サイズ
- 太字
- 下線
- 斜体

### 3.2.1 リボンを使ったテキストの書式設定

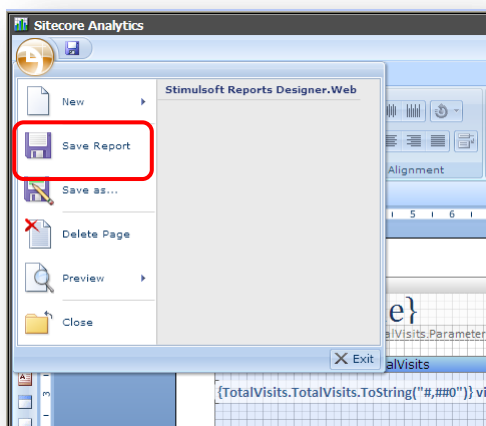
サイトコア アナリティクスで、Web レポート デザイナーから [コンバージョンとプロフィールの追跡] レポートを開きます。まずレポートの複製を作成し、次に下記の変更を行います:

1. [GroupHeader2] でテキスト ボックス [Goals] をクリックし、次に [Font] グループでテキストの色をクリックします。



2. テキストの別の色、たとえば赤を選択します。

3. Stimulsoft メニューで [Save Report] をクリックして変更を保存します。



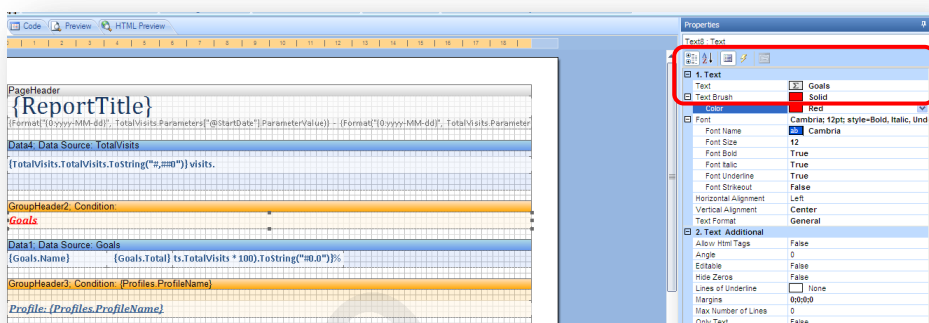
4. [Exit] をクリックしてレポート デザイナーを閉じます。
5. サイトコア アナリティクスでレポートをプレビューします。

Stimulsoft リボンを使用して Microsoft Word のリボンと同様の方法で、テキストのサイズを変更したり、他のスタイル、たとえば太字や下線や斜体を適用することができます。

### 3.2.2 プロパティを使用したテキストの書式設定

[Properties] パネルを使用してテキストを書式設定する手順:

1. [GroupHeader2] でテキスト ボックス [Goals] をクリックし、次に [Properties] パネルの [Text Brush] の [Color] で [Red] を選択します。

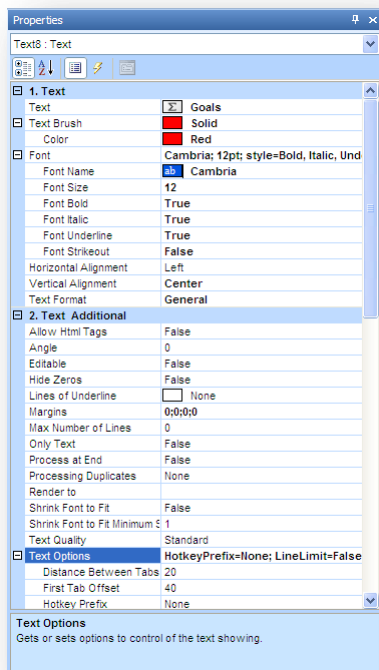


2. [Save Report] をクリックして変更を保存します。
3. [Exit] をクリックしてレポート デザイナーを閉じます。
4. サイトコア アナリティクスで変更をプレビューします。

[Properties] パネルを使用するとリボン以上に詳細なテキストの書式設定を行うことが可能です。たとえば、[Text Brush] の [Color] プロパティに 16 進値を直接入力することができます。さらにその他のプロパティを設定することによ



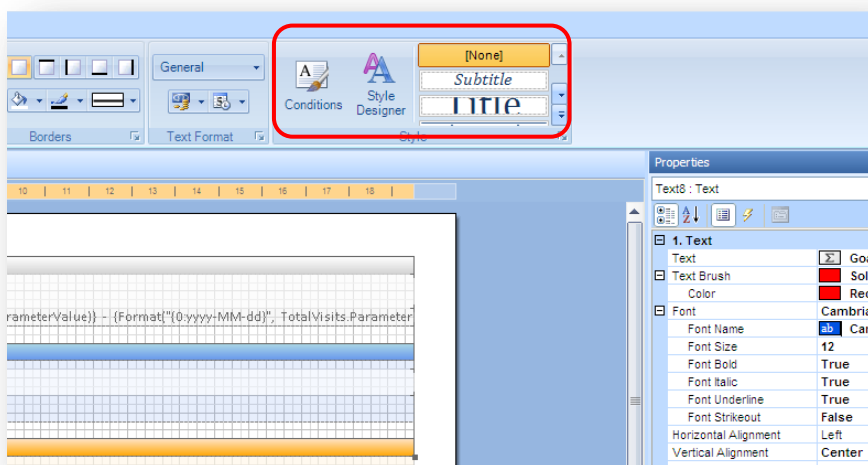
て高度な変更を行うことが可能です。たとえば、[Allow Html Tags] プロパティを True と設定することにより、HTML タグを使用してテキストを書式設定することが可能となります。



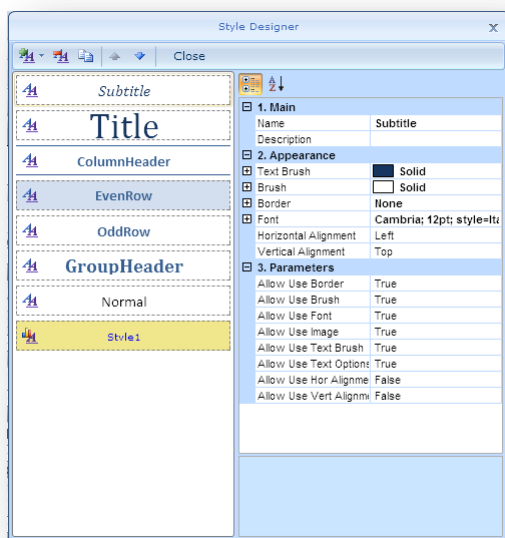
### 3.2.3 スタイル

[Styles] を使用してテキストや見出しやグラフのフォーマットの設定を行うことができます。

Stimulsoft リボンの [Style] グループから、すべてのスタイル オプションを利用することが可能です。

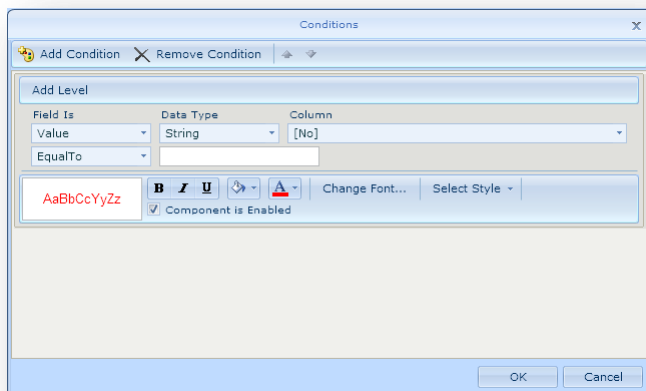


すべてのスタイルを表示したり、新しいスタイルを追加するためには、[Style Designer] ウィンドウを開きます。



スタイル デザイナーに含まれるすべてのスタイルは .sts ファイルに保存されています。保存したいスタイルをエクスポートしたり、保存した .sts ファイルから新しいスタイルをインポートすることが可能です。

[Conditions] ウィンドウを使うと、値や式を使用した条件付き書式の条件を作成することができます。

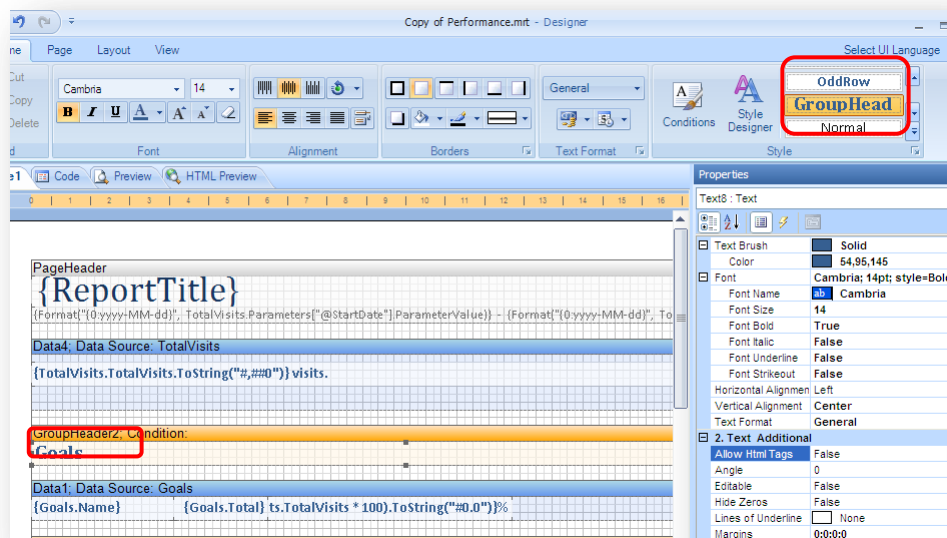


### 3.2.4 スタイルの適用

レポートに別のスタイルを適用する手順:

1. レポートで編集するテキスト ボックスをクリックします。

2. テキスト ボックスを選択し、右側にある [Styles] パネルに表示されているスタイルの 1 つをクリックします。たとえば [GroupHead] などです。



3. 変更を保存し、サイトコア アナリティクスでレポートをプレビューします。

### 3.3 レポートにグラフを追加する

データを視覚的に表現することにより、グラフやチャートはレポートをより効果的にするために役立ちます。これは素早く傾向を認識したり、潜在顧客を把握する必要のある、営業やマーケティングの担当者には特に有用です。

Web レポート デザイナーを使用して、レポートにグラフやチャートを容易に追加することが可能です。

次の例では既存の Sitecore レポートに棒グラフを追加する方法を説明します。

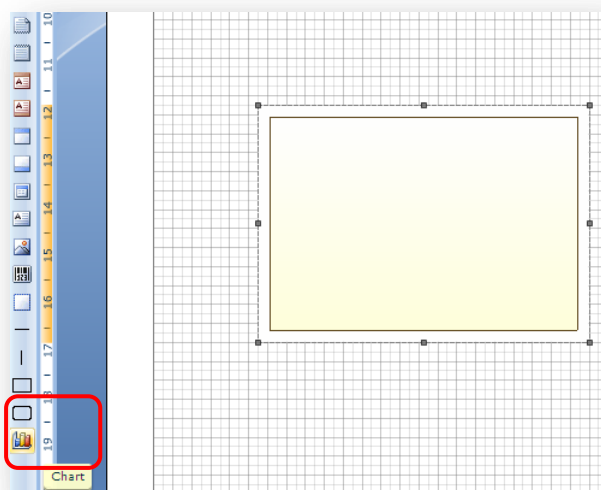
まずサイトコア アナリティクスで、たとえば [コンバージョンとプロフィールの追跡] などのレポートを開きます。原本に上書きしてしまうことを避けるため、最初にレポートの複製を作成しておきます。既存のレポートを使用してそのレポートに含まれるデータを再利用するのが容易な方法です。

コンバージョンに関連する情報のみを表示する簡単な棒グラフを作成します。最初にこのレポート上のプロフィールに関する情報を削除します。また、見出しを変更することも可能です。

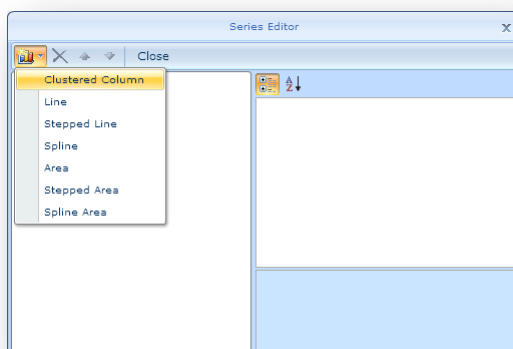
#### 3.3.1 棒グラフの作成

新しい棒グラフを作成する手順:

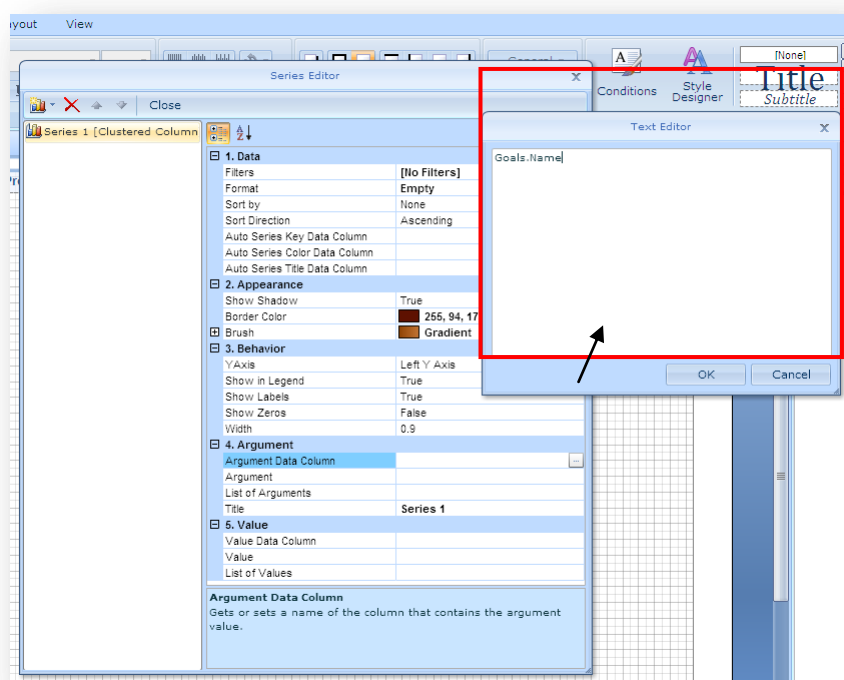
1. サイトコア アナリティクスで、[コンバージョンとプロフィールの追跡] レポートを選択します。
2. ページの最上部で [デザイン] をクリックし、Web レポート デザイナーでレポートを開きます。
3. レポート デザイナーのツールボックスで、[Chart] をクリックし、鉛筆ツールを使用して棒グラフのためのボックスを描画します。



- 作成したボックスをダブルクリックして、[Series Editor] ウィンドウを開きます。

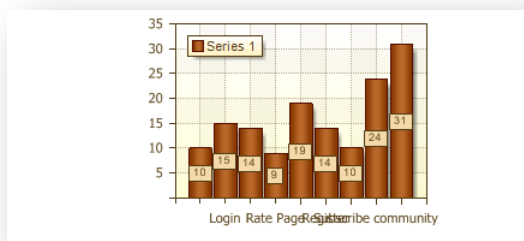


- グラフの種類として [Clustering] (集合縦棒グラフ) を選択します。
- グラフの種類を選択すると、[Series Editor] ウィンドウの右側のパネルにグラフで設定可能なプロパティが表示されます。[Argument] プロパティを選択します。
- [Argument Data Column] (引数データ列) フィールドでポップアップされる [Text Editor] ウィンドウに [Goals.Name] と入力します。これはグラフの底辺の X 軸の設定です。[Goals] はデータベースのテーブルを意味し、[Name] は選択したテーブルの列またはフィールドを意味します。



- [Value Data Column] プロパティでは [Goals.Total] と入力します。
- [Series Editor] で他のフィールドを選択し、[Close] をクリックして変更を保存し [Series Editor] ウィンドウを終了します。

10. レポートを保存してレポート デザイナーを終了し、サイトコア アナリティクスでレポートをプレビューします。下記のようなグラフが表示されます:



次にグラフの書式設定をさらに改良します。

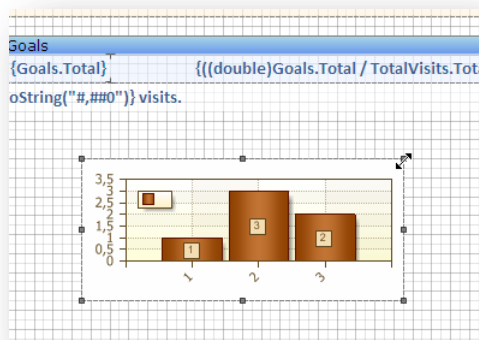
### 3.3.2 グラフの書式設定

レポートデザイナーで最初に作成した棒グラフを使用して、スタイルの追加とプロパティの設定を行い、色およびその他の書式設定を追加します。

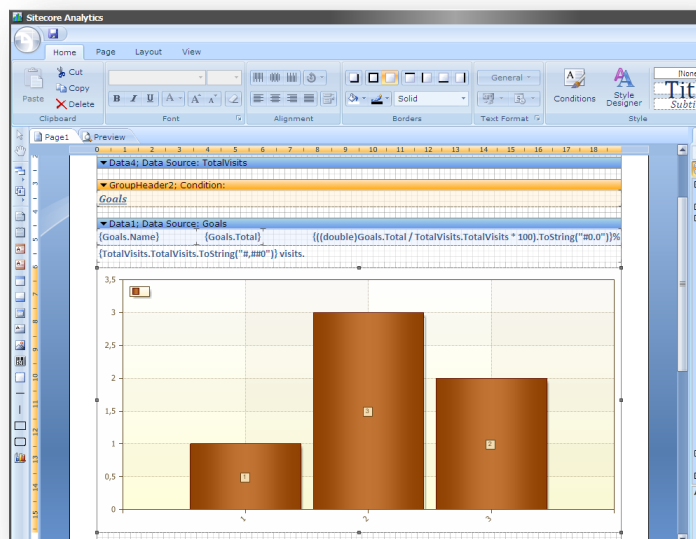
レポートのどのコンポーネントにもグラフを配置することが可能です。たとえばレポート ヘッダー、グループ ヘッダー、データソース、テキスト ボックスなどです。しかし通常、グラフはレポートの他のコンポーネントの上部または下部に配置します。

#### グラフのサイズ変更

1. 作成したグラフをクリックします。
2. グラフが [Goals] データ帯より下部に配置されていることを確認します。次にマウスをグラフの上に移動すると、サイズ変更の矢印が表示されます。



3. グラフのサイズを調整して、レポートのワーク エリアの最大幅となるようにします。



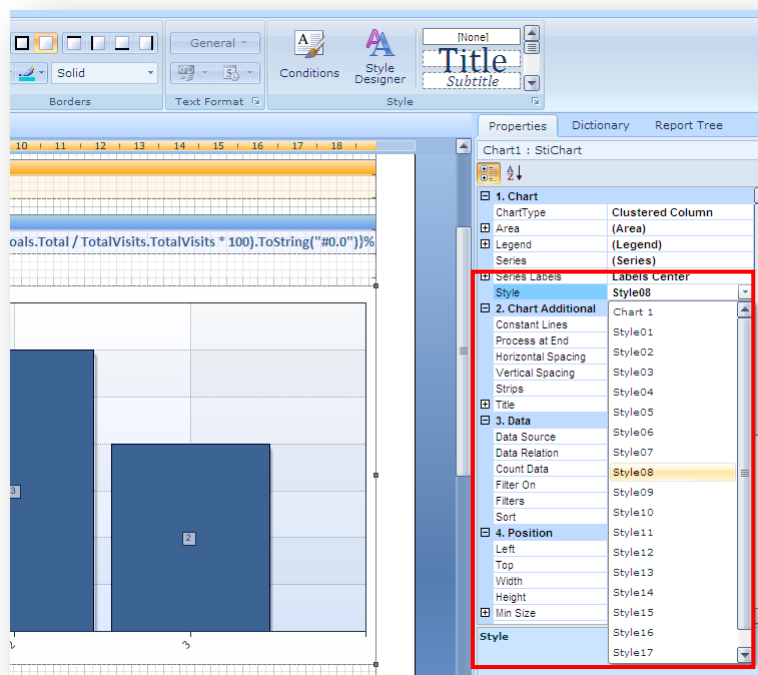
## グラフの色の変更

レポート デザイナーでは定義済みのスタイルを使用して、グラフの配色を変更することが可能です。カスタムの配色を作成することも可能です。

グラフの配色を変更する手順:

1. レポート デザイナーでグラフを選択します。
2. ページの右側の [Properties] タブをクリックして、グラフのプロパティを表示します。

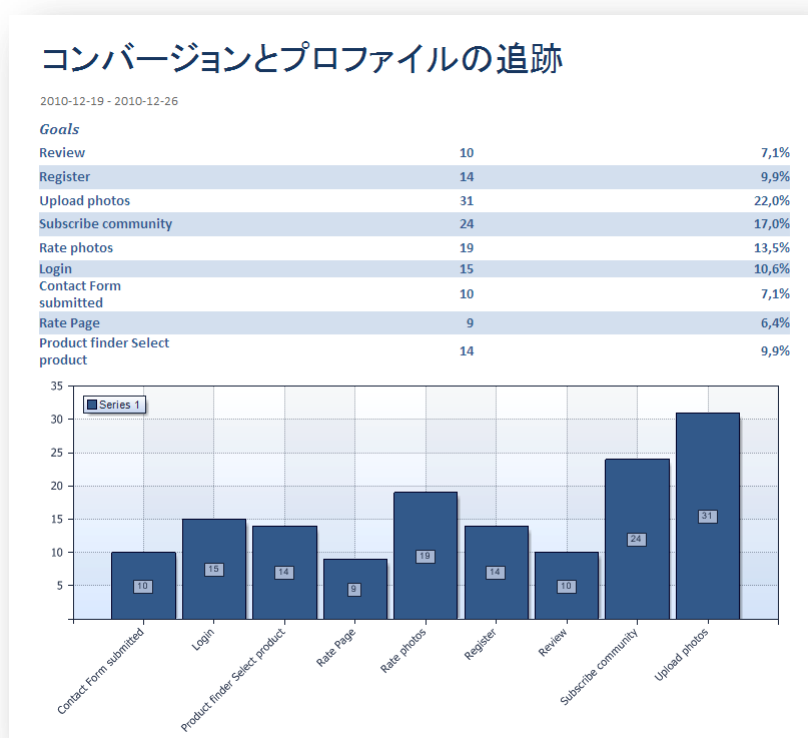
3. [1.Chart] のプロパティで [Style] をクリックし、ドロップダウン メニューをクリックして選択可能なグラフのスタイルを確認します。



4. [Style 08] を選択します。  
スタイルを選択すると、選択された配色のプレビューがレポート デザイナーに表示されます。
5. 変更を保存してレポート デザイナーを終了します。



6. サイトコア アナリティクスでレポートをプレビューします。下記のようなレポートが表示されます:



## ヒント

Web レポート デザイナーの開始時および終了時には読み込みに数秒ほどかかります。変更を素早くプレビューするためには、サイトコア アナリティクスの別のインスタンスを開いておきます。

## グラフにラベルを追加する

グラフにラベルを追加することができます。たとえば、X 軸と Y 軸にラベルを追加したり、タイトルや凡例を追加することが可能です。凡例は複数の色の列がある場合にそれを指し示すキーになります。

### グラフのラベルの概要:

[Properties] パネルを使用してグラフにラベルを追加します。グラフには多くの設定可能なプロパティがあります。次のものから始めます。

- X 軸と Y 軸のタイトル
- 凡例 (キー)
- 各列に表示するラベル

このためには [1.Chart] を使用します。

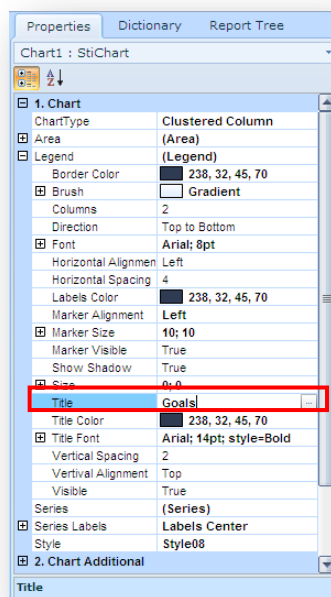
[Chart] の主なプロパティの概要を次の表に示します。

プロパティ (例)	説明	値
<b>Area</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• X Axis <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Title <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Text</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>• Y Axis <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Title <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Text</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>• Color Each</li> </ul>	<p>[Area] にはグラフの領域のフォーマットを設定できるいくつかのプロパティがあります。これには罫線、背景、X 軸と Y 軸のラベルなどがあります。</p> <p>[Color Each] ではすべての列を同じ色とするか別の色とするかを指定します。</p>	<p>X 軸 (グラフの底辺の水平線の下) に表示するタイトルを入力します。</p> <p>Y 軸 (グラフの側面の垂直線の横) に表示するタイトルを入力します。</p> <p>True または False</p>
<b>Legend</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Title</li> </ul>	<p>[Legend] はキーを指します。これは特に円グラフでキーがグラフの異なる色の部分についての情報となる場合には有用です。</p>	<p>キーとして表示するタイトルを入力します。たとえば [Goals] などです。</p>
<b>Series Labels</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Visible</li> </ul>	<p>[Series Labels] プロパティを使って、グラフに表示する列にラベルを追加したり、書式設定を変更します。たとえば、各列にラベルを追加したり、表示または非表示に設定することが可能です。</p>	<p>True または False</p>

グラフに凡例ラベルを追加する手順:

1. Web レポート デザイナーでグラフを選択します。
2. [Properties] パネルで [Chart] を選択し、[Legend] ノードを展開します。

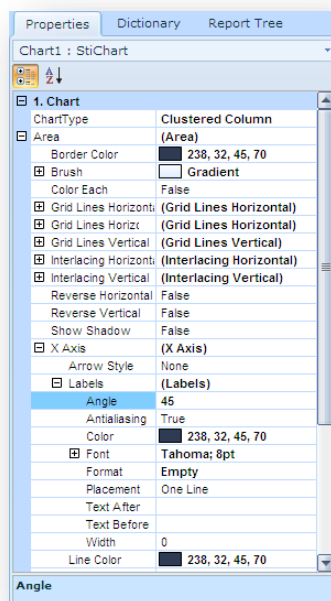
## 3. [Title] フィールドで [Goals] と入力します。



グラフの X 軸と Y 軸にラベルを追加する手順:

1. レポート デザイナーでグラフを選択します。
2. [Properties] パネルで [Chart] を選択し、次のプロパティを展開します:
  - Area
  - X Axis
  - Labels
  - Angle

3. [Angle] (角度) プロパティで [45] と入力します。



これで X 軸のラベルに 45 度の角度をつけて表示し、すべての文字をグラフ上に表示できるようにします。

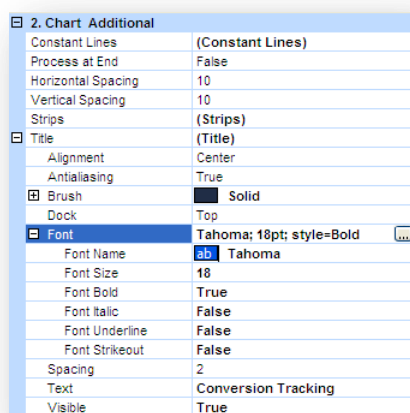
グラフにタイトルを追加する手順:

1. レポート デザイナーでグラフを選択します。
2. 次のプロパティを展開します:
  - Chart Additional
  - Title
  - Text
3. [Text] プロパティで名前を [Conversion Tracking] と入力します。
4. [Visible] プロパティを [True] に設定します。

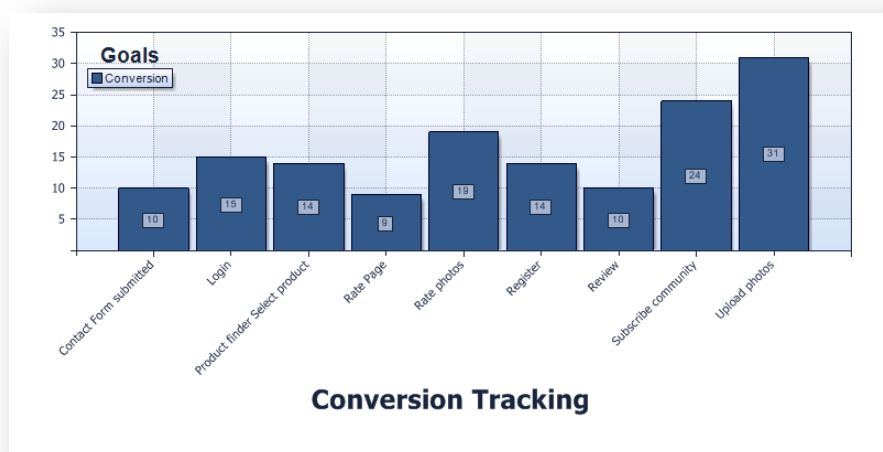
5. [Chart Additional] ではさらにいくつかのプロパティを設定することが可能です。

グラフに次のプロパティを設定します:

プロパティ	値
Alignment	Center
Dock	Bottom
Font Size	18
Font Bold	True



6. グラフを保存し、サイトコア アナリティクスでプレビューします。



### 3.3.3 円グラフの作成

ビジターのゴールを円グラフで表示するレポートを作成します。

## 準備:

1. サイトコア アナリティクスで、[コンバージョンとプロフィールの追跡] レポートを選択します。  
このレポートを円グラフ レポートの元にします。このレポートには再利用可能なゴールのデータソースが含まれています。
2. コンテンツ ツリーでレポート定義アイテムに移動します。

```
/sitecore/システム/設定/アナリティクス/レポート/レポート/マーケティング/コンバージョンとプロフィールの追跡
```

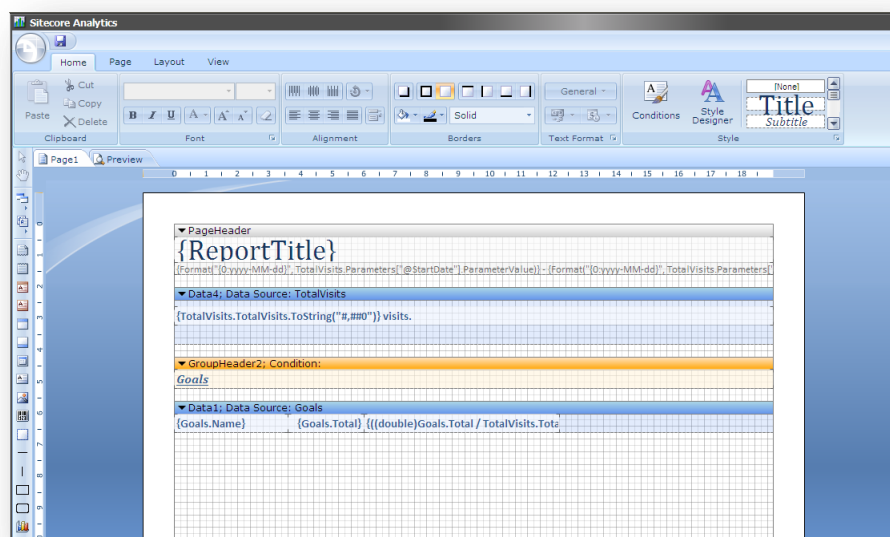
3. このレポートを複製して名前を [Visitor Goals Chart] と変更します。
4. このレポートに関連付けられた .mrt ファイルを検索します。Performance.mrt.

```
wwwroot\<site name>\WebSite\sitecore\shell\Applications\Analytics\Reports\
```

5. [Performance.mrt] の名前を [VisitorGoalsChart.mrt] に変更します。

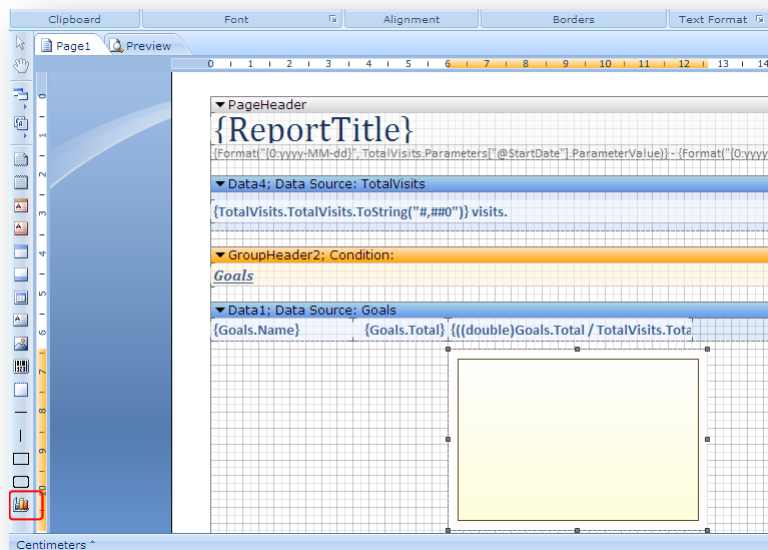
## 新しい円グラフを作成する手順:

1. サイトコア アナリティクスでレポートのコンテンツ ツリーを最新の情報に更新します。
2. レポート [Visitor Goals Chart] を選択します。
3. [デザイン] をクリックして Web レポート デザイナーを開きます。
4. プロファイルに関するすべてのデータ帯とヘッダーを削除します。これを行うためにはデータ帯をクリックし、次にリボンで [Delete] をクリックします。これでレポートのレイアウトはゴールのみを表示します。

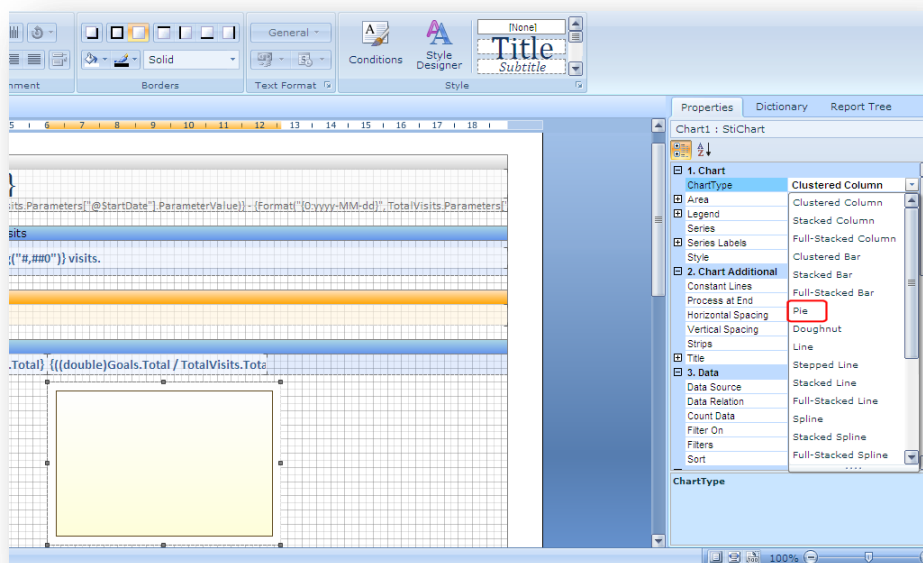


5. ツールボックスで [Chart] をクリックします。

- 鉛筆ツールを使用して円グラフのためのボックスを描画します。

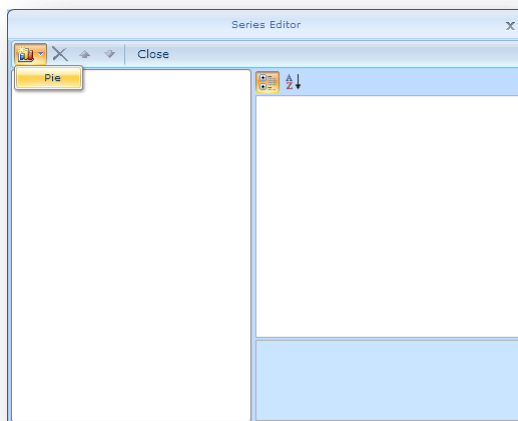


- ボックスを選択し、[Properties] パネルの [Chart Type] プロパティで [Pie] を選択します。

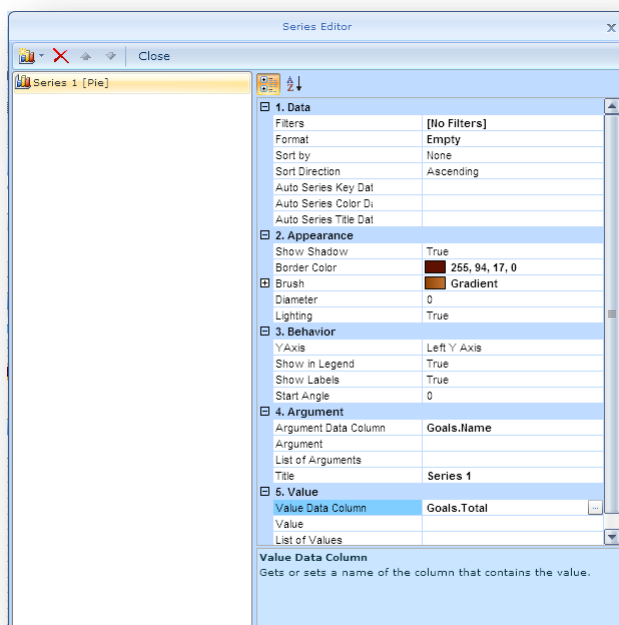


- 円グラフをダブルクリックして、[Series Editor] ウィンドウを開きます。

9. [Series Editor] ウィンドウで [Pie] をクリックし、円グラフのプロパティを表示します。



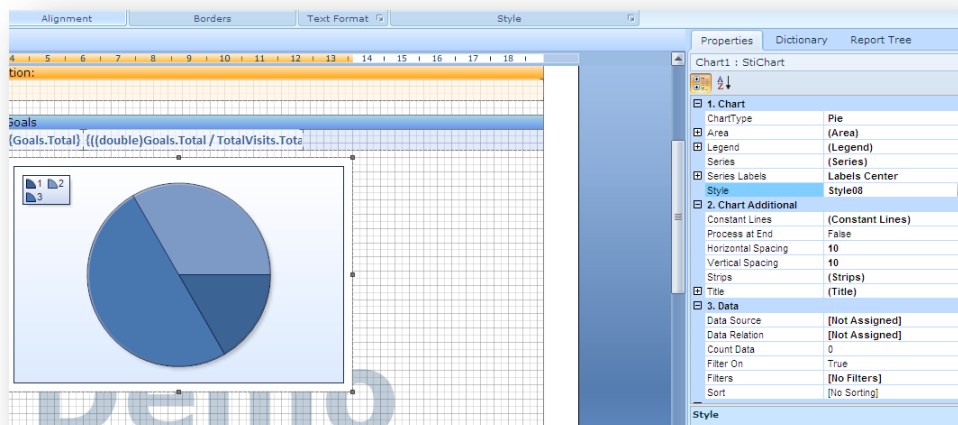
10. [Series Editor] ウィンドウで、円グラフに表示する列を選択します。



11. [Argument Data Column] プロパティに Goals.Name と入力するか、またはそれを [Text Editor] ウィンドウに入力します。
12. [Value Data Column] プロパティでは Goals.Total と入力します。
13. 変更を保存するためには、[Series Editor] ウィンドウの任意のフィールドを選択し、次に [Close] をクリックします。



14. 円グラフを選択します。[Properties] パネルで [Chart]、[Style] をクリックし、ドロップダウン リストから [style08] を選択します。

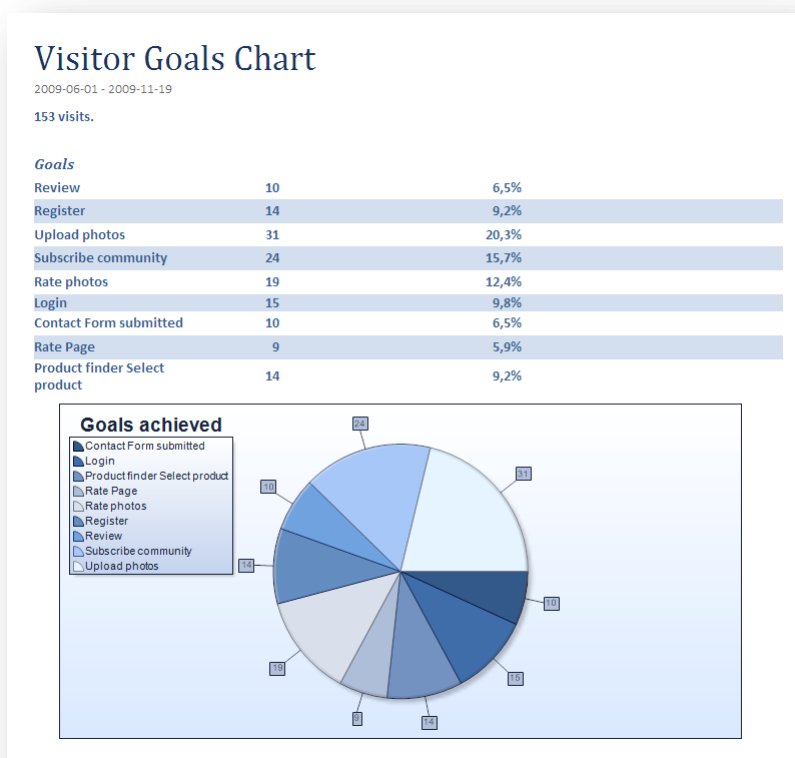


15. 凡例を追加してそのフォーマットを設定するためには、[Properties] パネルで次のプロパティを設定します:

プロパティ	値
Legend, Title	Goals achieved
Legend, Columns	1
Legend, Direction	Right to Left
Series Labels	Outside
Series Labels, Legend Value Type	Argument

16. Stimulsoft メニューで [Save Report] をクリックします。

## 17. サイトコア アナリティクスでゴールの円グラフをプレビューします。



## 3.4 レポートに画像を追加する

レポートに画像を追加するためには、Web レポート デザイナーで画像への URL リンクを入力します。Windows レポート デザイナーを使用している場合にはコンピューター上の画像を参照することも可能です。

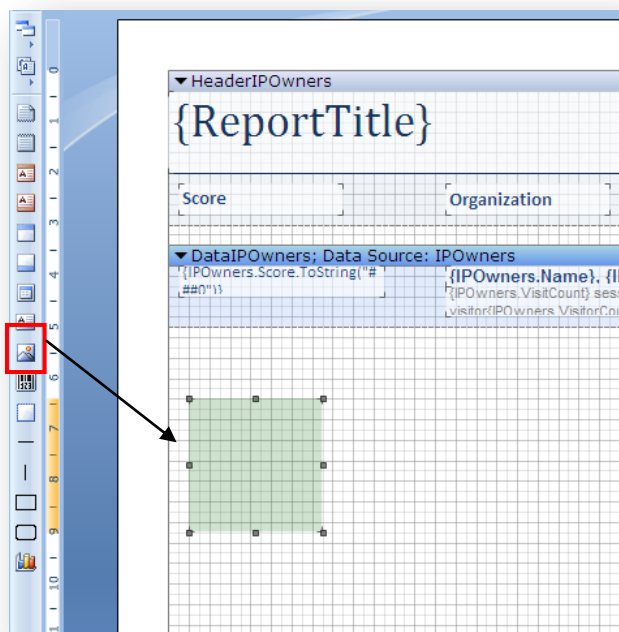
このセクションでは プロファイル キー レポートに画像を追加します。このレポートは Sitecore 「リード - エグゼクティブ - プロスペクト」レポートをもとにしています。このレポートの .mrt ファイルは Leads Executive.mrt です。

または既存の任意のレポートに画像を追加します。ただし、まず必ずレポートと .mrt ファイルを複製してください。

### 3.4.1 メディア ライブラリの画像にリンクする

レポートに画像を追加する手順:

1. レポートデザイナーで [リード - エグゼクティブ - プロスペクト] を開きます。
2. ツールボックスで [Image] をクリックし、新しい画像のプレースホルダーをレポートにドラッグします。

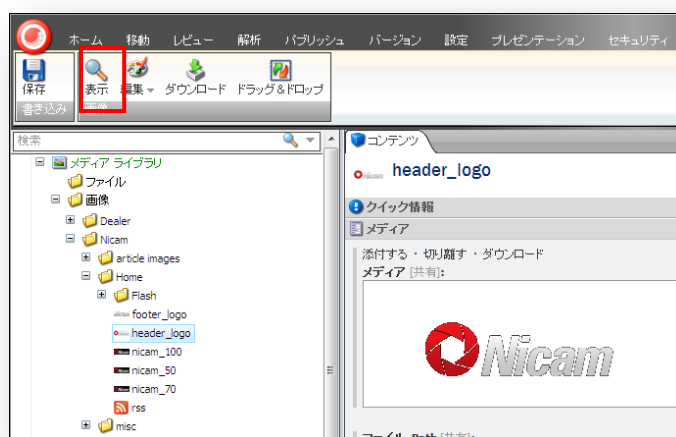


3. ボックスをダブルクリックして [Image] ダイアログ ボックスを開きます。
4. [Image] ダイアログ ボックスでは次のオプションがあります。

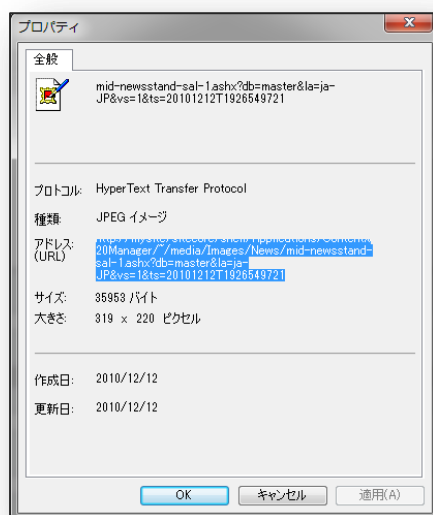
オプション	説明
Data Column	データベースに保存されている BLOB にリンクする
Image Data	画像変数を入力する。たとえば {MyImageVariable}

オプション	説明
URL	メディア ライブラリまたは外部サーバー上の画像へリンクする URL 文字列を入力する。

- メディア ライブラリに保存されている画像にリンクします。メディア ライブラリを開き、コンテンツ ツリーで [header\_logo] という画像を検索します。
- 画像を選択し、リボンの [メディア] グループで [表示] をクリックします。

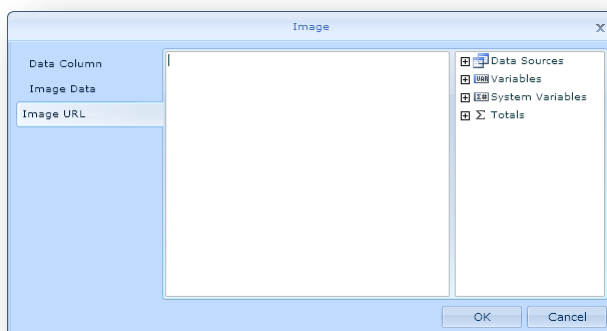


- ポップアップ ウィンドウで右クリックし、[プロパティ] を選択します。



- [プロパティ] ウィンドウの [アドレス] フィールドで画像の URL を選択して強調表示し、コピーします。

9. レポート デザイナーの [Image] ダイアログ ボックスで、URL を [Image URL] フィールドに貼り付けます。



画像 [header\_logo] では、URL はたとえば下記のようになります:

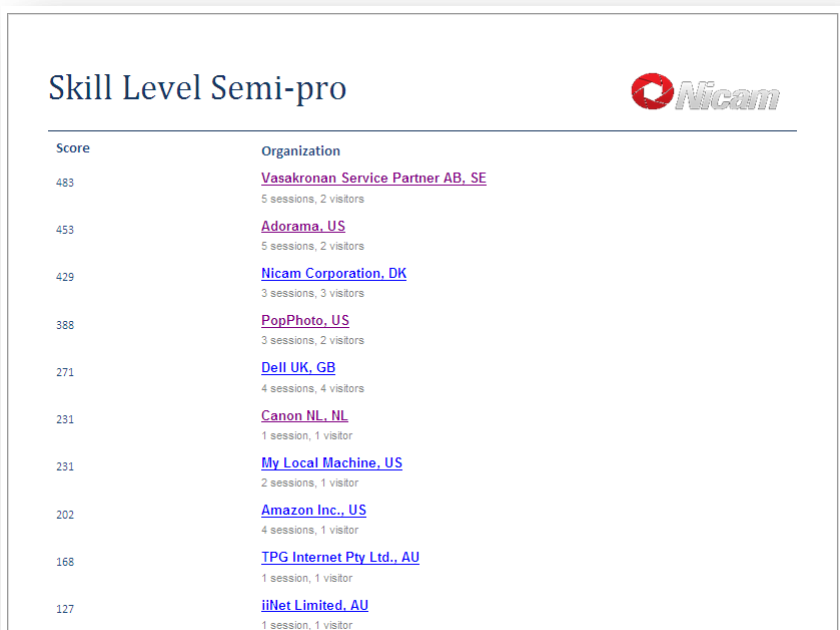
```
http://localhost/sitecore/shell/Applications/Content%20Manager/~~/media/Images/Nicam/Home/header_logo.ashx?db=web&la=en&vs=1&ts=20091109T1305394906
```

10. 画像をレポート上で好みの位置に移動します。たとえば、右上の隅のレポートのタイトルの横などです。

画像のボックスをレポート ヘッダーまたは OMS レポートの他の任意のコンポーネントに容易に追加することが可能です。

11. [OK] をクリックして [Image] ダイアログ ボックスを閉じます。

12. 変更を保存し、サイトコア アナリティクスでレポートをプレビューします。



Score	Organization
483	<a href="#">Vasakronan Service Partner AB, SE</a> 5 sessions, 2 visitors
453	<a href="#">Adorama, US</a> 5 sessions, 2 visitors
429	<a href="#">Nicam Corporation, DK</a> 3 sessions, 3 visitors
388	<a href="#">PopPhoto, US</a> 3 sessions, 2 visitors
271	<a href="#">Dell UK, GB</a> 4 sessions, 4 visitors
231	<a href="#">Canon NL, NL</a> 1 session, 1 visitor
231	<a href="#">My Local Machine, US</a> 2 sessions, 1 visitor
202	<a href="#">Amazon Inc., US</a> 4 sessions, 1 visitor
168	<a href="#">TPG Internet Pty Ltd., AU</a> 1 session, 1 visitor
127	<a href="#">iNet Limited, AU</a> 1 session, 1 visitor

### 3.4.2 外部サーバー上の画像にリンクする

画像が外部のサーバー上に保存されている場合は URL フィールドを使用してリンクすることが可能です。

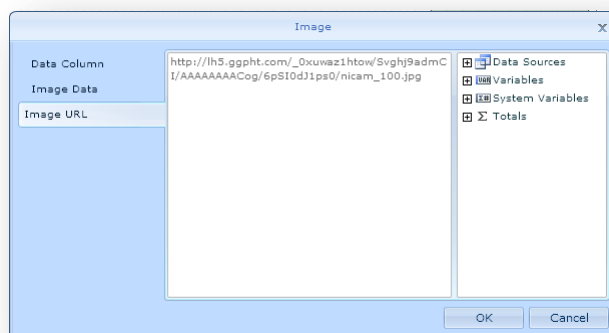
外部サーバー上の画像へのリンクを追加する手順:

1. ツールボックスを使用してレポートに画像を追加します。
2. 画像のボックスをダブルクリックして [Image] ダイアログ ボックスを開きます。
3. [URL] フィールドで画像の場所へのリンクを入力します。この例では外部の Web サイト上に保存された別のバージョンの Nicam ロゴを使用します。このような画像では通常、そのプロパティに完全な URL 文字列が含まれています。画像のプロパティを開き、画像の URL 文字列をコピーします。

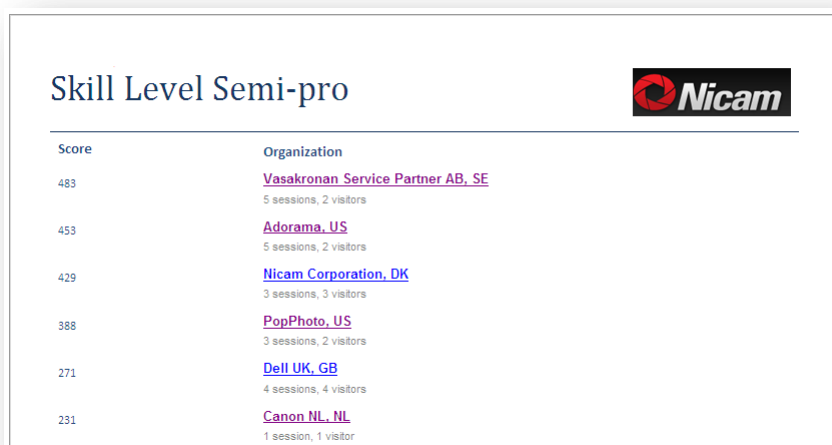
この例では画像の URL は下記です:

```
http://lh5.ggpht.com/_0xuwaz1htow/Svghj9admCI/AAAAAAAAACog/6pSI0dJ1ps0/nicam_100.jpg
```

4. [Image] ダイアログ ボックスで、URL を [Image URL] フィールドに貼り付けます。



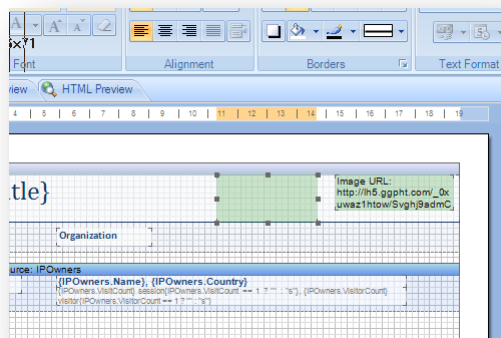
5. [OK] をクリックしてレポートを保存します。
6. サイトコア アナリティクスでレポートをプレビューします。



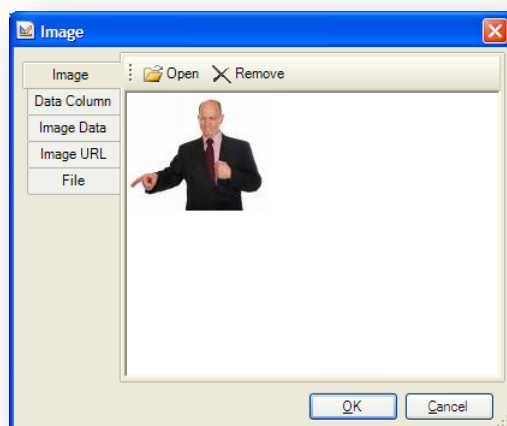
### 3.4.3 画像をアップロードする

このセクションではローカル コンピューターから画像をアップロードします。同じレポートを使用して、タイトル セクションに 2 つめの画像を追加します。この手順では Stimulsoft Windows レポート デザイナーが必要です。

1. Windows レポート デザイナー クライアントを開きます。
2. レポートのタイトル ヘッダーに別の画像ボックスを追加します。

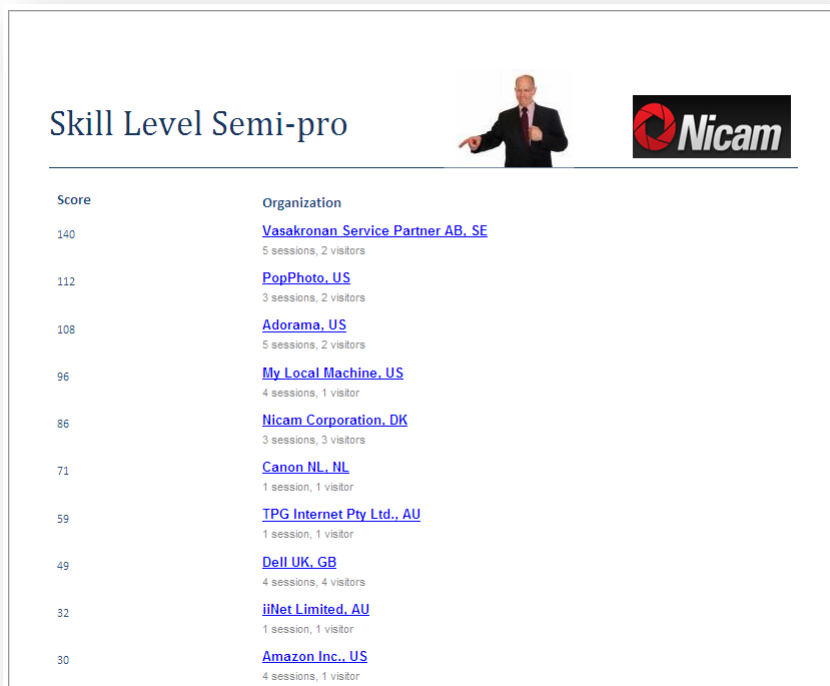


3. 画像のボックスをダブルクリックして [Image] ダイアログ ボックスを開きます。



4. [Image] フィールドで [Open] をクリックして、コンピューター上の適切な画像を参照します。画像を選択して [OK] をクリックします

## 5. サイトコア アナリティクスでレポートをプレビューします。



Score	Organization
140	<a href="#">Vasakronan Service Partner AB, SE</a> 5 sessions, 2 visitors
112	<a href="#">PopPhoto, US</a> 3 sessions, 2 visitors
108	<a href="#">Adorama, US</a> 5 sessions, 2 visitors
96	<a href="#">My Local Machine, US</a> 4 sessions, 1 visitor
86	<a href="#">Nicam Corporation, DK</a> 3 sessions, 3 visitors
71	<a href="#">Canon NL, NL</a> 1 session, 1 visitor
59	<a href="#">TPG Internet Pty Ltd., AU</a> 1 session, 1 visitor
49	<a href="#">Dell UK, GB</a> 4 sessions, 4 visitors
32	<a href="#">iiNet Limited, AU</a> 1 session, 1 visitor
30	<a href="#">Amazon Inc., US</a> 4 sessions, 1 visitor

**メモ**

Windows レポート デザイナーの [Image] ダイアログ ボックスでは Web レポート デザイナーよりも多くのオプションがあります。たとえば、[File] タブを使用してローカルに保存された画像へリンクすることができます。[Image Data] フィールドで画像の変数名を指定することができます。この変数または式は画像を扱う開発者が使用します。



## 3.5 レポートにリンクを追加する

Sitecore OMS では 3 種類のハイパーリンクを使用することが可能です。

- 同じ Web サイトの別のページへのリンク
- 外部の Web サイトへのリンク
- Sitecore OMS の別のレポートへのリンク

たとえば、「直近のセッション（人間）」レポートにはビジターの組織名に基づく「セッション」レポートへのリンクが含まれています。

### 直近のセッション（人間）

<a href="#">2009-07-09 01:25:09</a>	<a href="#">Vasakronan Service Partner AB</a> Stockholm, SE, 26 - (TDC Song AB) 35 pages viewed, spent 00:08:58 <a href="#">2_visit</a> Referred from (direct) <a href="#">ISP / Subscribe / CRM</a> Conversion: Upload photos Conversion: Rate photos Conversion: Subscribe community Conversion: Upload photos Conversion: Subscribe community Conversion: Register
<a href="#">2009-07-09 01:22:10</a>	<a href="#">Vasakronan Service Partner AB</a> Stockholm, SE, 26 - (TDC Song AB) 16 pages viewed, spent 00:02:47 <a href="#">2_visit</a> Referred from (direct) <a href="#">ISP / Subscribe / CRM</a> Conversion: Review
<a href="#">2009-07-09 01:22:09</a>	<a href="#">Vasakronan Service Partner AB</a> Stockholm, SE, 26 - (TDC Song AB) 1 page viewed, spent 00:02:58 <a href="#">2_visit</a> Referred from (direct) <a href="#">ISP / Subscribe / CRM</a>
<a href="#">2009-07-08 13:07:54</a>	<a href="#">Amazon Inc.</a> Dallas, US, TX - (SBC Internet Services) 1 page viewed, spent 00:00:00 <a href="#">19_visit</a> Referred from www.google.com <a href="#">Business Partner / Subscribe / CRM</a>
<a href="#">2009-07-08 11:49:18</a>	<a href="#">PopPhoto</a> Stratham, US, NH - (Comcast Cable) 29 pages viewed, spent 00:02:48 <a href="#">2_visit</a> Referred from (direct) - "D3X" <a href="#">Press / Subscribe / CRM</a> Conversion: Rate Page Conversion: Login Conversion: Product finder Select product

### セッション

<a href="#">2009-jul-08 11:49:18</a>	<a href="#">PopPhoto</a> Stratham, US, NH - (Comcast Cable) 29 pages viewed, spent 00:02:48 <a href="#">2_visit</a> Referred from (direct) - "D3X" <a href="#">Press / Subscribe / CRM</a> Conversion: Product finder Select product Conversion: Rate Page Conversion: Login
<a href="#">2009-jul-07 08:34:35</a>	<a href="#">PopPhoto</a> Milford, US, NH - (Comcast Cable) 19 pages viewed, spent 00:02:43 <a href="#">5_visit</a> Referred from (direct) - "Nicam" <a href="#">Press / Subscribe / CRM</a> Conversion: Login
<a href="#">2009-jul-07 08:32:36</a>	5 pages viewed, spent 00:01:35 <a href="#">4_visit</a> Referred from (direct) - "Nicam" <a href="#">Press / Subscribe / CRM</a>

PopPhoto の「セッション」レポートが新しいウィンドウで表示される

「直近のセッション（人間）」レポート

### 3.5.1 Web サイトへのリンクの方法

ハイパーリンクを作成する方法の説明には [IPOwner] テーブルをもとにした簡単なレポートを使います。このレポートは Nicam の Web サイトを訪れた組織とビジターの情報を一覧表示します。たとえば国名、ビジター、訪問の回数、訪

れたページ数、などのビジター情報です。

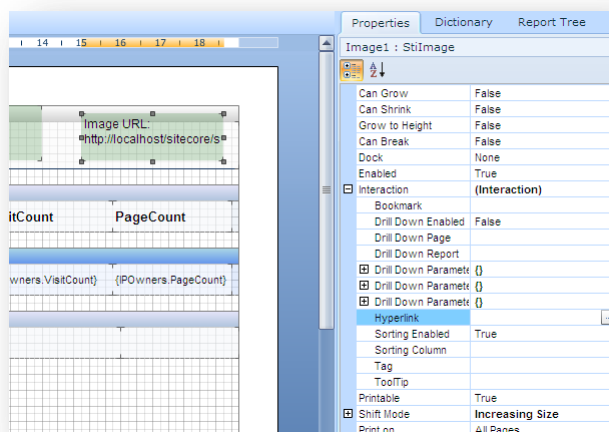
Name	Country	VisitorCount	VisitCount	PageCount
Ily Local Machine	US	10	61	177
Vasakronan Service Partner AB	SE	2	8	146
Amazon inc.	US	1	20	141
PopPhoto	US	3	8	134
Dell UK	GB	6	10	119
Nicam Corporation	DK	4	6	99
Adorama	US	5	12	90
Canon NL	NL	1	3	72
Google	VN	39	39	39
Celcom Internet Service Provider	MY	1	1	29
Nikon AU	AU	2	2	26
Ebay	US	4	6	25

## メモ

使用する適切なレポートがある場合、必ずしもこのレポートを作成する必要はありません。サイトコア アナリティクスで任意のレポートを選択して同様の手順を行うことが可能です。ただし、必ずまずレポートを複製してください。

Nicam ロゴから Nicam Web サイトのホームページへの内部リンクを作成する手順:

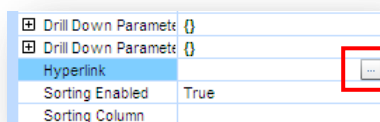
1. レポート デザイナーでレポートを選択して開きます。
2. ハイパーリンクを作成するテキストまたは画像をクリックします。この例では Nicam ロゴをクリックします。



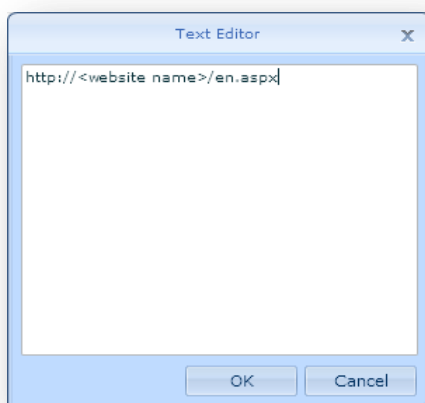
3. [Properties] パネルで次のプロパティを展開します:

- Behavior
- Interaction
- Hyperlink

4. [Hyperlink] フィールドの横のボックスをクリックし、[Text Editor] を開きます。



5. [Text Editor] ウィンドウで Nicam のホームページへリンクする URL 文字列を入力します。



`http://<website name>/en.aspx`

6. [OK] をクリックし、[Text Editor] ウィンドウを閉じます。
7. レポートを保存し、サイトコア アナリティクスでレポートをプレビューして、リンクを確認します。

### 外部 Web サイトへのリンクの方法

同じレポートを使用して、Sitecore ロゴから Web サイト [www.sitecore.net](http://www.sitecore.net) へのリンクを作成します。

同じ手順を行い、リンクする Web サイトの完全なアドレスを入力します。この例では、[Text Editor] ウィンドウで、アドレス [www.sitecore.net](http://www.sitecore.net) を入力します。

`http://www.sitecore.net/`

### 3.5.2 別のレポートへのリンクを作成する方法

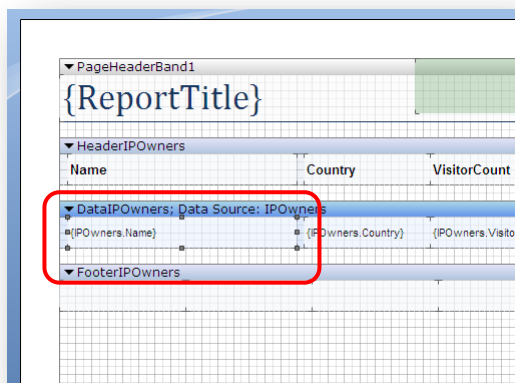
Sitecore OMS の別のレポートへのリンクを作成するには少々考慮が必要です。再度同じレポートを例にとります。今回はレポートの本文に表示される組織名から「セッション」レポートへのリンクを作成します。

セッション レポートへのリンクによって、各ビジターのアクティビティの詳細な情報、たとえば表示したページ、コンバージョン、プロフィール スコアなどの情報を知ることができ、有益です。

「セッション」レポートへのリンクを作成する手順:

1. ビジター情報のレポートまたは他のレポートを開きます。

2. レポート デザイナーで組織名を含むテキスト ボックスを選択します。



3. [Properties] パネルで [Hyperlink] プロパティを選択し、[Text Editor] を開きます。
4. [Text Editor] ウィンドウで次の URL 文字列を入力し、「セッション」レポートへのリンクを作成します:

```
/sitecore/shell/applications/analytics/default.aspx?r=B33272F6-E2C1-43DF-802E-969A955BC6D6&p=1&ipowner={IpOwners.IPOwnerIdObject}
```

この URL 文字列のフォーマットは通常のハイパーリンクとは異なるものです。この URL の各部分を次の表で説明します。

文字列	説明
/sitecore/shell/applications/analytics/default.aspx?	レポートを実行する Sitecore のページ
r=B33272F6-E2C1-43DF-802E-969A955BC6D6	「セッション」レポート アイテム ID
&p=1&ipowner	ポップアップ ウィンドウを開く
={IpOwners.IPOwnerIdObject}	ビジター セッションをレポートに表示される組織名にリンクする

[IpOwners.IPOwnerIdObject] はレポートで設定されたデータ ソースです。URL のこの部分は設定したデータソースに応じて編集します。

アイテム ID はリンク先に設定するレポートに応じて変更します。

5. [OK] をクリックし、[Text Editor] ウィンドウを閉じます。

6. レポートを保存し、サイトコア アナリティクスでレポートを実行して、リンクを確認します。



The screenshot shows a report titled "Visitor Information" with the Sitecore and Nicam logos. The report contains a table with the following data:

Name	Country	VisitorCount	VisitCount	PageCount
<a href="#">My Local Machine</a>	US	10	61	177
<a href="#">Vasakronan Service Partner AB</a>	SE	2	8	146
<a href="#">Amazon inc.</a>	US	1	20	141
<a href="#">PopPhoto</a>	US	3	8	134
<a href="#">Dell UK</a>	GB	6	10	119
<a href="#">Nicam Corporation</a>	DK	4	6	99
<a href="#">Acorama</a>	US	5	12	90
<a href="#">Canon NL</a>	NL	1	3	72
<a href="#">Google</a>	VN	39	39	39
<a href="#">Celcom Internet Service Provider</a>	MY	1	1	29
<a href="#">Nikon AU</a>	AU	2	2	26
<a href="#">Ebay</a>	US	4	6	25
<a href="#">TeleMost Ltd</a>	UA	2	7	25
<a href="#">iNet Limited</a>	AU	1	1	24

## Chapter 4

# アナリティクス データベース

この章では OMS アナリティクス データベースについて解説します。すべての OMS レポートはこのデータベースのテーブルをもとにしています。

- アナリティクス データベースを理解する
- 有用なアナリティクス テーブル グループ

## 4.1 アナリティクス データベースを理解する

新しいレポートを作成する際には次の点を考慮します:


- レポートに何の情報を表示するか?
- どのテーブルを使用する必要があるか?
- 既にこれらのテーブルを使用していて、ベースとして利用できるレポートはあるか?
- レポートのレイアウトでこの情報をどのように表示するか?

### 4.1.1 主なテーブル グループ

アナリティクス データベースの理解のために、まず重要なテーブル グループの概要から説明します。この章では各テーブル グループのダイアグラムを掲載し、各テーブルの目的を説明します。

### 4.1.2 Session テーブル

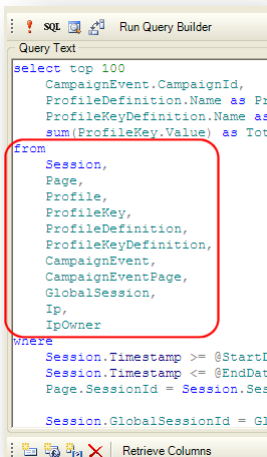
Session テーブルはアナリティクス データベースで最も重要なテーブルです。このテーブルは他のすべてのテーブルと関連しており (ただし Status を除く)、データベースからあらゆる情報を読み込む際のアクセス ポイントであると考えられます。



Session
SessionId
Timestamp
AspNetSessionId
IpId
IpAddress
GlobalSessionId
GlobalVisitId
Domain
MultiSite
ScreenId
OperatingSystemId
ReferringSiteId
KeywordId
ErrorId
LanguageId
CurrentPage
LastPageTimestamp

すべての Web サイトのビジターは Web サイトを訪問する都度新しいセッションを作成し、それらのセッションは Session テーブルに記録されます。多くのレポートは他のテーブルから情報を読み込む前に、まずこのテーブルにアクセスする必要があります。

サイトコア アナリティクスの既存のレポートを確認すると、大多数の SQL クエリで Session テーブルが使用されていることに気づくはずですが、次の SQL クエリは Profile データソースの「キャンペーンの概要」レポートのもので、



```
select top 100
  CampaignEvent.CampaignId,
  ProfileDefinition.Name as Pr
  ProfileKeyDefinition.Name as Pr
  sum(ProfileKey.Value) as Tot
from
  Session,
  Page,
  Profile,
  ProfileKey,
  ProfileDefinition,
  ProfileKeyDefinition,
  CampaignEvent,
  CampaignEventPage,
  GlobalSession,
  Ip,
  IpOwner
where
  Session.Timestamp >= @StartD
  Session.Timestamp <= @EndDat
  Page.SessionId = Session.Ses
  Session.GlobalSessionId = Gl
```

このクエリはまず Session テーブルにアクセスし、次にいくつかのテーブルを使って必要なデータを読み込んでいます。

### 4.1.3 SQL クエリ言語

レポートに表示するデータは SQL クエリ言語を使用してデータベースから読み込みます。レポートを作成する際には SQL クエリを作成するか、または既存のものを修正します。

SQL クエリの作成には直接編集するか、またはツールを使用することが可能です。

Windows レポート デザイナーではクエリビルダーを使用すると SQL クエリを容易に作成することができます。また SQL Server Management Studio などのツールはこのプロセスの自動化のために役立ちます。

出発点としては、Sitecore OMS の標準レポートを調査して各クエリの構造を理解することから始めることを推奨します。各レポートは 1 つまたは複数のデータソースを含み、各データソースは SQL クエリを含みます。まず各クエリを調べて、どのテーブルを使用し、どの列を表示するのかを理解します。

SQL クエリ言語の知識があまりなくてもレポートを作成することは可能ですが、特にクエリビルダーなどのツールを使用する場合には、SQL クエリ言語とアナリティクス データベースのテーブルの構造を理解することがツールの活用に役立ちます。

#### メモ

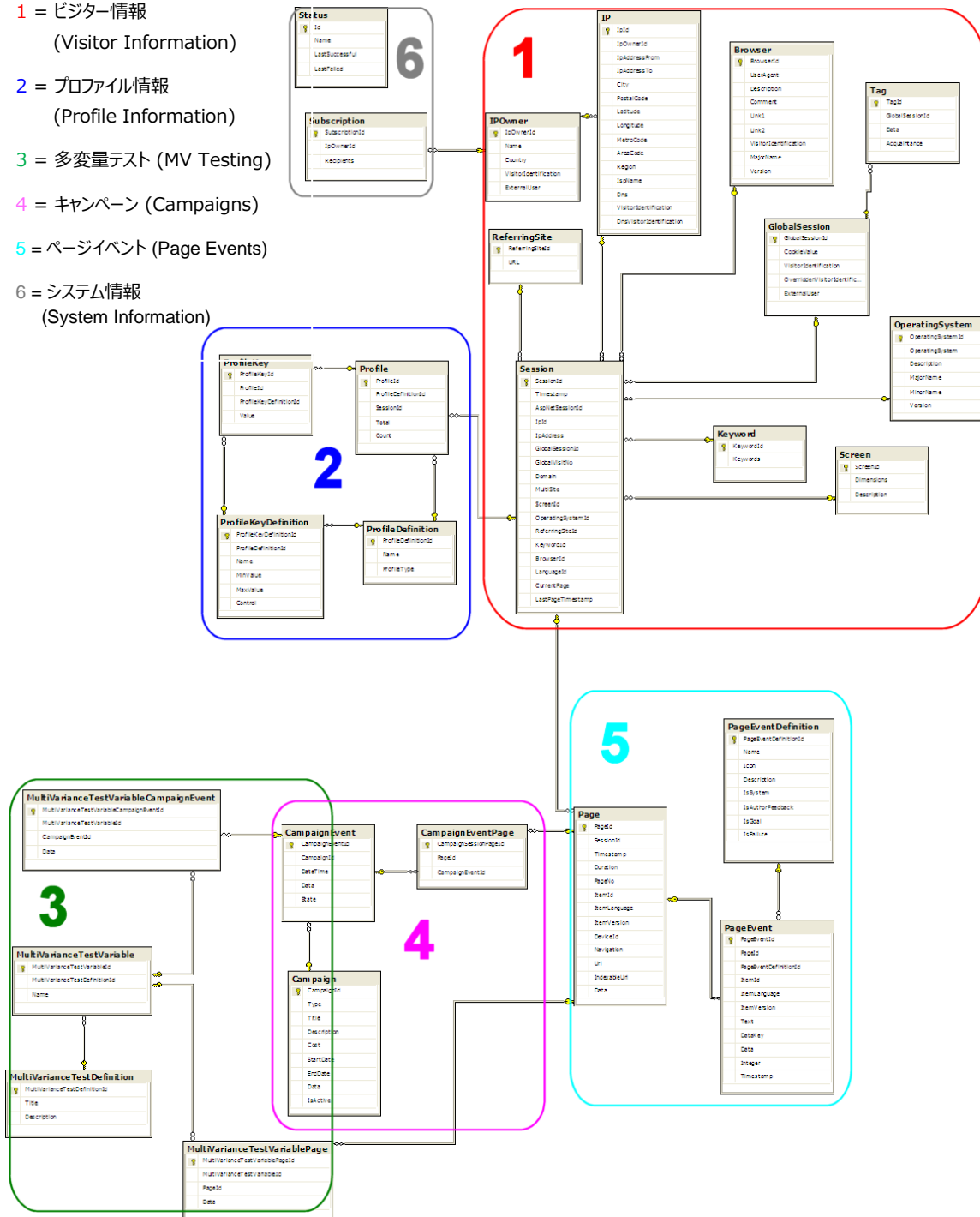
SQL Server データベースから Oracle データベースへのアップグレードを検討する場合には、Oracle で使用する SQL クエリの構文は SQL Server のものと若干異なることに留意してください。また Transact-SQL (TSQL) は Oracle データベースとの互換性はありません。

次のセクションではレポートに含めるテーブルと列を見つけるために有用なテーブル グループの概要を説明します。



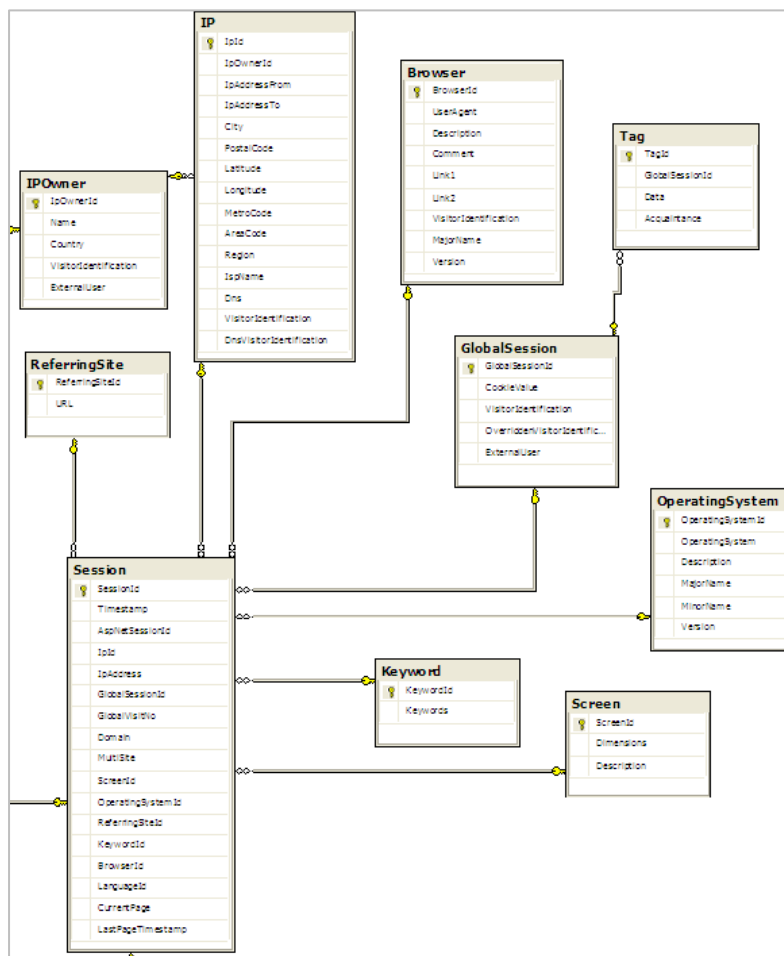
## 4.2 有用なアナリティクス テーブル グループ

- 1 = ビジター情報  
(Visitor Information)
- 2 = プロファイル情報  
(Profile Information)
- 3 = 多変量テスト (MV Testing)
- 4 = キャンペーン (Campaigns)
- 5 = ページイベント (Page Events)
- 6 = システム情報  
(System Information)



## 4.2.1 ビジター情報

このテーブル グループはサイトのビジターに関する情報を取り込みます。

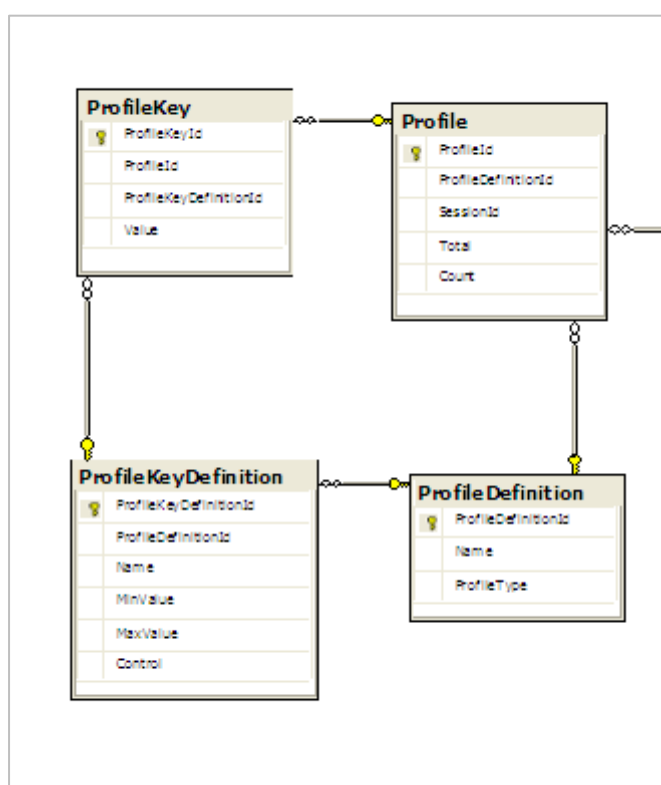


テーブル	説明
Session	アナリティクスの主テーブル。すべてのビジターとサイトへの訪問はこのテーブルに記録される。
IP	ビジターの IP 情報。IP ルックアップ サービスから取得される。たとえば、IP アドレス、市、郵便番号、緯度、経度。
IPOwner	IP アドレスに関連付けられた会社名または組織名。
Browser	使用されたブラウザの種類。
Referring Site	ビジターの参照元の Web サイト。
Global Session	各サイトビジターに 1 つのグローバル セッションが記録される。グローバル セッションは各セッションを 1 つのグローバル セッションに関連付け、再訪問したビジターを識別する。 Cookie を使用して検出する。

テーブル	説明
Operating System	使用されたオペレーティング システムの種類。
Keyword	検索エンジンで使用された検索語。
Tag	追加の情報 - このフィールドは通常 Web フォームで使用します。
Screen	画面のサイズ。

## 4.2.2 プロファイル情報

このテーブル グループはプロファイルとプロファイル キーの定義と設定を含みます。またこのテーブル グループは Web サイトのビジターが獲得したスコアを記録します。

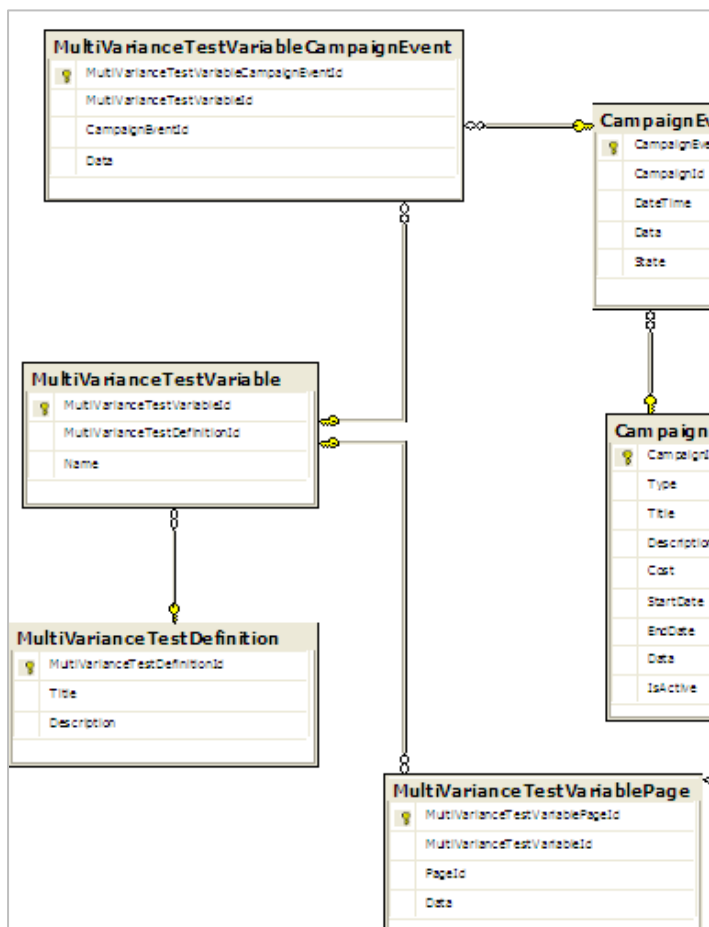


テーブル	説明
Profile	1 つのビジターセッションの間の 1 つのプロファイル グループのすべてのプロファイル キーの合計を記録する。  たとえば、[Skill Level] プロファイル グループ。

テーブル	説明
ProfileDefinition	<p>プロフィールのすべての構成データが保存される場所。コンテンツ エディターでマーケティング センターに新しいプロフィールを追加すると、プロフィール名と計算方法がこのテーブルに保存される。</p> <p>たとえば、[Name = Skill Level] と [Profile Type = Sum]</p>
ProfileKey	<p>1 つのビジター セッションの個別のプロファイル キーのスコアを記録する。</p> <p>たとえば、[Semi-Pro] プロファイル キーのスコア。</p>
ProfileKeyDefinition	<p>プロフィール キーのすべての構成データが保存される場所。コンテンツ エディターでマーケティング センターに新しいプロフィールを追加すると、プロフィール キーの名前と可能な値の範囲がこのテーブルに保存される。</p> <p>たとえば、[Name = Semi-pro] と [MinValue = 0] と [MaxValue = 10]</p>

### 4.2.3 多変量テスト

このテーブル グループは多変量テストに関するすべてのデータを保存します。多変量テストを開始する方法は 2 通りあります; ページとキャンペーンです。

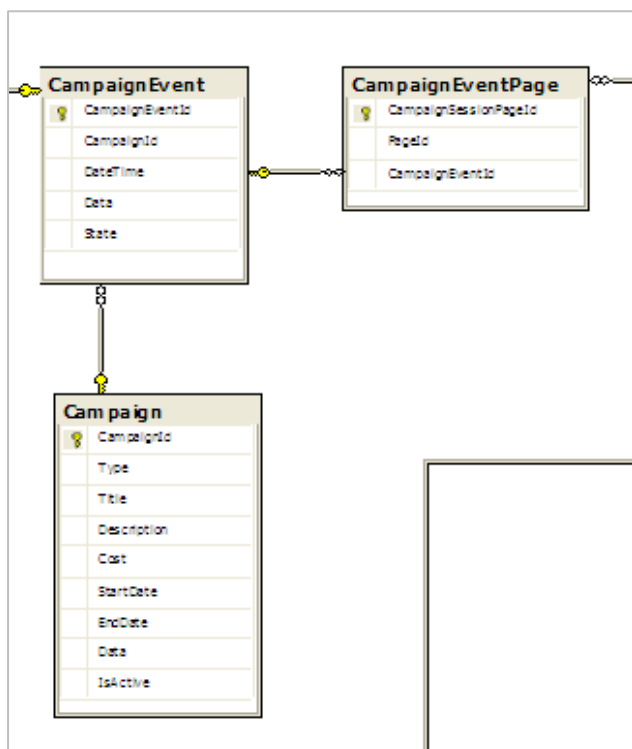


テーブル	説明
MultiVarianceTestDefinition	このテーブルは多変量テストの定義アイテムを含みます。マーケティング センターで新しい多変量テストを作成すると、このテーブルに新しいエントリが追加されます。
MultiVarianceTestVariable	このテーブルは多変量テストの個々の多変量テスト変数を含みます。
MultiVarianceTestVariablePage	たとえばページ上の新しいボタンです。テストが開始されると多変量テスト変数はテストが実行されるページ (ボタンが表示されるページ) に関連付けられます。

テーブル	説明
MultiVarianceTestVariableCampaignEvent	多変量テストがキャンペーンから開始されるタイミング。たとえば、ニュースレター キャンペーンは多変量テストを含むことができます。テストが開始されると、多変量テスト変数はキャンペーン イベントに関連付けられます。

#### 4.2.4 キャンペーン

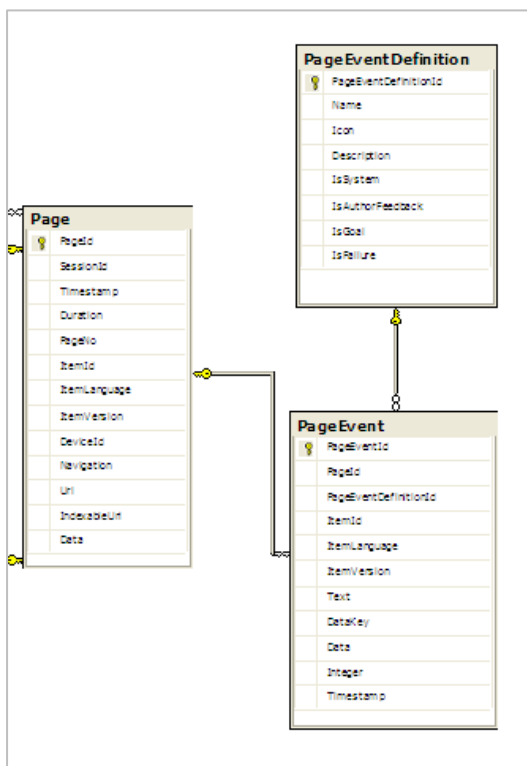
キャンペーンを作成すると、すべてのキャンペーンとサブ キャンペーンの構成データはこの 3 つのテーブルに保存されます。またキャンペーン イベントは [Page] と多変量テスト テーブル グループにもリンクします。



テーブル	説明
Campaign	マスター キャンペーンを定義する。たとえば、[Google AddWords]。
CampaignEvent	サブ キャンペーンを定義する。たとえば、[.NET CMS]。
CampaignEventPage	[Page] テーブルにリンクする。キャンペーンが開始されると、ビジターが表示しているページを知ることができる。

## 4.2.5 ページ イベント

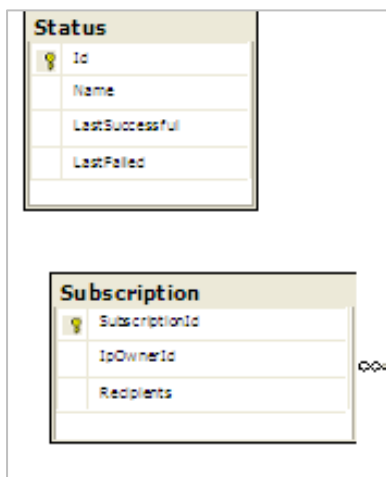
すべてのビジター セッションは [Page] テーブルにリンクされます。たとえば、[Page] テーブルのフィールドは各サイト ビジターのセッションの軌跡情報を作成するために使用されます。



テーブル	説明
Page	各サイト ビジターに表示されたページの情報と [Session] テーブルへのリンクを記録する。
PageEvent	たとえば、[Page Visited]、[Page Not Found]、[Campaign]。
PageEventDefinition	コンテンツ エディターで定義したページ イベントのすべての構成情報を含む。

## 4.2.6 システム情報

システム テーブルは Sitecore の内部使用専用です。レポートにこれらのテーブルを含む必要はありません。



The image shows two database table schemas. The first table is titled 'Status' and has columns: Id (marked as a primary key), Name, LastSuccessful, and LastFailed. The second table is titled 'Subscription' and has columns: SubscriptionId (marked as a primary key), IsOwnerId, and Recipients. There is a small icon to the right of the Subscription table.

テーブル	説明
Status	エラーのログを取るために使用する。
Subscription	ビジターがレポートを購読する場合に使用する。



## Chapter 5

# レポートの作成

この章ではレポートのコンポーネントを説明し、Sitecore OMS の標準レポートを上書きすることなくレポートを作成する方法を解説します。また SQL クエリを作成する際のヒント、およびレポートのレイアウトを設計するための方法の手順を追った説明も提供します。

この章には次のセクションがあります。

- レポートの作成と保存
- アナリティクス データベースへの接続
- データソースの作成
- データソースの設定
- レポートレイアウトの設計
- レポートのプレビュー

## 5.1 レポートの作成と保存

Sitecore OMS ではレポートには次の 2 つのコンポーネントがあります:

- Sitecore レポート定義アイテム
- Stimulsoft `.mrt` レポート ファイル

Windows レポート デザイナーを使用する場合のみ、新しく最初からレポートを作成することが可能です。

Web レポート デザイナーを使用してレポートを作成または編集する場合には、まず最初に既存のレポートを複製する必要があります。

サイトコア アナリティクスで複製を作成せずにレポートを開いて編集することは推奨できません。Latest Sessions.mrt などのレポート ファイルは複数のレポートから使用されるため、1 つのレポート ファイルの変更が複数のレポートに影響します。

この方法を採用することのメリットは既存のレポートの機能を再利用し、不要な機能を削除することが可能なことです。

これを説明するため、ビジター プロファイル キーに関する情報のみを表示するレポートの例として「リード - エグゼクティブ - 人間」レポートを使用します。このレポートを編集してプロフィールに関する情報のみを表示し、ゴールに関連するコンテンツをすべて削除します。

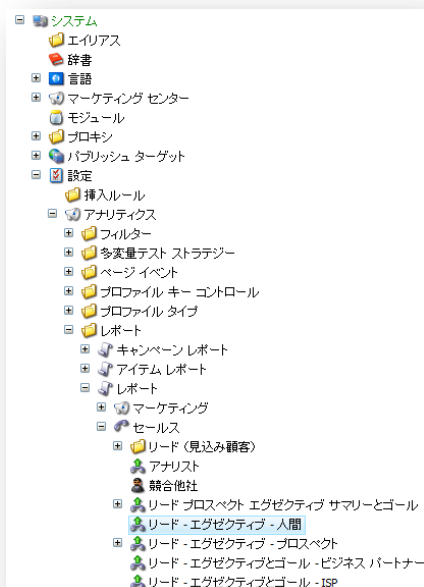
このセクションでは Web レポート デザイナーを利用して [Profile Key Report] という名前のレポートを作成し保存する方法を習得します。次の手順に従って、これを完了させてください:

- レポート定義アイテムを複製します。
- レポートの `.mrt` ファイルを複製します。
- レポート定義アイテムを新しいレポートにリンクします。
- Web レポート デザイナーで複製したレポートを開きます。

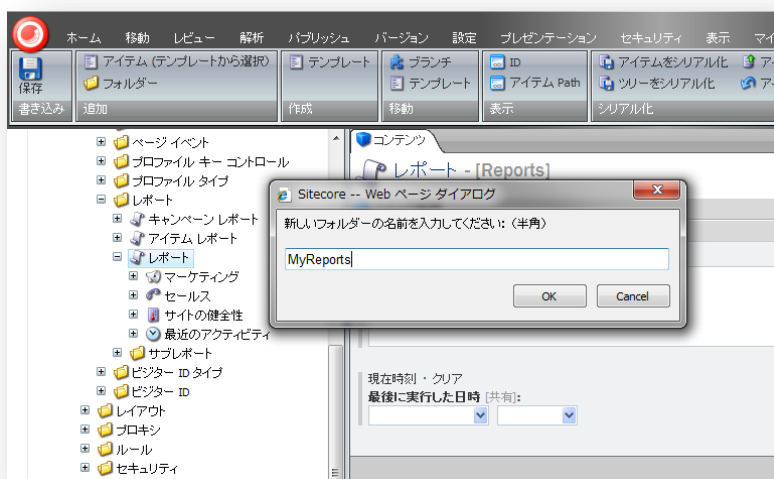
レポート定義アイテムを複製する手順:

1. コンテンツ エディターのコンテンツ ツリーを開き、次の場所に移動します:

/sitecore/システム/設定/アナリティクス/レポート/レポート/セールス/リード - エグゼクティブ - 人間



2. [リード - エグゼクティブ - 人間] レポートを右クリックします。[複製] をクリックします。
3. 複製したレポートのデフォルトの名前を任意の名前に変更して [OK] をクリックします。
4. レポート定義アイテムに新しいフォルダーを作成します。[レポート] ノードを選択し、リボンの [デベロッパー] タブで [フォルダー] をクリックします。新しいフォルダーの名前を [MyReports] と入力します。

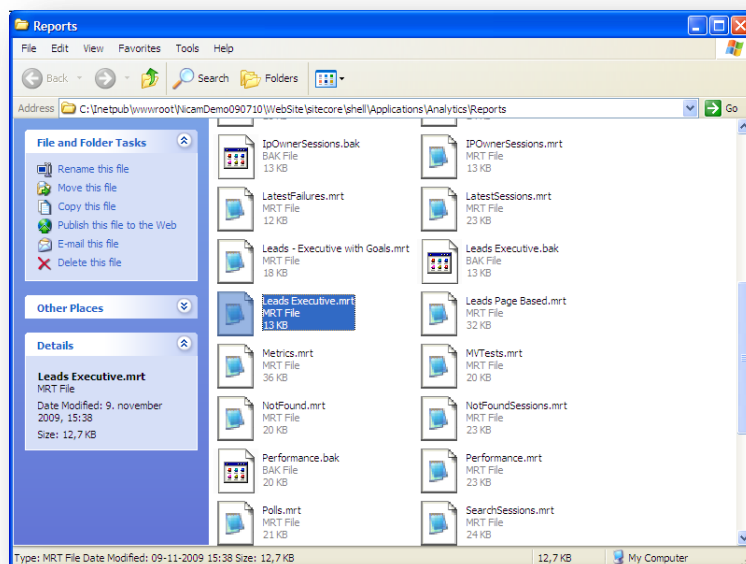


5. 複製したレポートを [MyReports] フォルダーにドラッグ & ドロップします。

6. レポート定義アイテムの名前を変更して [Profile Key Report] とします。
7. リボンで [保存] をクリックします。

レポートの .mrt ファイルを複製する手順:

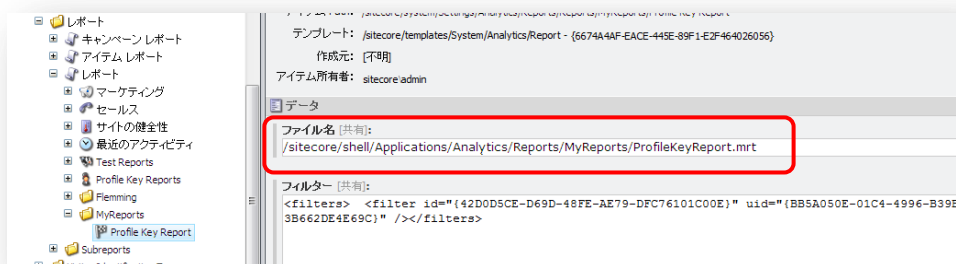
1. Web サイトのすべての .mrt レポート ファイルを含むフォルダーに移動します:  
`wwwroot\<site name>\WebSite\sitecore\shell\Applications\Analytics\Reports\`
2. Leads Executive.mrt をコピーします。



3. カスタム レポートを保存するための新しいフォルダー [MyReports] を作成します。
4. Leads Executive.mrt を [MyReports] フォルダーに貼り付けます。  
新しいフォルダーを作成するのは、新しいカスタム レポートを Sitecore OMS の標準レポートと区別するためです。
5. [Leads Executive.mrt] ファイルの名前を変更して ProfileKeyReport.mrt とします。

レポート定義アイテムを新しいレポートにリンクする手順:

1. コンテンツ エディターのコンテンツ ツリーで [Profile Key Report] を選択します。
2. [ファイル名] フィールドで .mrt レポート ファイルへの Path を編集します。次の Path を入力します:  
`/sitecore/shell/Applications/Analytics/Reports/MyReports/ProfileKeyReport.mrt`

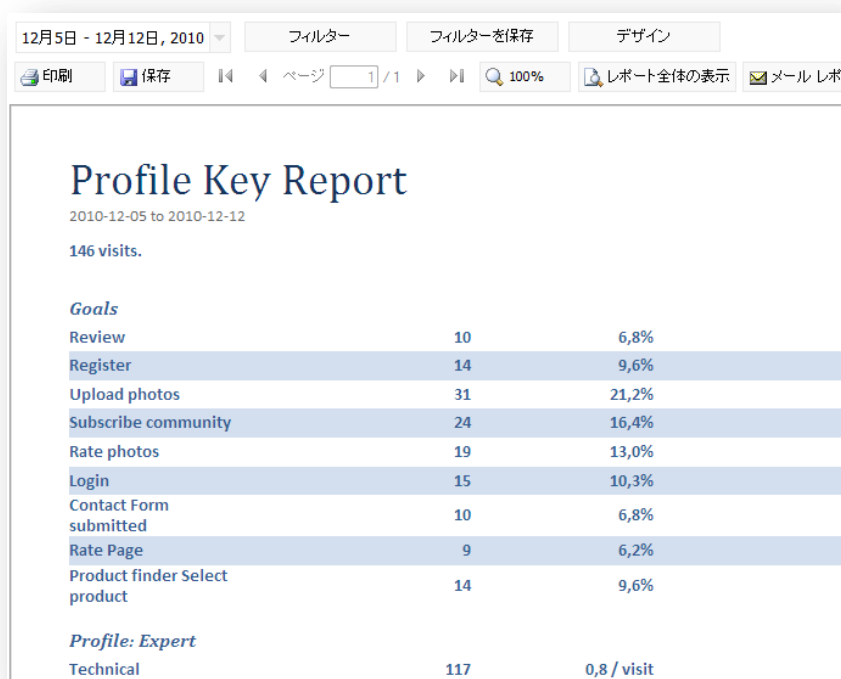


これによって Sitecore レポート定義アイテムと Stimulsoft .mrt レポート ファイルをリンクすることができます。

3. Sitecore リボンで [保存] をクリックします。

Web レポート デザイナーで新しいレポートを開く手順:

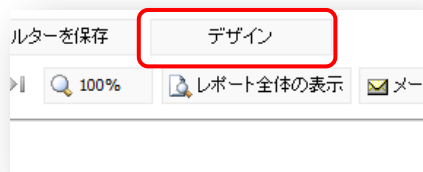
1. サイトコア アナリティクスを開きます。新しいレポートが表示されない場合は [レポート] ルート ノードを開閉して、ツリーを最新の状態に更新します。
2. [Profile Key Report] を選択します。
3. 複製したレポートが下記のように表示されます:



エラー メッセージが表示された場合には、下記を確認します:

- レポート定義アイテムの [ファイル名] フィールドで指定した Path が正確であること。
- このパスの .mrt ファイル名が [MyReports] フォルダーの .mrt ファイル名に正確に合致していること。

4. [デザイン] をクリックして Web レポート デザイナーでレポートを開きます。

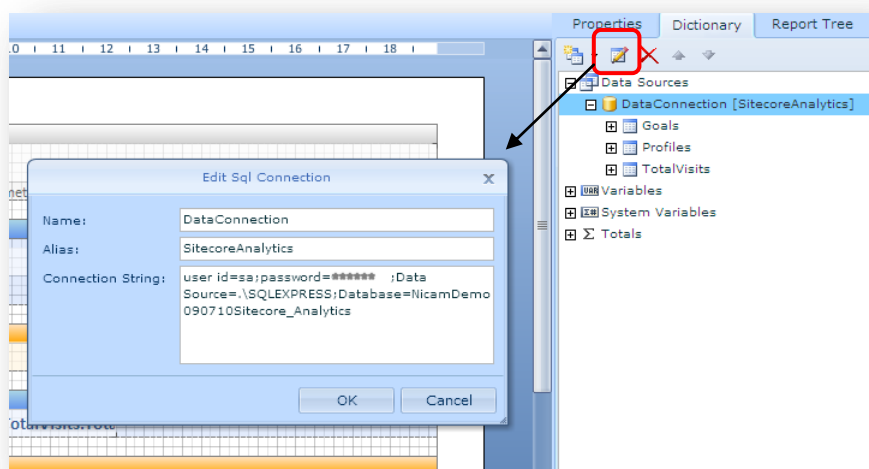


## 5.2 アナリティクス データベースへの接続

Web レポート デザイナーを使用している場合には、自動的にアナリティクス データベースに接続されます。Windows レポート デザイナーを使用する場合には、正しい接続文字列を指定する必要があります。

Web レポート デザイナーで接続文字列を表示する手順:

1. [サイトコア アナリティクス] でレポートを開きます。
2. [Dictionary] パネルで [Data Connection] をクリックします。
3. [Edit] をクリックして接続文字列を表示します。



Windows レポート デザイナーで接続文字列を追加する手順:

1. コンピューターの [スタート] メニューから Windows レポート デザイナーを開きます。
2. レポート デザイナーの [Dictionary] パネルで [New Item]、[New Connection] をクリックします。
3. [type of connection] として [Sql Connection] を選択します。
4. [OK] をクリックします。

[New Sql Connection] ダイアログ ボックスで接続文字列を入力します。これには SQL データベース名、ユーザー名、パスワードを含みます。この情報が不明な場合には、既存の Sitecore の接続文字列を参照するか、または SQL Server Management Studio を参照します。

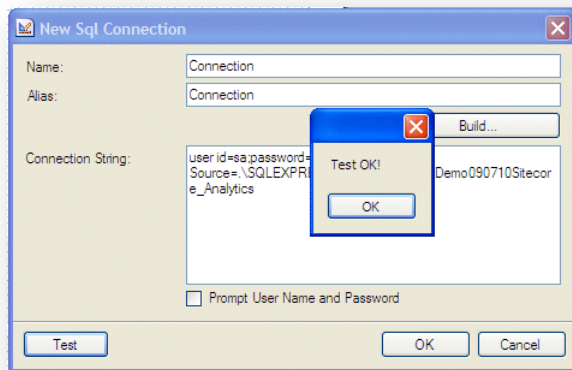
接続文字列には下記の形式が必要です:

```
user id=<username>;password=<password>  
;Data Source=<name of datasource>  
;Database=<name of database>
```

例:

```
user id=sa;password=*****  
;Data Source=.\SQLEXPRESS  
;Database=Nicam_Sitecore_Analytics
```

5. [Test] をクリックして接続をテストします。



次のセクションではデータソースの作成方法を習得します。



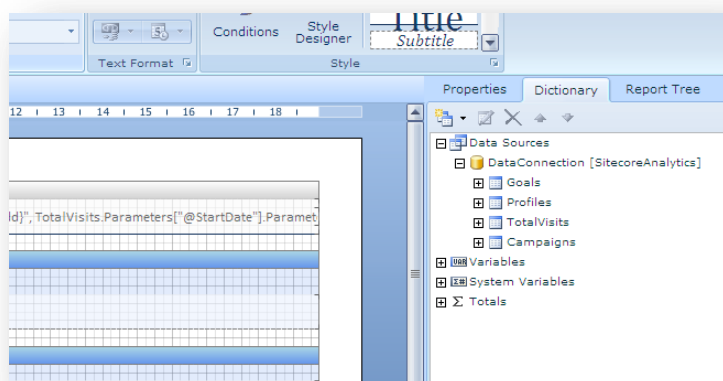
## 5.3 データソースの作成

レポートの作成とアナリティクス データベースへの接続の次のステップは、データソースの構成です。

データソースは SQL クエリを使用してアナリティクス データベースから列を読み出し、それを [Dictionary] ウィンドウに表示します。次にレポートレイアウトを使用して、それらのデータをどのように表示するかを指定します。

データソースには任意の名前を付けることが可能です。また SQL クエリでは別名を使用して列の名前を分かりやすいものにすることが可能です。

Sitecore OMS の標準レポートを調査すると、各レポートは 1 つまたは複数のデータソースを含むことがわかります。それらはレポートデザイナーの [Dictionary] パネルに表示されます。次の例はキャンペーンとコンバージョンの追跡のレポートです。

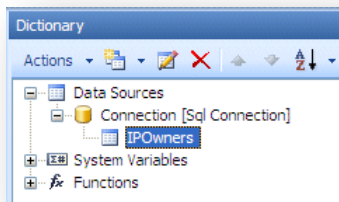


このセクションでは先に作成した [Profile Key Report] で使用する [IpOwners] という名前のデータソースを構成します。

[IpOwners] は Web レポート デザイナーではすでに表示されていますが、Windows レポート デザイナーを使用する場合には次の手順に従う必要があります：

1. レポートデザイナーの [Dictionary] パネルで [Data Connection] をクリックし、[New Data Source] をクリックします。
2. [DataConnection [SQL Connection]] を選択し、[OK] をクリックします。
3. [Select Data] ウィンドウで [Query New] をクリックして [New Data Source] ウィンドウを開きます。
4. データソースの [Name] と [Alias] を入力します ([Name in Source] フィールドは変えずに残します)。データソースの名前を [IpOwners] とします。

5. [OK] をクリックして、新しいデータ ソースを [Data Dictionary] の [Data Connection] の下に追加します。



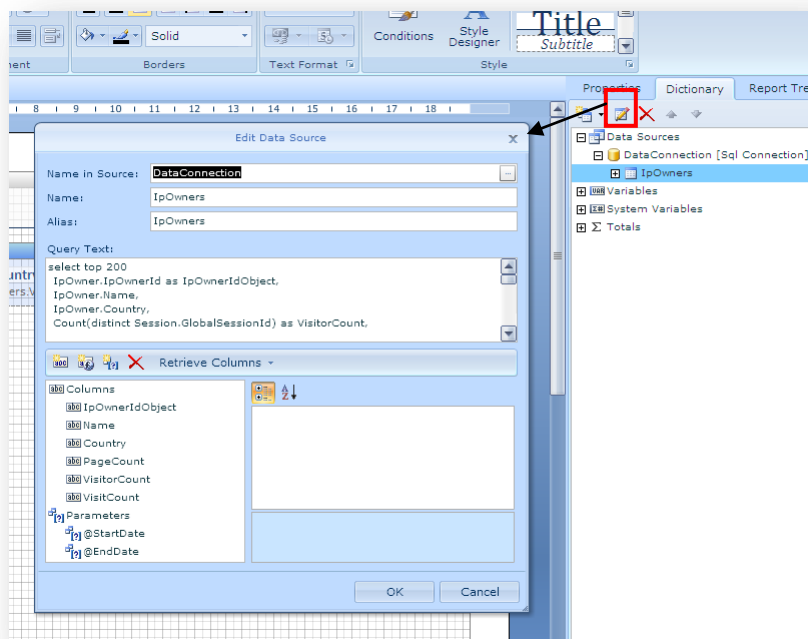
次のセクションでは SQL クエリを作成して新しいデータ ソースを設定する方法を習得します。

## 5.4 データソースの設定

すべてのレポートは SQL クエリを使用してアナリティクス データベースからデータを読み出すデータソースを含んでいます。

Web レポート デザイナーで SQL クエリを表示する手順:

1. [Dictionary] パネルで [Data Connection] ノードを展開してデータソースを選択します。たとえば、[IpOwners] です。
2. [Edit] をクリックします。



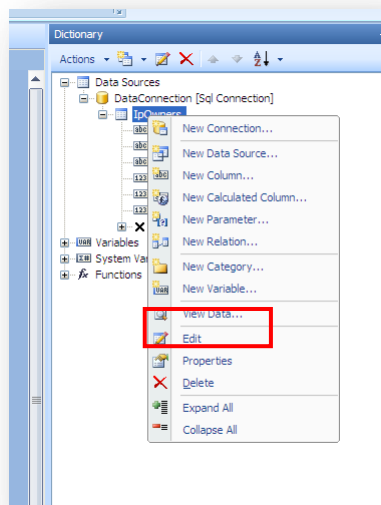
[Edit Data Source] ウィンドウに SQL クエリが表示されます。

### メモ

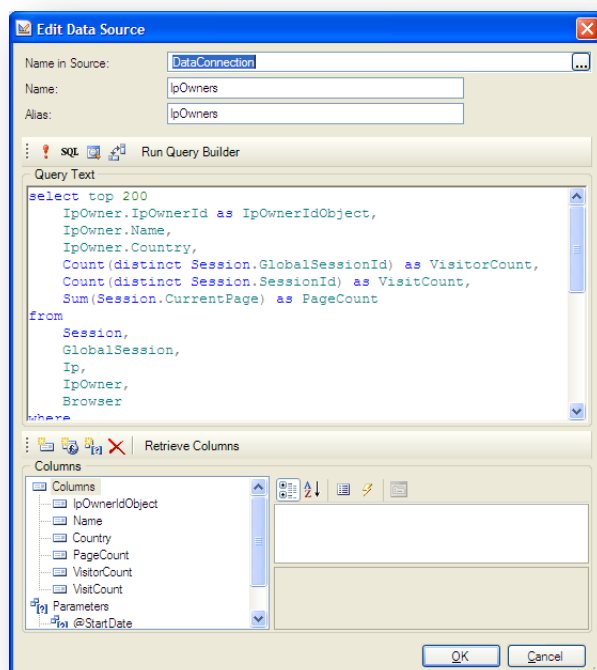
Web レポート デザイナーでは SQL クエリのテキストを編集することは可能ですが、SQL 編集の機能は限定的です。他のツールを使用して SQL クエリを構築し、そのクエリを [Edit Data Source] ウィンドウにコピー/貼り付けを行うことを推奨します。

Windows レポート デザイナーで SQL クエリを表示する手順:

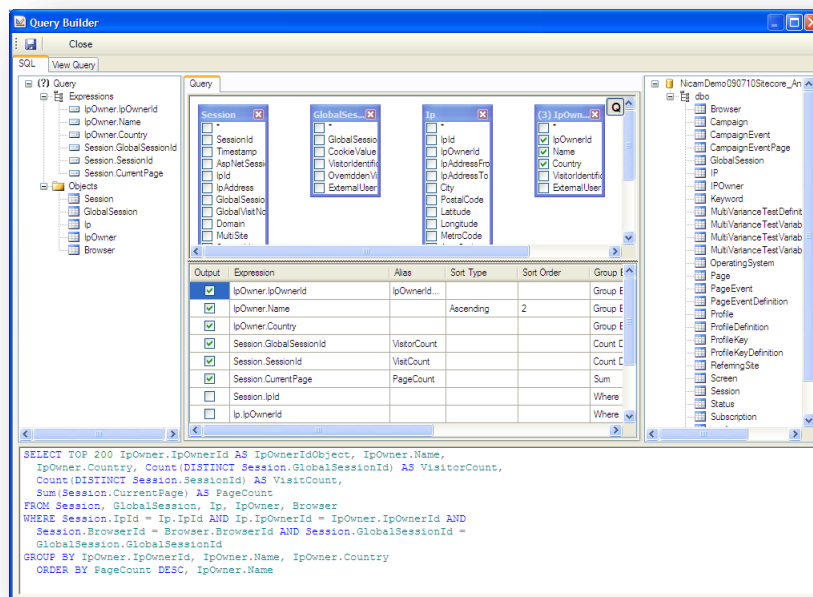
1. 同様の手順に従いますが、[IpOwners] を右クリックし、[Edit] をクリックします。



2. [Edit Data Source] ウィンドウで SQL クエリの表示と編集が可能です。



### 3. [Run Query Builder] をクリックしてクエリを編集します。



クエリビルダーではクエリを編集したり、または新しいクエリを最初から作成することが可能です。これは SQL ステートメントを作成するために役立つ強力なツールです。

右側のパネルにはアナリティクス データベースのすべてのテーブルが表示されています。ここで任意のテーブルをダブルクリックすると、それはクエリに追加されます。クエリには SQL コードが自動的に付加されます。

Web レポート デザイナーへのアクセスのみを使用する場合、クエリの構築のためには別のツールを使用することが可能です。たとえば、SQL Server Management Studio には同様の機能があります。

#### 5.4.1 SQL クエリの作成

アナリティクス データベースから正しいデータを読み出すためには、[IpOwners] データソースで SQL クエリを作成する必要があります。

このクエリは [Semi-pro] プロファイル キーのプロファイル キー情報を読み出し、次の基準を満たす必要があります：

- 会社/組織とそのプロファイル キー スコアを一覧表示する。
- 最もスコアの高いものをレポートの最初に表示する。
- レポートでは各組織についてビジターの数と訪問の数を表示する。
- 選択したプロファイル キーの名前を表示する。

下記に示す SQL クエリの完成例を [IpOwners] データソースにコピー/貼り付けることができます。または付録のセクションに示す、このクエリを作成する方法についての手順を追った説明に従います。

SQL クエリの完成例:

```
SELECT TOP 20 IpOwner.IPOwnerId AS IPOwnerIdObject, IpOwner.Name, IpOwner.Country,
Count(DISTINCT Session.GlobalSessionId) AS VisitorCount,
Count(DISTINCT Session.SessionId) AS VisitCount,
Sum(DISTINCT ProfileKey.Value) AS Score, ProfileKeyDefinition.Name
FROM Session INNER JOIN
Profile ON Session.SessionId = Profile.SessionId INNER JOIN
GlobalSession ON GlobalSession.GlobalSessionId = Session.GlobalSessionId
INNER JOIN
Ip ON Ip.IpId = Session.IpId INNER JOIN
IpOwner ON IpOwner.IpOwnerId = Ip.IpOwnerId INNER JOIN
Browser ON Browser.BrowserId = Session.BrowserId INNER JOIN
ProfileKey ON ProfileKey.ProfileId = Profile.ProfileId INNER JOIN
ProfileKeyDefinition ON ProfileKeyDefinition.ProfileKeyId =
ProfileKey.ProfileKeyId

WHERE ProfileKeyDefinition.Name = 'Semi-pro'

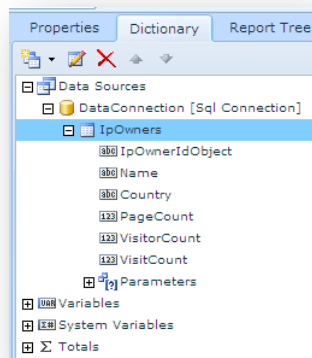
GROUP BY IpOwner.IPOwnerId, IpOwner.Name, IpOwner.Country,
ProfileKeyDefinition.Name

ORDER BY Score DESC, IpOwner.Name
```

このクエリを [IpOwners] データソースに追加する手順:

1. Web レポート デザイナーでクエリを [Edit Data Source] ウィンドウの [Query Text] パネルにコピー/貼り付けます。
2. [Retrieve Columns] をクリックします。
3. [OK] をクリックして変更を保存しウィンドウを閉じます。

これで [IpOwners] データソースから読み出した列が表示されます。



## 5.4.2 レポートレイアウトの設計

データソースを構成したので、次は Web レポート デザイナーを使用して [Profile Key Report] のレイアウトを作成します。

レポートのレイアウトを作成する手順は次の通りです:

- レポートの初期レイアウトを作成する

- 列見出しの形式を設定する
- 各組織名からセッションの軌跡情報へのリンクを追加する
- 組織と国をグループ化する
- 組織名の下でセッション数とビジター数をグループ化する
- レポート ヘッダーを追加し、テキストを書式設定する

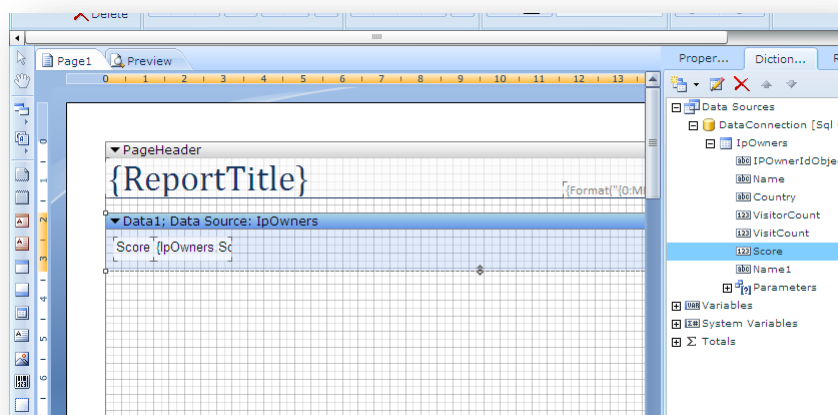
## レポートの初期レイアウトを作成する

「リード - エグゼクティブ - 人間」レポートを再利用した場合は、まず既存のデータ帯のすべてのテキスト ボックスを削除します。このためには、テキスト ボックスを選択し、リボンで [Delete] をクリックします。レポートのタイトル ヘッダーは残して、新しい列をデータ帯に追加することができます。

1. レポートにコンテンツを追加するためには、必要な列を [Dictionary] パネルからデータ帯にドラッグ & ドロップします。

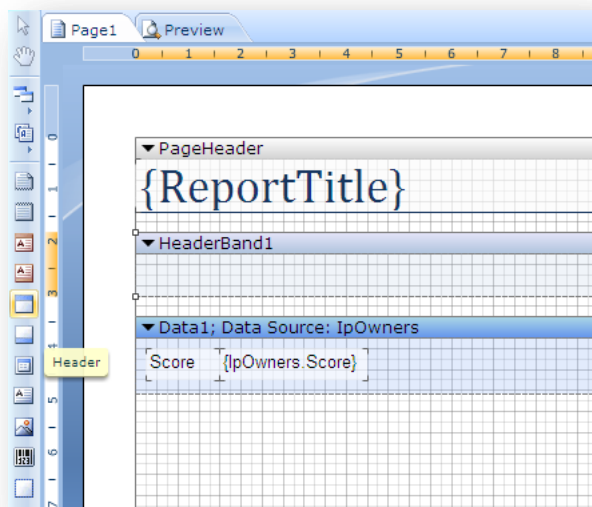
次の列を追加します:

- Score
  - Name
  - Country
  - Visitor Count
  - Visit Count
2. まず [Score] を選択し、次にこの列をレポートのデータ帯にドラッグ & ドロップします。

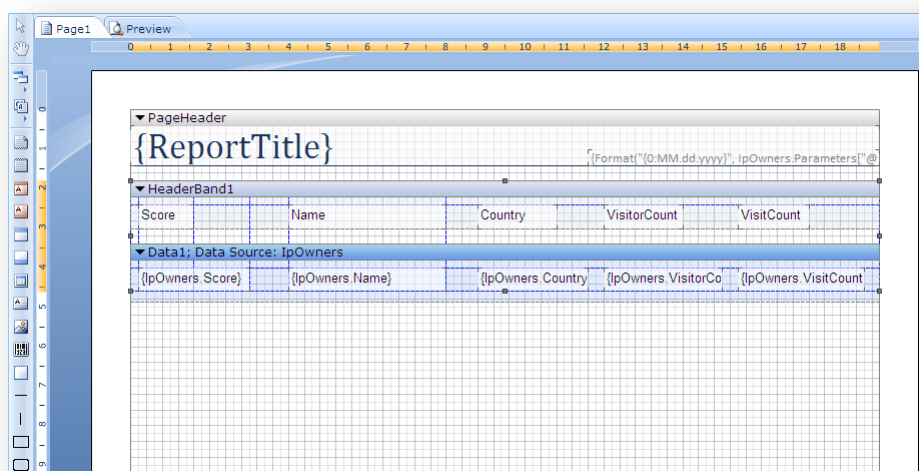


3. これで 2 つのテキスト ボックスが追加されます。[Score] と [IpOwners] です。テキスト ボックス上でマウスを動かすと表示される矢印を使ってサイズを調整します。

4. レポート デザイナーのツールボックスで [Header] をクリックし、新しいヘッダーをレポートにドラッグします。それを [Page Header] とデータ帯の間に挿入します。



5. [Score] テキスト ボックスをヘッダー帯に移動します。これが列見出しになります。[IpOwners] はデータ帯に残し、この列のデータを出力します。
6. [Name]、[Country]、[Visitor Count]、[Visit Count] をそれぞれ同様の方法で追加します。その結果、レイアウトは次のようになります:



7. Stimulsoft の [File] メニューで [Save Report] をクリックします。



8. サイトコア アナリティクスでレポートをプレビューし、必要な情報が表示されていることを確認します。

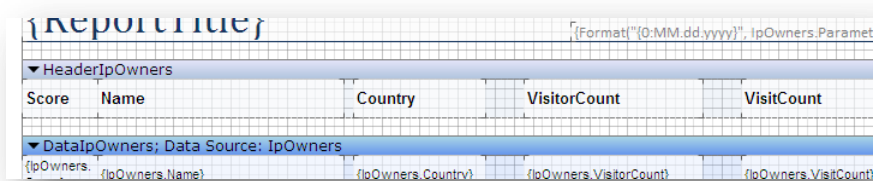
Profile Key Report				
Score	Name	Country	VisitorCount	VisitCount
483	Vasakronan Service Partner AB	SE	2	5
453	Adorama	US	2	5
429	Nicam Corporation	DK	3	3
388	PopPhoto	US	2	3
271	Dell UK	GB	4	4
231	Canon NL	NL	1	1
231	My Local Machine	US	1	2
202	Amazon Inc.	US	1	4
168	TPG Internet Pty Ltd.	AU	1	1
127	iiNet Limited	AU	1	1
92	SBC Internet Services	US	1	1
72	Google	VN	12	12
71	Ebay	US	1	1

Nicam サイトのプロファイル キー [Semi-pro] でスコアの高い組織が一覧表示されます。SQL クエリの最初の句は結果を上位 20 位までに制限しています。

## 列見出しの形式を設定する

列見出しをすべて太字にする手順:

1. [SHIFT] キーを押しながらヘッダー テキスト ボックスのそれぞれをクリックします。
2. すべての列見出しを選択した後で、レポート デザイナーのリボンで [Bold] をクリックします。
3. [Save Report] をクリックします。



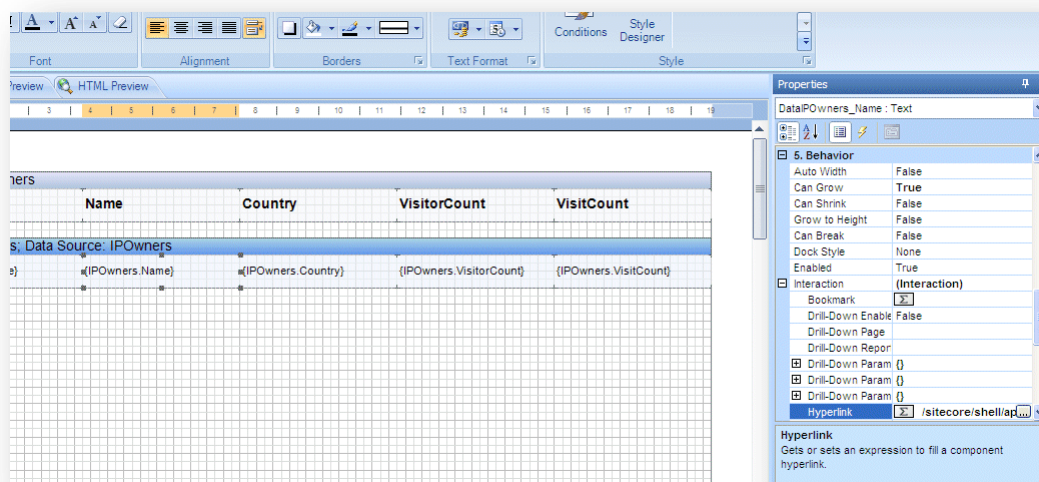
Score	Name	Country	VisitorCount	VisitCount
{IpOwners.Score}	{IpOwners.Name}	{IpOwners.Country}	{IpOwners.VisitorCount}	{IpOwners.VisitCount}

## セッション レポートへのリンクを追加する

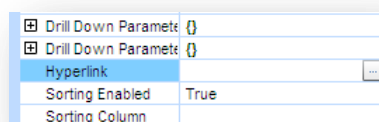
セッション レポートへのリンクを追加することで、レポートに表示された各ビジターのアクティビティに関する詳細な情報が得られます。たとえば、表示したページ (セッションの軌跡情報)、コンバージョン、プロファイル スコアなどです。

1. データ帯で {IpOwners.Name} テキスト ボックスを選択し、[Properties] パネルをクリックします。

- [Properties] パネルで [5.Behavior] ノードを展開し、[Interaction] をクリックし、次に [Hyperlink] をクリックします。



- [Hyperlink] フィールドの横のボックスをクリックし、[Text Editor] を開きます。



- [Text Editor] ウィンドウで次の文字列を入力し、「セッション」レポートへのリンクを作成します:

```
/sitecore/shell/applications/analytics/default.aspx?r=B33272F6-E2C1-43DF-802E-969A955BC6D6&p=1&ipowner={ IPOwners. IPOwnerIdObject }
```

このリンクは LatestSessions.mrt レポートから取られています。変更された部分は蛍光表示しています。このテキストはデータ ソースで使用されている別名を指しています。

```
IpOwner.IPOwnerId AS IPOwnerIdObject
```

これはレポートで組織名をクリックした場合、その組織のセッション レポートにリンクするということです。

- 変更を保存して [Profile Key Report] を再度プレビューします。

ここでは一覧表示されている各組織について、セッションの軌跡情報を表示することが可能です。

## 組織と国をグループ化する

ビジターの組織と国を併せてハイパーリンクとする手順:

- {IpOwners.Name} テキスト ボックスをダブルクリックし、Text Editor の [Expression] タブをクリックします。
- 次の式を入力します:

```
{ IPOwners.Name }, { IPOwners.Country }
```

この式は隣り合った組織と国のフィールドを 1 つのハイパーリンクとして表示します。

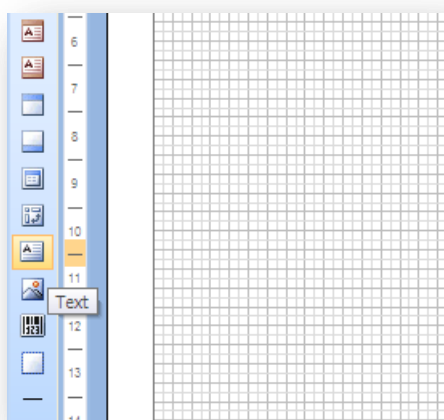


これで [Header] とデータ帯から [Country] テキスト ボックスを削除することができます。

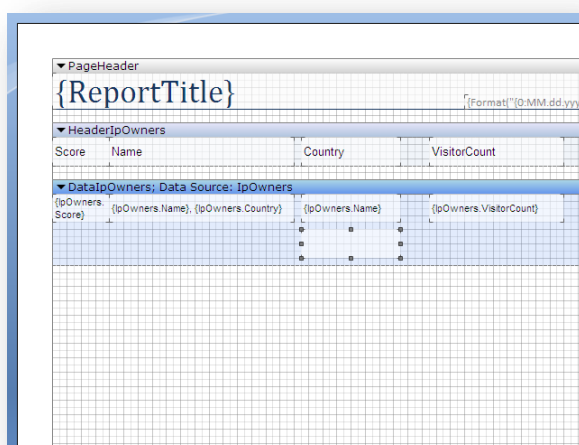
## セッションとビジターをグループ化する

各組織名の下にあるセッション数とビジター数をグループ化する手順:

1. データ帯を選択し、ツールボックスでテキスト ボックスを選択し、それをツールボックスからドラッグ & ドロップします。



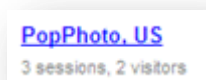
そのテキスト ボックスを {IpOwners.Name} テキスト ボックスの直下に配置します。



2. 新しいテキスト ボックスをダブルクリックします。次の式を [Expression Editor] ウィンドウにコピー/貼り付けします。

```
{IPOwners.VisitCount} session{IPOwners.VisitCount == 1 ? "" : "s"},  
{IPOwners.VisitorCount} visitor{IPOwners.VisitorCount == 1 ? "" : "s"}
```

この式は [Visitor Count] と [Visit Count] を併せて組織名の下に表示します。また "Session" と "Visitor" の各単語はセッション数またはビジター数に応じて単数形または複数形に変化させます。この式は C# に類似した構文を使用して構築されています。

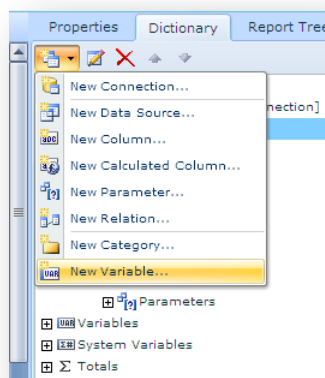


3. これで [Header] とデータ帯で [Visit Count] と [Visitor Count] は不要になったので、これらのテキスト ボックスを削除することができます。

## レポート ヘッダーを追加する

レポートにはすでにレポート ヘッダーがありますが、新しいヘッダーを作成する必要がある場合は次の手順に従います。

1. [Data Dictionary] で [New Item] をクリックし、次に [New Variable] をクリックします。

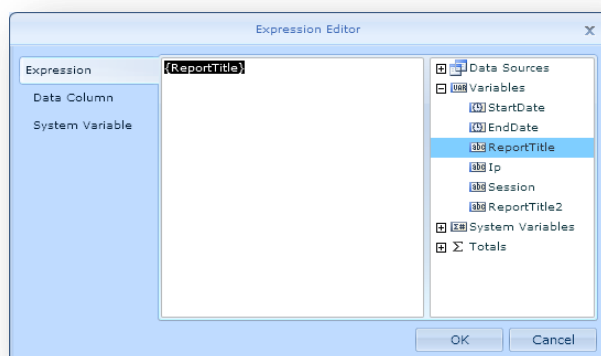


2. [New Variable] ウィンドウの [Name] と [Alias] フィールドで [ReportTitle] と入力します。

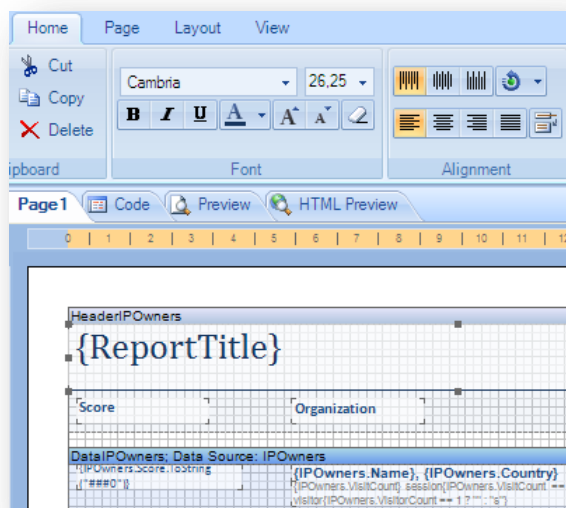
- 
- 
3. [Type] フィールドで [String] を選択し、[OK] をクリックします。



- 
- 
- 
4. レポート ヘッダー帯にテキスト ボックスを追加します。
5. テキスト ボックスをダブルクリックして Expression Editor を開きます。
6. [Expression Editor] ウィンドウで、作成した [ReportTitle] 変数を [Expression] タブにドラッグ & ドロップします。
7. [OK] をクリックします。



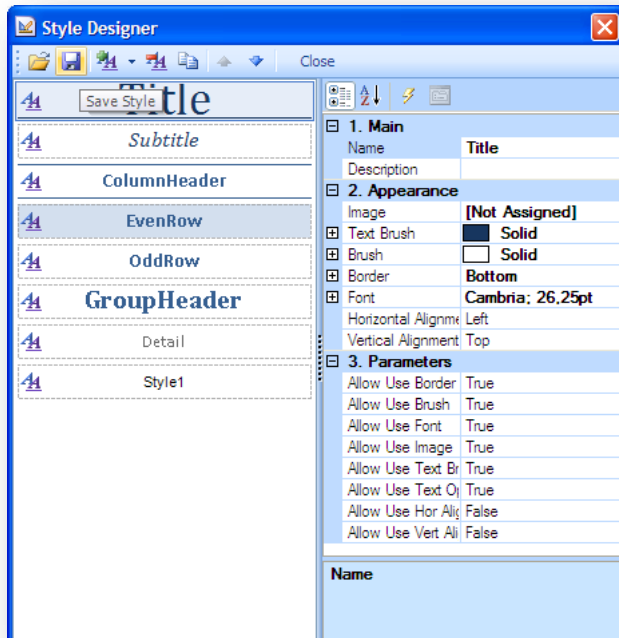
テキスト ボックスを左揃えします。レポート タイトルは下記のように表示されます。



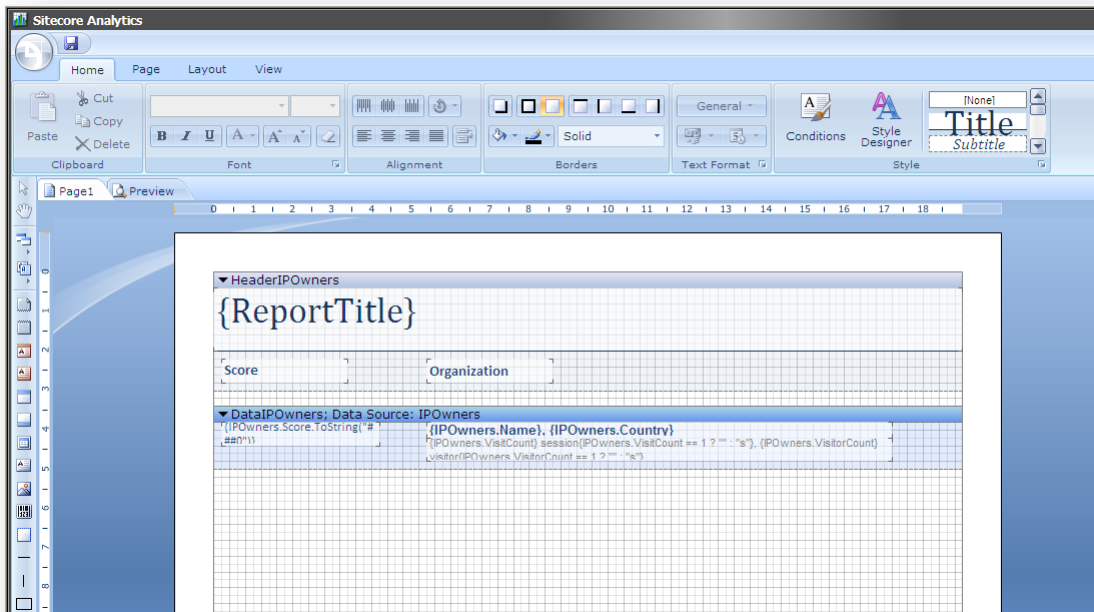
## メモ

テキストを他の Sitecore レポートと同様の方法で書式設定するためには、他の Sitecore レポートから同じスタイルをインポートする必要があります。

Windows レポート デザイナーを使用している場合には、スタイル デザイナーを使用してスタイルをローカルに保存するか、または他の保存したスタイルをインポートすることが可能です。

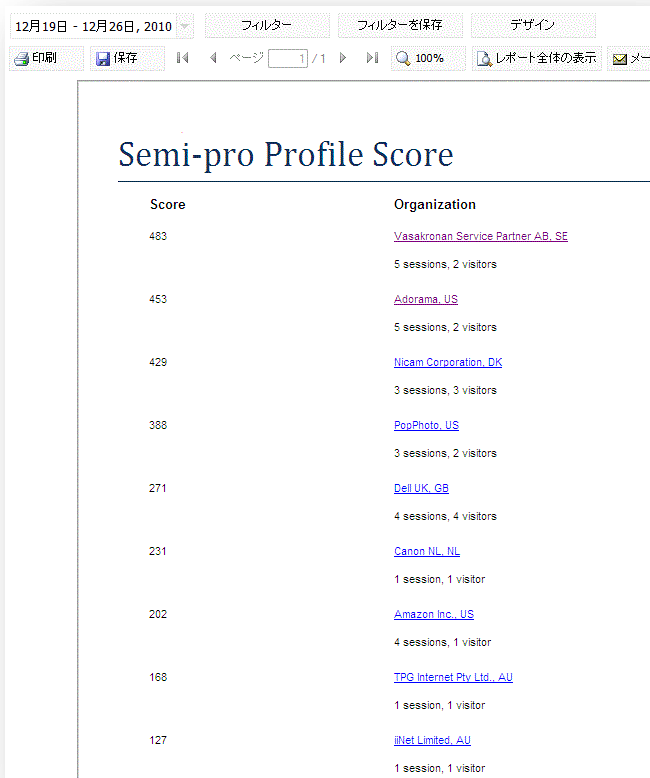


完成したレポートのレイアウトは下記ようになります。



## レポートをプレビューする

変更を保存し、レポートをプレビューしてすべての変更を確認します。これらの手順を完了すると、レポートは下記のようになります:



Score	Organization
483	<a href="#">Vasakronan Service Partner AB, SE</a> 5 sessions, 2 visitors
453	<a href="#">Adorama, US</a> 5 sessions, 2 visitors
429	<a href="#">Nicom Corporation, DK</a> 3 sessions, 3 visitors
388	<a href="#">PopPhoto, US</a> 3 sessions, 2 visitors
271	<a href="#">Dell UK, GB</a> 4 sessions, 4 visitors
231	<a href="#">Canon NL, NL</a> 1 session, 1 visitor
202	<a href="#">Amazon Inc, US</a> 4 sessions, 1 visitor
168	<a href="#">TPG Internet Pty Ltd, AU</a> 1 session, 1 visitor
127	<a href="#">iNet Limited, AU</a> 1 session, 1 visitor

### メモ

レポートの最上部に表示される名前を変更するためには、コンテンツ エディターでレポート定義アイテムの名前を編集します。



## Chapter 6

# レポート フィルターの作成

この章では前の章で作成した Profile Key Report を拡張して Sitecore OMS のフィルターを作成する方法を習得します。

Nicam サイトからプロファイル キーを選択することができる新しいフィルターを作成します。

この章には次のセクションがあります。

- 前提条件と準備
- フィルター定義アイテムを作成する
- Visual Studio を使用してフィルタークラスを作成する
- SQL クエリにフィルター プレースホルダーを追加する
- フィルター定義アイテムを構成する
- フィルターをテストする

## 6.1 前提条件と準備

このセクションでは新しいプロファイル キー レポート フィルターを作成する前に ProfileKeyReport に施す必要のある変更点を説明します。

### 6.1.1 前提条件

新しいフィルターを作成する際にはフィルターに必要なロジックを C# クラス ファイルで実装します。従って、新しいフィルターを作成するためには C# と Visual Studio の知識が必要となります。

さらに次のインストールが必要です:

- Sitecore OMS
- Stimulsoft Windows レポート デザイナー (*Stimulsoft Reports.Net 2009.2*)
- Visual Studio 2005 or 2008

### 6.1.2 準備

前の章では Semi-pro プロファイル キーの上位スコアと組織を表示するレポートを作成しました。レポートにハードコーディングされた次のような SQL クエリを使用しました。

```
WHERE ProfileKeyDefinition.Name = 'Semi-pro'
```

この章では、基になる SQL クエリを変更することなく、エンド ユーザーが Nicam サイトから任意のプロファイル キーの値を選択できるフィルターを作成します。

これにはまず、フィルターなしですべてのプロファイル キーを表示するレポートを作成する必要があります。

まず [ProfileKeyReport.mrt] ファイルを複製し、その名前を変更して [ProfileKeyFilter.mrt] とします。

### SQL クエリの変更

1. Web レポート デザイナーを使用して [ProfileKeyFilter.mrt] を開きます。
2. [Dictionary] パネルで [IpOwners] をクリックし、次に [Edit] をクリックして [Edit Data Source] ウィンドウで SQL クエリを開きます。

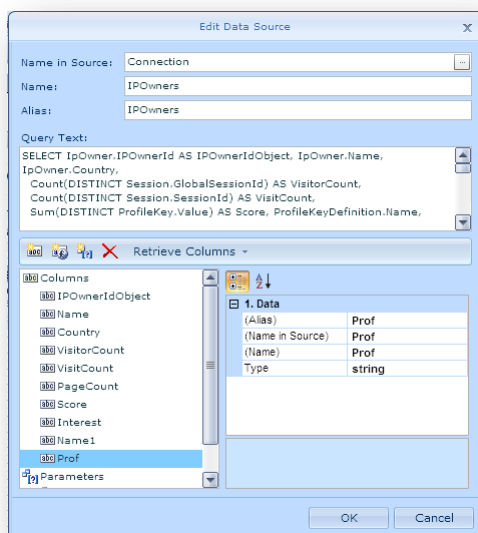
- 次の SQL ステートメントを [Edit Data Source] ウィンドウにコピー/貼り付けて、既存のクエリを置換します:

```

SELECT IpOwner.IPOwnerId AS IPOwnerIdObject, IpOwner.Name,
IpOwner.Country,
Count(DISTINCT Session.GlobalSessionId) AS VisitorCount,
Count(DISTINCT Session.SessionId) AS VisitCount,
Sum(DISTINCT ProfileKey.Value) AS Score, ProfileKeyDefinition.Name,
ProfileKeyDefinition.Name AS Prof
FROM Session INNER JOIN
Profile ON Session.SessionId = Profile.SessionId INNER JOIN
GlobalSession ON GlobalSession.GlobalSessionId =
Session.GlobalSessionId
INNER JOIN
Ip ON Ip.IpId = Session.IpId INNER JOIN
IpOwner ON IpOwner.IPOwnerId = Ip.IPOwnerId INNER JOIN
Browser ON Browser.BrowserId = Session.BrowserId INNER JOIN
ProfileKey ON ProfileKey.ProfileId = Profile.ProfileId INNER JOIN
ProfileKeyDefinition ON ProfileKeyDefinition.ProfileKeyDefinitionId
=
ProfileKey.ProfileKeyDefinitionId
WHERE Session.IpId = Ip.IpId AND Ip.IPOwnerId = IpOwner.IPOwnerId AND
Session.BrowserId = Browser.BrowserId AND Session.GlobalSessionId =
GlobalSession.GlobalSessionId
GROUP BY IpOwner.IPOwnerId, IpOwner.Name, IpOwner.Country,
ProfileKeyDefinition.Name
ORDER BY Prof, Score DESC, IpOwner.Name

```

- [Prof] という名前の列をデータソースに追加し、現在選択されているプロファイルの名前をレポートに表示するようにします。
- [Edit Data Source] ウィンドウで [New Column] をクリックします。



- [Data] パネルで [Alias] と [Name in Source] と [Name] のフィールドに [Prof] と入力します。
- [Type] フィールドで [string] を選択します。

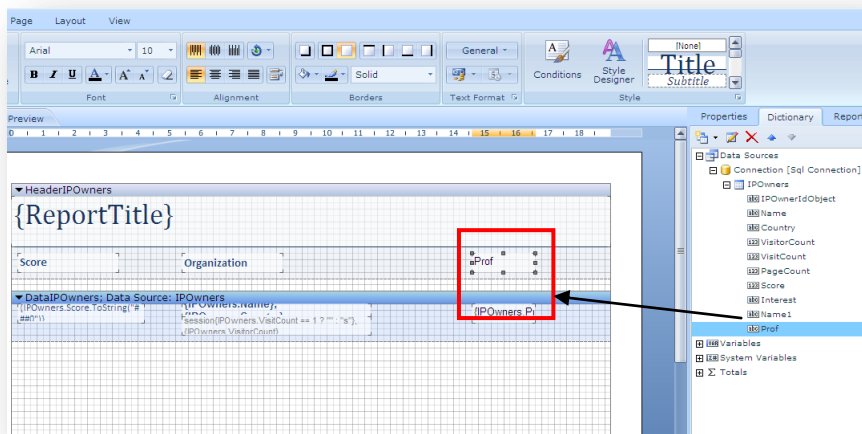
8. Stimulsoft メニューで [Save Report] をクリックします。

### SQL クエリの変更点の説明:

削除した SQL コード	解説
Top 20	TOP 句は結果セットの上位として返されるレコードの数を制限します (並べ替えの順序にもとづく)。TOP 句の使用はパフォーマンスに悪影響を及ぼす可能性のあるレポートを避けるために有用です。
追加した SQL コード	解説
ProfileKeyDefinition.Name AS Prof	選択されたプロフィール キーの名前を表示するために、別名 [Prof] がレポート上に追加の列として追加されました。
ORDER BY Prof, Score DESC, IPOwner.Name	ORDER 句に [Prof] を追加します。
WHERE Session.IpId = Ip.IpId AND Ip.IpOwnerId = IPOwner.IpOwnerId AND Session.BrowserId = Browser.BrowserId AND Session.GlobalSessionId = GlobalSession.GlobalSessionId	WHERE 句はテーブルの結合を含みます。

## レポートレイアウトの変更

1. [Prof] 列を [IpOwners] からレポートにドラッグ & ドロップします。



2. [Prof] テキスト ボックスをヘッダー帯にドラッグします。
3. このテキスト ボックスを [OddRow] スタイルを使用してフォーマットします。
4. [Prof] テキスト ボックスをダブルクリックして、[Expression Editor] ウィンドウで次の式を入力します:

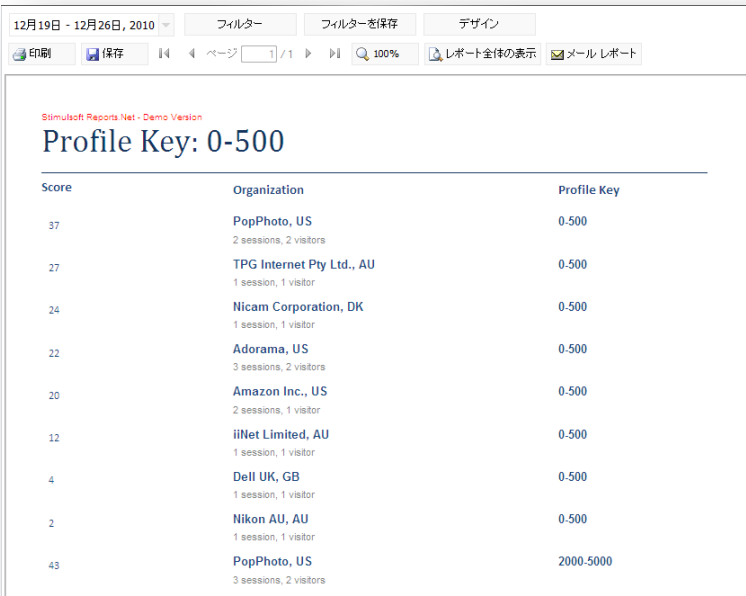
```
{(IPOwners.Score) > 0 ? "Profile Key" : ""}
```

この式はデータベースが選択されたプロフィール キーのスコアを含む場合にそのプロフィール名を表示します。スコアがゼロである場合にはデータは表示されません。

#### メモ

Expression Editor で C# 式を入力し、アナリティクス データベースから読み出すデータをフォーマットします。また、リボンの [Conditions] ウィンドウで条件付き書式の式を使用することも可能です。

5. 同様の式を他の [Score] と [Organization] の列見出しにも追加します。
6. 次の式を [Expression Editor] で入力し、選択したプロフィール キーの名前をレポート タイトルに表示します。  
Profile Key: {IPOwners.Prof}
7. 最後に、[Title] スタイルを使用してレポート タイトルを書式設定します。
8. これらの手順を完了すると、レポートは下記のようになります:



The screenshot shows a report titled "Profile Key: 0-500" with a table of results. The table has three columns: Score, Organization, and Profile Key. The data is as follows:

Score	Organization	Profile Key
37	PopPhoto, US 2 sessions, 2 visitors	0.500
27	TPG Internet Pty Ltd., AU 1 session, 1 visitor	0.500
24	Nicam Corporation, DK 1 session, 1 visitor	0.500
22	Adorama, US 3 sessions, 2 visitors	0.500
20	Amazon Inc., US 2 sessions, 1 visitor	0.500
12	iiNet Limited, AU 1 session, 1 visitor	0.500
4	Dell UK, GB 1 session, 1 visitor	0.500
2	Nikon AU, AU 1 session, 1 visitor	0.500
43	PopPhoto, US 3 sessions, 2 visitors	2000-5000

これらの変更が完了していない場合、選択したプロフィール キーを表示することはできません。

次に下記の手順に従って新しいフィルターを作成します:

1. フィルター基準定義アイテムを作成する
2. Visual Studio を使用してフィルターの実装を作成する
3. レポートの SQL クエリにプレースホルダーを追加する
4. フィルター定義アイテムを構成する
5. フィルターをテストする

## 6.2 フィルター定義アイテムを作成する

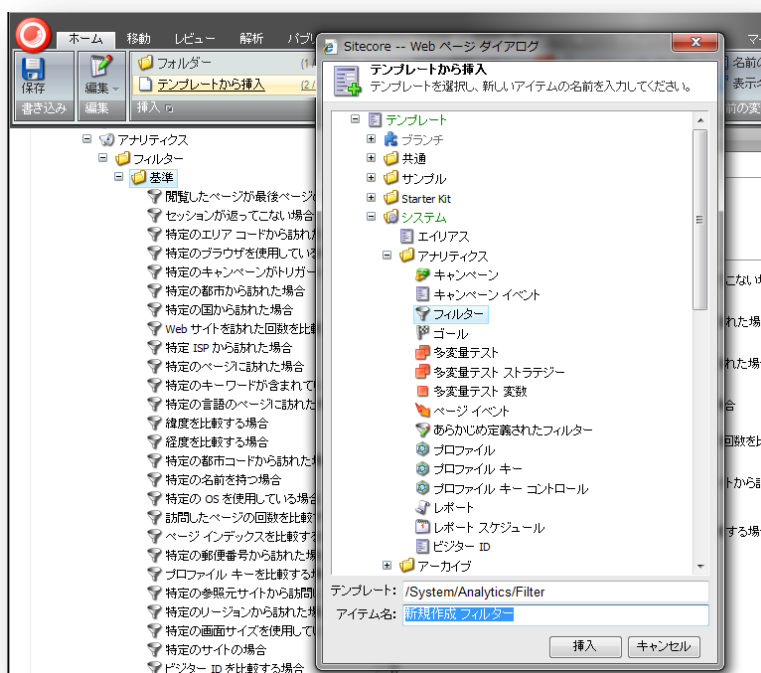
Sitecore レポート フィルターは次のコンポーネントを含みます:

- Sitecore フィルター定義アイテム  
(場所 - コンテンツ ツリーの [基準] フォルダー)
- C# クラス .cs ファイル  
(場所 - Web サイトのファイル ディレクトリの Sitecore [bin] フォルダー)

Sitecore フィルター定義アイテムを作成し、[Type] フィールドの C# クラスへの参照を追加し、SQL クエリにフィルターのプレースホルダーを追加します。

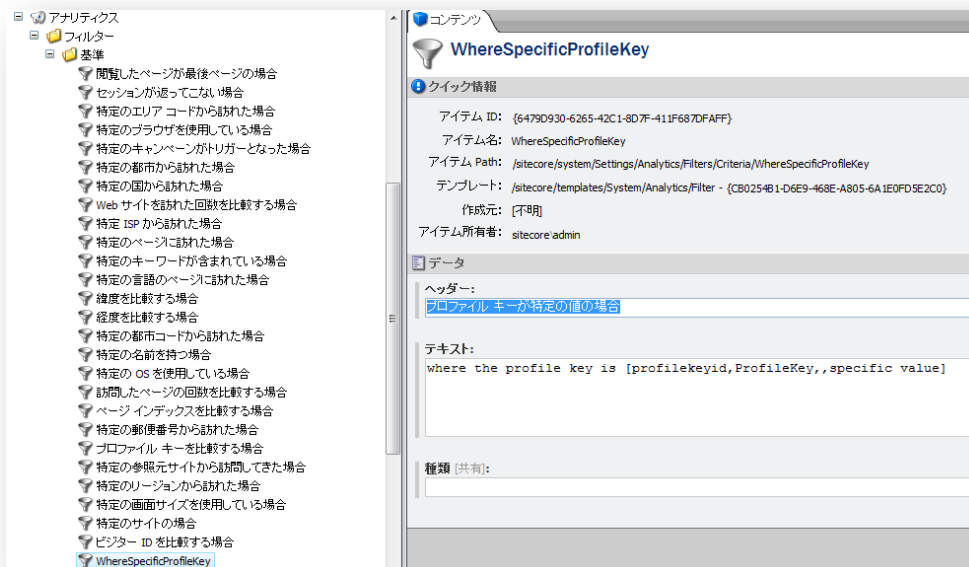
フィルター定義アイテムを作成する手順:

1. [Content Editor] を開き、コンテンツ ツリーで次の場所に移動します: /sitecore/システム/設定/アナリティクス/フィルター/基準
2. リボンで [テンプレートから挿入] をクリックします。[フィルター] テンプレートを選択します: /システム/アナリティクス/フィルター



3. フィルターの名前を [WhereSpecificProfileKey] とします。
4. [ヘッダー] フィールドで次のように入力します:  
[プロファイル キーが特定の値の場合]

- [テキスト] フィールドで次のように入力します: where the profile key is [profilekeyid,ProfileKey,,specific value]
- [種類] フィールドは Visual Studio のフィルターの実装への参照を含みます。このフィールドは今は空白にしておきます。



- 変更を保存します。

## 6.3 Visual Studio を使用してフィルタークラスを作成する

新しいレポート フィルターを作成するためには、Visual Studio を使用して新しい C# クラスを作成する必要があります。

### 6.3.1 新しい C# クラス ファイルを作成する

1. Visual Studio で新しい C# プロジェクトを作成します。
2. 新しい C# クラス (.cs ファイル) を作成してプロジェクトに追加します。

次の参照をクラスに追加したことを確認します：

- Sitecore.Kernel
  - Sitecore.Analytics
3. クラスの名前を [WhereSpecificProfileKey] とします。

この新しいクラスが [Operator Filter Base] クラスから継承していることを確認します。

```
public class WhereSpecificProfileKey : OperatorFilterBase
```

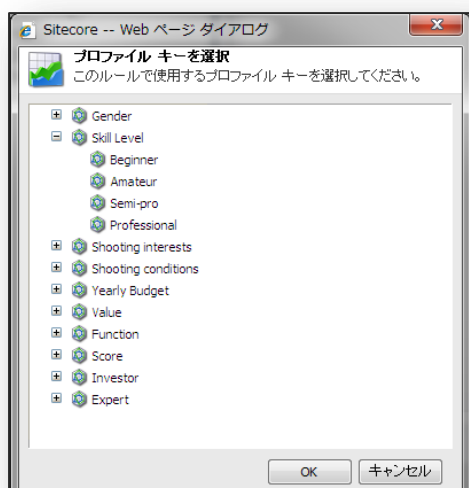
[Operator] フィルター基本クラスは異なるフィルター条件を作成するために必要な機能を含みます。フィルター条件はアナリティクス データベースからデータを選択する SQL ステートメントを容易に作成するためのルールとして機能します。たとえば、サイトコア アナリティクスは次のオペレーターを使用する [Where Profile Key] という名前の構成済みのフィルターを含みます：

- プロファイル キーを選択する - Nicam サイトのすべてのキーから。
- 比較を選択する - たとえば、[と等しい] または [より大きい]。
- 値を入力する - たとえば、スコアが [20] より大きい場合。

ここでは簡単な例とするために、第 1 の条件のみを含むフィルターを作成するものとします。選択肢は Nicam サイトのすべてのプロファイル キーからプロファイル キーを選択することです。



完成したフィルターでは条件を選択する際に次のようなポップアップウィンドウが表示されます:



4. フィルターを実装するために、新しいクラスで次の 2 つの C# メソッドを使用します:
  - ApplyFilter
  - IsApplicable
5. コードをコンパイルし、Sitecore の bin フォルダに追加します。

C:\Inetpub\wwwroot\\WebSite\bin

### 6.3.2 コードの解説

このセクションに含むコードを C# クラス ファイルにコピー/貼り付けするか、または ApplyFilter と IsApplicable メソッドを使用して独自のフィルター ロジックを記述することも可能です。

次の名前空間をフィルター クラスの最初に含めます:

```
using System;
using System.Data;
using System.Configuration;
using System.Web;
using System.Web.Security;
using System.Web.UI;
using System.Web.UI.WebControls;
using System.Web.UI.WebControls.WebParts;
using System.Web.UI.HtmlControls;
using Sitecore.Analytics.Data.Filters.Filters;
using Sitecore.Analytics.Data.Filters;
using Sitecore.Diagnostics;
```

次の変数を宣言します:

```
private string profileKeyId;
```

この変数は作成するクラスの [get] プロパティで使用します。

次の 2 つのメソッドを使用します:

### ApplyFilter

ApplyFilter メソッドを使用すると Nicam サイトからプロフィール キーを選択することができます。するとメソッドは選択したプロフィールを読み出す SQL WHERE 句をレポートの SQL クエリに挿入します。

```
public override void ApplyFilter(SqlCommand sqlCommand)
{
    Assert.ArgumentNotNull(sqlCommand, "sqlCommand");
    sqlCommand.AddWhereClause("MyProfileKey",
        "ProfileKeyDefinition.ProfileKeyDefinitionId = '" + this.ProfileKeyId + "' ",
        base.Except);
}
```

### IsApplicable

このメソッドは [MyProfileKey] という名前のプレースホルダーを使用して SQL クエリ中の WHERE 句を挿入する場所をクラスに正しく伝えます。

これらのメソッドで変更する必要があるテキストはプレースホルダーの名前のみです。ここで使用した名前と同じ名前を使用することも可能ですし、独自の名前のプレースホルダーで置換することも可能です。2 つのメソッドは同じプレースホルダー名をもつ必要があります。

```
public override bool IsApplicable(SqlCommand sqlCommand)
{
    Assert.ArgumentNotNull(sqlCommand, "sqlCommand");
    return (sqlCommand.HasPlaceholder("MyProfileKey"));
}
```

### Properties

次のプロパティを作成します:

```
// Properties
public string ProfileKeyId
{
    get
    {
        return (this.profileKeyId ??string.Empty);
    }
    set
    {
        Assert.ArgumentNotNull(value, "value");
        this.profileKeyId = value;
    }
}
```

## 6.4 SQL クエリにフィルター プレースホルダーを追加する

レポートにフィルターを追加するためには、レポートの .mrt ファイルの SQL クエリに、C# クラスのプレースホルダーと同じ名前を持つ変数を追加する必要があります。フィルターを含む Sitecore レポートを開くと、WHERE 句の下にあるすべてのフィルター変数が表示されます。

```
IpOwner,  
Ip  
where  
Session.Timestamp >= @St  
Session.Timestamp <= @En  
Session.GlobalSessionId  
Session.IpId = Ip.IpId a  
Ip.IpOwnerId = IpOwner.I  
{Session}  
{GlobalSession}  
{IpOwner}  
{Ip}
```

### ヒント

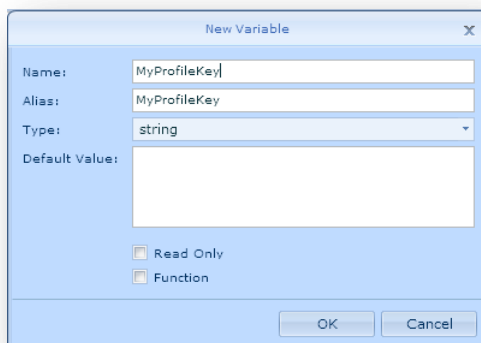
レポートに既存の Sitecore フィルターを追加するためには、適切なフィルターのプレースホルダーをレポートの WHERE 句にコピーします。

たとえば、{IpOwner} プレースホルダー変数をレポートに追加すると、ビジターの国に関連するすべてのフィルターを使用することが可能です。

新しいフィルターを [Profile Key Filter] レポートに追加する手順:

1. Web レポート デザイナーで [Open Report] をクリックし、[ProfileKeyFilter.mrt] を検索します。  
C:\inetpub\wwwroot\\WebSite\sitecore\shell\Applications\Analytics\Reports
2. まずプレースホルダーの変数を作成します。[Dictionary] パネルで [New Item]、[New Variable] をクリックします。  
レポート デザイナーで、すべてのフィルターのプレースホルダーは対応する変数を持つ必要があります。
3. [Name] フィールドで [MyProfileKey] と入力し、同じ値を [Alias] フィールドに入力します。

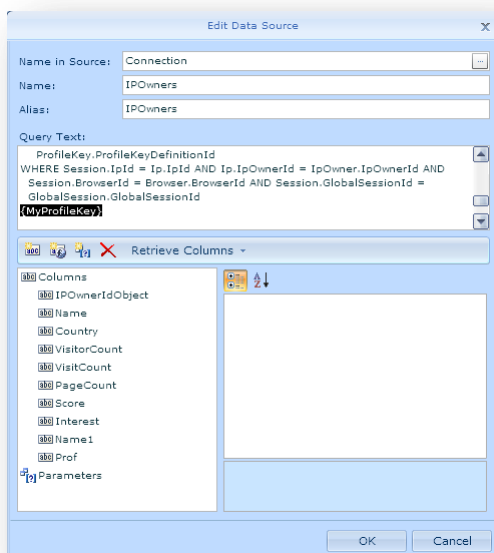
4. [Type] フィールドで [string] を選択し、[OK] をクリックします。



5. 変数を SQL クエリに追加します。[Dictionary] パネルで [IPOwners] データソースをクリックし、次に [Edit] をクリックします。

これによって SQL クエリに直接変更を行うことが可能です。

6. {MyProfileKey} プレースホルダーを SQL クエリの WHERE 句に追加します。



7. [OK] をクリックし、レポート デザイナーで変更を保存します。

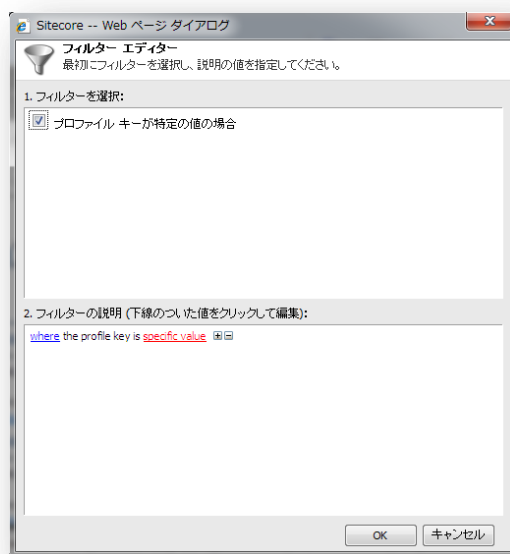


## 6.6 フィルターをテストする

サイトコア アナリティクスで新しいレポートを表示してフィルターをテストします。

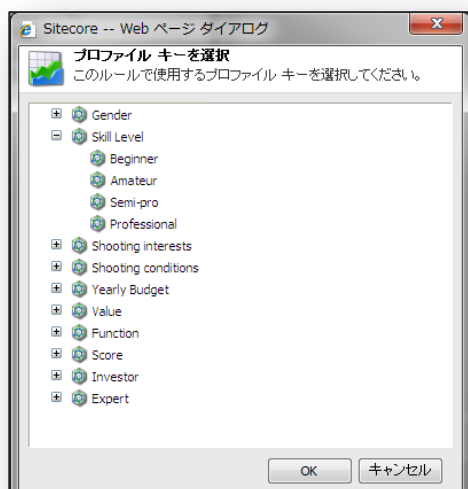
1. サイトコア アナリティクスでレポートを最新の状態に更新するためには、[レポート] ノードを開閉します。
2. 新しいレポートをクリックします。 *ProfileKeyFilter*
3. フィルターされていない、つまり Nicam サイトのすべてのプロファイル キーを表示したレポートが表示されます。
4. [フィルター] をクリックします。

[フィルター エディター] ウィンドウに作成した新しいフィルターが表示されます。



5. フィルターを選択し、[specific value] をクリックします。

6. **[Select Profile Key]** ダイアログ ボックスにすべてのプロフィールとプロフィール キーが表示されます。プロフィール キーを選択します。たとえば、**[Semi-pro]** です。



7. **[OK]** をクリックし、**[フィルター エディター]** ウィンドウを閉じます。

**[Semi-pro]** プロファイル キーでフィルターされた次のようなレポートが表示されます:



Score	Organization	Profile Key
483	Vasakronan Service Partner AB, SE 5 sessions, 2 visitors	Semi-pro
453	Adorama, US 5 sessions, 2 visitors	Semi-pro
429	Nicam Corporation, DK 3 sessions, 3 visitors	Semi-pro
388	PopPhoto, US 3 sessions, 2 visitors	Semi-pro
271	Dell UK, GB 4 sessions, 4 visitors	Semi-pro
231	Canon NL, NL 1 session, 1 visitor	Semi-pro
202	Amazon Inc., US 4 sessions, 1 visitor	Semi-pro
168	TPG Internet Pty Ltd., AU 1 session, 1 visitor	Semi-pro
127	iiNet Limited, AU 1 session, 1 visitor	Semi-pro
92	SBC Internet Services, US 1 session, 1 visitor	Semi-pro
72	Google, VN 12 sessions, 12 visitors	Semi-pro
71	Ebay, US 1 session, 1 visitor	Semi-pro

このように、このレポート フィルターを使用して、Nicam サイトの任意のプロファイル キーの上位のスコアと組織を表示することが可能です。

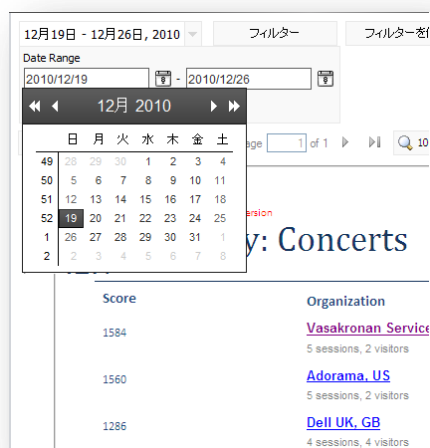
## トラブルシューティング

サイトコア アナリティクスで空白のレポートしか表示されない場合、次の点を確認して再度レポートを実行します:

### 日付範囲

サイトコア アナリティクスで十分に広い日付範囲を選択したことを確認します。

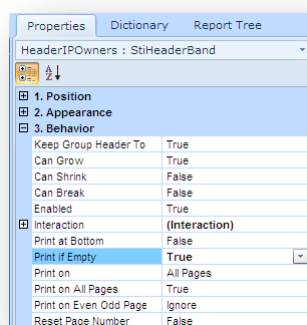
1. レポート日付の横のコントロールをクリックして、カレンダー ポップアップを開きます。



2. 少なくとも過去 2 か月分の日付を選択し、レポートが十分なデータを含むようにします。

### Print if Empty プロパティ

1. レポート デザイナーでヘッダー帯を選択します。
2. [Properties] パネルで [Behavior] を展開し、[Print if Empty] を選択します。



3. [Print if Empty] プロパティを True に設定します。
4. 変更を保存して再度レポートを実行します。



## Chapter 7

### 付録

この章では次の補足情報を提供します:

- Stimulsoft レポート デザイナー クライアントの機能比較
- Profile Key Report の SQL クエリの作成方法

## 7.1 Stimulsoft レポート デザイナー クライアントの機能比較

エンドユーザー のアクション	Web レポート デザイナー	Windows レポート デザイナー
新しいレポートを 作成する	✗ 既存のレポートを複製してそれを修正する。 回避策 - レポートを複製してその名前を変更し、さらに .mrt ファイルの名前も変更する。そしてそれをサイトコア アナリティクスで開く。	✓ [New Report] をクリックし、.mrt ファイルを保存する。
ウィザードを使用 して新しいレポー トを作成する	✗ ウィザードは使用可能だが、この方法で作成した新しいレポートを保存することは不可。 回避策を使用する必要がある。	✓ ウィザードを使用して新しいレポートの作成と保存が可能。
Save As (名前 を付けて保存)	✗ 現在扱っているレポートのみを保存可能。	✓ 新しいレポートを .mrt ファイルとして Sitecore レポート フォルダに保存可能。 サイトコア アナリティクスでレポートを表示する前に、新しい Sitecore レポート定義アイテムを作成する必要がある。
Save (保存)	✓ デザイナーで [Save] アイコンをクリックするか、または [File] メニューを使い [Save Report] をクリックして既存または複製したレポートを保存する。	✓ デザイナーで [Save] アイコンをクリックするか、または [File] メニューを使う。 またはショートカット Ctrl S を使用可能。
データソースの 追加	✓ [Option] で新しいデータソースを作成可能だが、クエリを書く必要がある。	✓ 可能。[Data Connection] を右クリックし、[New Data Source] を選択する。チェックボックスを選択し、アナリティクス データベースからテーブルを選択する。 さらにテーブルを追加可能、またクエリビルダーを使用してより複雑なクエリを作成可能。
Undo (元に戻 す)	✗ [Undo] ショートカットは使用不可。	✓ Ctrl Z ショートカットを使用可能。
Delete (削除)	✓ デザイナーで [Delete] ボタンを使用。 [Delete] ショートカットは使用不可。	✓ デザイナーで [Delete] ボタンを使用、またはキーボードの [削除] ボタンを使用。

エンドユーザー のアクション	Web レポート デザイナー	Windows レポート デザイナー
テキストの書式 設定 テキストの色、ス タイル、太字、 斜体。	✓ リボンまたはプロパティ パネルを使用。	✓ リボンまたはプロパティ パネルを使用。
変数のテキスト の書式設定	✓ 変数を含むテキスト ボックスを選択し、リボ ンまたはプロパティ パネルを使用して書式 設定を変更する。	✓ 変数を含むテキスト ボックスを選択し、リボンま たはプロパティ パネルを使用して書式設定を 変更する。
スタイル デザイ ナーにスタイルを追 加する	✓ [Add Style] をクリックする。	✓ [Add Style] をクリックする。
スタイルのインポ ートとエクスポー ト	✗ Web レポート デザイナーのスタイル デザイ ナーでは機能なし。	✓ Windows レポート デザイナーのスタイル デザ イナーで [Save Style] [Open Style] ボタンを 使用。
条件付き書式 設定	✓ リボンで [Conditions] をクリックして条件 の値または条件の式を入力する。	✓ リボンで [Conditions] をクリックして条件の値 または条件の式を入力する。
画像の追加	✓ 可能。ただし URL を使った画像へのリン クのみが可能。 Web 上の画像または Sitecore で BLOB として保存された画像をポイント可 能。たとえば、メディア ライブラリの画像。	✓ 画像ファイルの参照、 または URL を使った画像へのリンク -メディア ライブラ リの画像を含む。 画像に透かしを追加可能。
グラフの追加	✓ ツールボックスからグラフをドラッグしてグラフ を作成する。 Web レポート デザイナーではウィザードを 使用不可。	✓ グラフ ウィザードを使用して新しく最初からグラ フを作成可能。
グラフの設定	✓ レポート データ ソースのテーブルからデータ を選択する。	✓ レポート データ ソースのテーブルからデータを選 択する。
グラフの色の変 更	✓ 可能、ただし制限あり。 プロパティ パネルの Chart Style を使用し てグラフの色を変更する。	✓ 可能、ただし制限あり。 プロパティ パネルの Chart Style を使用してグ ラフの色を変更する。 またはウィザードを使って配色を選択する。

エンドユーザー のアクション	Web レポート デザイナー	Windows レポート デザイナー
カスタムのグラフ の色の追加	✓ スタイル デザイナーにカスタムの配色を追加すると使用可能なスタイルとして追加される。	✓ スタイル デザイナーにカスタムの配色を追加すると使用可能なスタイルとして追加される。
ハイパーリンクの 追加	✓ [Properties] - [Behavior] - [Interaction] - [Hyperlink]	✓ [Properties] - [Behavior] - [Interaction] - [Hyperlink]
テーブルをレポート にドラッグ & ドロップ	✓ 可能、ただし制限あり。 一度に 1 列をドラッグ & ドロップ。	✓ 一度にデータ ソースのすべての列をドラッグ & ドロップ。
データソースの 複数のテーブル の結合	✓ テーブルの関連を作成可能。ただし右クリック オプションは使用不可。ダイアログ ボックスでは制限あり。	✓ 右クリックしてテーブルの関連を作成可能。
新しい変数の追加	✓ [Data Dictionary] で [New Item] - [New Variable]	✓ [Data Dictionary] で [New Item] - [New Variable]
新しいパラメータ の追加	✓ [Data Dictionary] で [New Item] - [New Parameter]	✓ [Data Dictionary] で [New Item] - [New Parameter]
SQL ステートメントの 使用	✓ 可能、ただし制限あり。 SQL クエリを手動で作成する。 [Edit Data Source] をクリックして SQL クエリを直接クエリ テキスト エディターに入力するか、または他のアプリケーションからコピー/貼り付けする。	✓ SQL クエリを自動的に作成する。 [Edit Data Source] をクリックして SQL クエリを直接クエリ テキスト エディターに入力するか、またはテーブルを選択してクエリビルダーを使って新しく最初からクエリを作成する。

## 7.2 Profile Key Report の SQL クエリの作成方法

SQL クエリ言語のエキスパートでないユーザーでも、Windows レポート デザイナーを使用すると比較的容易に複雑な SQL クエリを作成することが可能です。SQL クエリの作成を開始するには、[IpOwners] データソースを右クリックして [Edit] をクリックし、[Run Query Builder] をクリックします。

SQL クエリを作成するためには、次のことを行います：

- テーブルと列を選択する
- 別名を追加する
- グループ化を追加する
- SQL COUNT 関数を追加する
- SQL SUM 関数を追加する
- プロファイル キーを選択する WHERE 条件を追加する
- 並べ替えを追加する
- SQL クエリに手動で変更を加える
- 完成した SQL ステートメントをレビューする
- SQL クエリをテストする
- SQL クエリを保存する

### Step 1: テーブルを選択する

クエリビルダーを使用してテーブルをクエリ ウィンドウに直接ドラッグ & ドロップすることが可能です。列名の横のチェックボックスを使用してフィールド (列) を選択します。

次のテーブルと関連する列を選択します：

テーブル	列
Session	GlobalSessionId, SessionId
Global Session	
IP	
IPOwner	IPOwnerId, Name, Country
Profile	
ProfileKey	Value
ProfileKeyDefinition	Name

これらのテーブルと列を選択すると、次の SQL クエリが自動的に生成され、クエリビルダーの下部のパネルに表示されます：

```
SELECT Session.SessionId, Session.GlobalSessionId, IPOwner.IPOwnerId,
```

```

IPOwner.Name, IPOwner.Country, Profile.Total, ProfileKeyDefinition.Name
FROM Session INNER JOIN
GlobalSession ON GlobalSession.GlobalSessionId = Session.GlobalSessionId
INNER JOIN IP ON IP.IpId = Session.IpId INNER JOIN
IPOwner ON IPOwner.IpOwnerId = IP.IpOwnerId INNER JOIN
Profile ON Session.SessionId = Profile.SessionId INNER JOIN
ProfileKey ON Profile.ProfileId = ProfileKey.ProfileId INNER JOIN
ProfileKeyDefinition ON ProfileKeyDefinition.ProfileKeyId =
ProfileKey.ProfileKeyId

```

このステートメントの SELECT 部分ではクエリに含むテーブルと列を列挙しています。

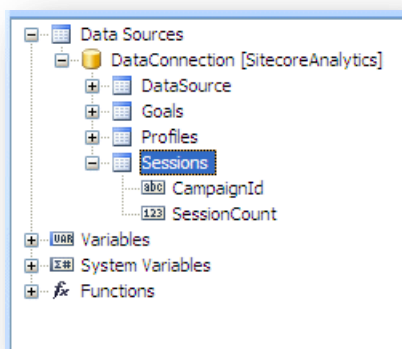
次の構文を使用します: <table>.<column>   たとえば、[ProfileKey] テーブルと [Value] 列を選択するためには、[Profile.Value] と入力します。

ステートメントの FROM 部分はテーブルの結合を指定しています。すべてのテーブルは主キーによってリンクしています。自動的に内部結合が作成されます。つまり結合される各テーブルの列から値が読み出されるということです。

## Step 2: 別名を追加する

別名とはテーブルまたはテーブルの関係の代替名です。

たとえば、下記の [Sessions] データソースでは、[SessionCount] は次の SQL ステートメントを置換するために使用する別名です: *CampaignEvent.CampaignId, Count(\*)*.



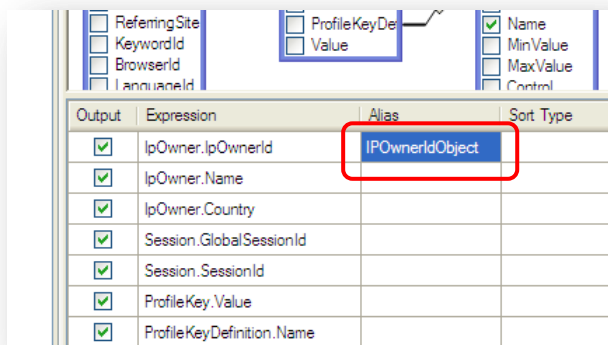
SQL では AS 構文を使用してテーブルの別名を作成します:

```
<Table>.<column> AS <alias name>
```

### 例

```
CampaignEvent.CampaignId, Count(*) AS SessionCount
```

クエリビルダーでは [Alias] 列を使用して SQL クエリに新しい別名を追加します。



次のテーブル/列のリレーションシップに別名を作成します:

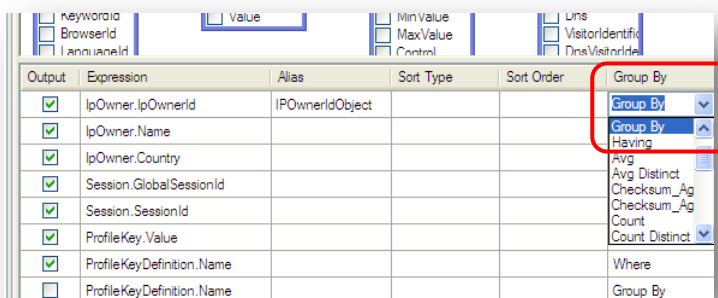
テーブルのリレーションシップ	別名の名前
IPOwner.IPOwnerId	IPOwnerIdObject
Session.GlobalSessionId	VisitorCount
Session.SessionId	VisitCount
ProfileKey.Value	Score

### Step 3: グループ化を追加する

GROUP BY を使用して選択した列の並び替え順序を定義します。SQL クエリの最初の SELECT 部分の列のリストにあるすべての列は、GROUP BY 句に含まれる必要があります。

クエリビルダーで次のものについて、ドロップダウン メニューから [Group By] を選択します:

- IPOwner.IpOwnerId
- IPOwner.Name
- IPOwner.Country



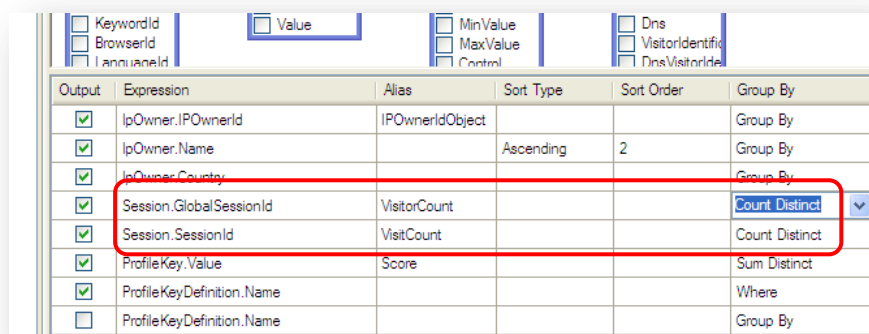
SQL クエリでは次の SQL コードが作成されます:

```
GROUP BY IPOwner.IpOwnerId, IPOwner.Name, IPOwner.Country
```

### Step 4: SQL COUNT 関数を追加する

COUNT と DISTINCT を次のものに追加します:

- Session.GlobalSessionId (ビジターのカウント)- 記録されたビジターの合計数
- Session.SessionId (訪問のカウント)- 記録されたセッションの合計数



Output	Expression	Alias	Sort Type	Sort Order	Group By
<input checked="" type="checkbox"/>	IpOwner.IPOwnerId	IPOwnerIdObject			Group By
<input checked="" type="checkbox"/>	IpOwner.Name		Ascending	2	Group By
<input checked="" type="checkbox"/>	IpOwner.Country				Group By
<input checked="" type="checkbox"/>	Session.GlobalSessionId	VisitorCount			Count Distinct
<input checked="" type="checkbox"/>	Session.SessionId	VisitCount			Count Distinct
<input checked="" type="checkbox"/>	ProfileKey.Value	Score			Sum Distinct
<input checked="" type="checkbox"/>	ProfileKeyDefinition.Name				Where
<input type="checkbox"/>	ProfileKeyDefinition.Name				Group By

COUNT はグローバル セッションと個別のセッションの数の合計がそれぞれカウントされることを意味します。DISTINCT は結果に重複した値が表示されないことを意味します。

#### Step 5: SQL SUM 関数を追加する

[Group By] ドロップダウン メニューを使用して ProfileKey.Value (スコア) に SUM DISTINCT 関数を追加します。

Sum は 1 つのプロファイル キーのすべての値の合計を計算し、リストされた各組織のプロファイル キーのスコアの合計を提供します。

SUM と DISTINCT を次のものに追加します:

- ProfileKey.Value

同じ [Group By] ドロップダウン メニューを使用して SUM DISTINCT を追加します。

#### Step 6: プロファイル キーを選択する WHERE 条件を追加する

次の WHERE 条件を追加します: WHERE ProfileKeyDefinition.Name = 'Semi-pro'

この条件はフィルターのように機能し、プロファイル キーとして 'Semi-pro' を持つスコアのみがクエリの結果に表示されます。

#### Step 7: 並べ替えを追加する

次のものに並べ替えを追加します: [IPOwner.Name] (昇順) と [Profile.Total] (降順)。Score の [Sort Order] を 1 とし、[IPOwner.Name] に 2 とします。

これはクエリの結果はまずスコアで並べ替えられ、次に組織で並べ替えられるという意味です。

#### Step 8: SQL クエリに手動で変更を加える

##### SQL TOP

返される結果の上位 20 レコードのみを選択します。このためには SQL TOP 句を使用します。これはこのクエリの生成するすべてのレコードではなく、上位 20 レコードのみを表示するという意味です。SQL ステートメントの最初に手動



で TOP 20 と入力します。

```
SELECT TOP 20 IpOwner
IpOwner.Country, Co
Count (DISTINCT Sess
Sum (DISTINCT Profile
```

## GROUP BY

前のステップで WHERE 条件を次のものに追加しました:ProfileKeyDefinition.Name

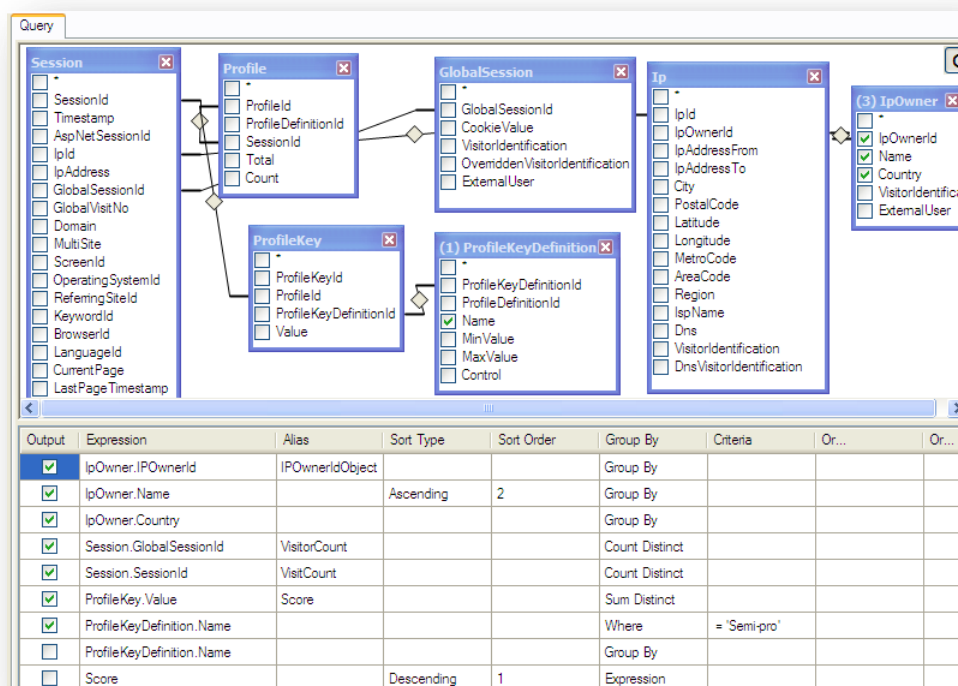
次に [ProfileKeyDefinition.Name] を GROUP BY 句に追加します。

SQL クエリの最初の SELECT 部分の列のリストにあるすべての列は、GROUP AS 句に含まれる必要があるため、これを追加する必要があります。GROUP BY 句にこれを手動で追加します。

```
WHERE ProfileKeyDefinition.Name = 'Semi-pro'
GROUP BY IPOwner.IPOwnerId, IPOwner.Name, IPOwner.Country, ProfileKeyDefinition.Name
ORDER BY Score DESC, IPOwner.Name
```

## Step 9: 完成した SQL ステートメントをレビューする

クエリビルダー ウィンドウと SQL クエリは下記のように表示されます:



The screenshot shows the Sitecore Query Builder interface. At the top, there are several entity windows: Session, Profile, GlobalSession, Ip, ProfileKey, ProfileKeyDefinition, and IpOwner. Lines connect these entities to represent relationships. Below the diagram is a table with the following columns: Output, Expression, Alias, Sort Type, Sort Order, Group By, Criteria, Or..., and Or... The table contains the following rows:

Output	Expression	Alias	Sort Type	Sort Order	Group By	Criteria	Or...	Or...
<input checked="" type="checkbox"/>	IpOwner.IPOwnerId	IPOwnerIdObject			Group By			
<input checked="" type="checkbox"/>	IpOwner.Name		Ascending	2	Group By			
<input checked="" type="checkbox"/>	IpOwner.Country				Group By			
<input checked="" type="checkbox"/>	Session.GlobalSessionId	VisitorCount			Count Distinct			
<input checked="" type="checkbox"/>	Session.SessionId	VisitCount			Count Distinct			
<input checked="" type="checkbox"/>	ProfileKey.Value	Score			Sum Distinct			
<input checked="" type="checkbox"/>	ProfileKeyDefinition.Name				Where	= 'Semi-pro'		
<input type="checkbox"/>	ProfileKeyDefinition.Name				Group By			
<input type="checkbox"/>	Score		Descending	1	Expression			

## SQL クエリの完成例:

```
SELECT TOP 20 IpOwner.IPOwnerId AS IPOwnerIdObject, IpOwner.Name, IpOwner.Country,
Count (DISTINCT Session.GlobalSessionId) AS VisitorCount,
Count (DISTINCT Session.SessionId) AS VisitCount,
Sum (DISTINCT ProfileKey.Value) AS Score, ProfileKeyDefinition.Name
```

```

FROM Session INNER JOIN
  Profile ON Session.SessionId = Profile.SessionId INNER JOIN
  GlobalSession ON GlobalSession.GlobalSessionId = Session.GlobalSessionId
INNER JOIN
  Ip ON Ip.IpId = Session.IpId INNER JOIN
  IpOwner ON IpOwner.IpOwnerId = Ip.IpOwnerId INNER JOIN
  Browser ON Browser.BrowserId = Session.BrowserId INNER JOIN
  ProfileKey ON ProfileKey.ProfileId = Profile.ProfileId INNER JOIN
  ProfileKeyDefinition ON ProfileKeyDefinition.ProfileKeyDefinitionId =
  ProfileKey.ProfileKeyDefinitionId

WHERE ProfileKeyDefinition.Name = 'Semi-pro'

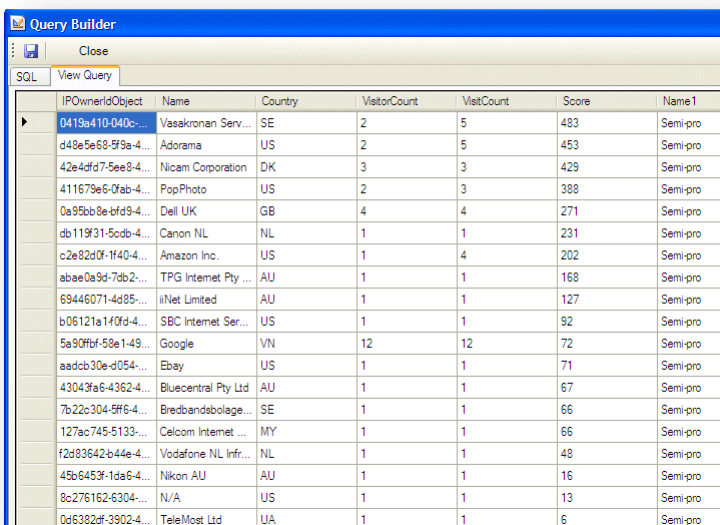
GROUP BY IpOwner.IPOwnerId, IpOwner.Name, IpOwner.Country,
  ProfileKeyDefinition.Name

ORDER BY Score DESC, IpOwner.Name

```

### Step 10: SQL クエリをテストする。

[View Query] をクリックし、選択した列が返され、SQL コードにエラーがないことを確認します。



IPOwnerIdObject	Name	Country	VisitorCount	VisitCount	Score	Name 1
0419e410-040c-...	Vasakronan Serv...	SE	2	5	483	Semi-pro
d48e5e68-f99a-4...	Adorama	US	2	5	453	Semi-pro
42e4df7-5ee8-4...	Nicam Corporation	DK	3	3	429	Semi-pro
411679e6-0fab-4...	PopPhoto	US	2	3	388	Semi-pro
0a99bb8e-bfd9-4...	Dell UK	GB	4	4	271	Semi-pro
db119f31-5cdb-4...	Canon NL	NL	1	1	231	Semi-pro
c2e82d0f-1f40-4...	Amazon Inc.	US	1	4	202	Semi-pro
abae0a9d-7db2-...	TPG Internet Pty ...	AU	1	1	168	Semi-pro
69446071-4d85-...	iiNet Limited	AU	1	1	127	Semi-pro
b06121a140d-4...	SBC Internet Ser...	US	1	1	92	Semi-pro
5a90ffbf-50e1-49...	Google	VN	12	12	72	Semi-pro
aadcb30e-d054-...	Ebay	US	1	1	71	Semi-pro
43043fa6-4362-4...	Bluecentral Pty Ltd	AU	1	1	67	Semi-pro
7b22c304-9ff6-4...	Bredbandsbolage...	SE	1	1	66	Semi-pro
127ac745-5133-...	Celcom Internet ...	MY	1	1	66	Semi-pro
f2d83642-b44e-4...	Vodafone NL Infr...	NL	1	1	48	Semi-pro
45b6453f-1da6-4...	Nikon AU	AU	1	1	16	Semi-pro
8c276162-6304-...	N/A	US	1	1	13	Semi-pro
0d6382df-3902-4...	TeleMost Ltd	UA	1	1	6	Semi-pro

エラーがある場合には SQL クエリを再度確認します。

### Step 11: 変更を保存する

[Save] アイコンをクリックしてクエリを保存します。

[New Data Source] ウィンドウで [Retrieve Columns] をクリックし、[OK] をクリックしてクエリを保存します。

[Select Data] ウィンドウで [OK] をクリックしてレポート デザイナーに戻ります。

[Data Dictionary] の [Data Connection] ノードを展開して、作成した [IpOwners] データソースの列を表示します。

